

千葉県地方創生に係るアンケート

結果概要

令和8年1月
千 葉 県

内容

I 調査概要.....	4
1. 調査の目的.....	4
2. 調査の設計.....	4
3. 調査項目	4
4. 集計方法	4
5. 回答者の属性	9
II 調査結果（高校生対象）	13
1. 進路に関する希望について	13
（1）高校卒業後の進路に関する現在の希望.....	13
（2）第一志望の学校の所在地	17
2. 将来の就業に際して重視する点.....	22
3. 将来の就業に関する希望について	26
（1）就業を希望している業界	26
（2）希望する勤務地	28
（3）勤務地の選択にあたって重視する点	33
4. 将来の居住地の希望について	34
（1）就業後の居住地の希望	34
（2）県内で希望する居住地	39
（3）居住地を選ぶにあたって重視する点	40
（4）千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと	41
5. 現在住んでいる地域の魅力について.....	44
6. 人口減少時代における問題意識について	46

Ⅲ 調査結果（大学生等対象）	49
1. 将来の就業に際して重視する点.....	49
2. 将来の就業に関する希望について	53
(1) 就業を希望している業界	53
(2) 希望する勤務地	55
(3) 勤務地の選択にあたって重視する点	58
3. 将来の居住地の希望について	60
(1) 就業後の居住地の希望	60
(2) 県内で希望する居住地	63
(3) 居住地を選ぶにあたって重視する点	64
(4) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと	67
4. 現在住んでいる地域の魅力について.....	70
5. 人口減少時代における問題意識について	72

I 調査概要

1. 調査の目的

本県における地方創生の着実な実現のためには、特に若い世代に居住地として選ばれることが重要であり、就職や結婚・出産・子育て、住まい等に関する希望をかなえる環境の整備などを進めることが重要である。

そのため、今後の本県の各種施策をより効果的に実施していくため、県内の高等学校生や、大学生・短期大学生を対象として、意識調査（アンケート）を実施する。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象 千葉県内の高校 30 校
千葉県内にキャンパスを置く全大学・短期大学（49 校）の学生
- (2) 調査方法 電子アンケートで回答
- (3) 調査期間 令和 7 年 6 月 18 日 ～ 7 月 18 日
- (4) 回答状況 2,448 人（高校 2 年生 1,966 人、大学生・短期大学生 482 人）

3. 調査項目

- (1) 進路に関する希望について（高校生のみ）
- (2) 将来の就業に際して重視する点
- (3) 将来の就業に関する希望について
- (4) 将来の居住地の希望について
- (5) 現在住んでいる地域の魅力について
- (6) 人口減少時代における問題意識について

4. 集計方法

- (1) 集計は小数第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても 100%にならず、1%の範囲で増減することがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100%を超えることがある。

図1 <アンケートを配布した学校名（高校）>

		学校名	種別	学区
県立高等学校	1	千葉	高等学校	第1学区
	2	千葉商業	高等学校	第1学区
	3	千葉南	高等学校	第1学区
	4	船橋	高等学校	第2学区
	5	市川工業	高等学校	第2学区
	6	松戸国際	高等学校	第2学区
	7	東葛飾	高等学校	第3学区
	8	清水	高等学校	第3学区
	9	鎌ヶ谷	高等学校	第3学区
	10	佐倉	高等学校	第4学区
	11	八街	高等学校	第4学区
	12	佐原	高等学校	第5学区
	13	東総工業	高等学校	第5学区
	14	成東	高等学校	第6学区
	15	東金商業	高等学校	第6学区
	16	長生	高等学校	第7学区
	17	一宮商業	高等学校	第7学区
	18	安房拓心	高等学校	第8学区
	19	安房	高等学校	第8学区
	20	君津商業	高等学校	第9学区
	21	木更津	高等学校	第9学区
私立高等学校	22	昭和学院秀英	高等学校	—
	23	市川	高等学校	—
	24	芝浦工業大学柏	高等学校	—
	25	成田	高等学校	—
	26	敬愛大学八日市場	高等学校	—
	27	横芝敬愛	高等学校	—
	28	茂原北陵	高等学校	—
	29	千葉県安房西	高等学校	—
	30	東海大学付属市原望洋	高等学校	—

図2 <県立高校全日制普通科の通学区域>



図3 <アンケートを配布した学校名（大学・短期大学）>

		学校名	種別
大学・短期大学	1	愛国学園大学	大学
	2	植草学園大学	大学
	3	江戸川大学	大学
	4	開智国際大学	大学
	5	亀田医療大学	大学
	6	川村学園女子大学	大学
	7	神田外語大学	大学
	8	敬愛大学	大学
	9	国際医療福祉大学	大学
	10	国際武道大学	大学
	11	三育学院大学	大学
	12	秀明大学	大学
	13	淑徳大学	大学
	14	順天堂大学	大学
	15	城西国際大学	大学
	16	聖徳大学	大学
	17	清和大学	大学
	18	千葉科学大学	大学
	19	千葉経済大学	大学
	20	千葉県立保健医療大学	大学
	21	千葉工業大学	大学
	22	千葉商科大学	大学
	23	千葉大学	大学
	24	中央学院大学	大学
	25	帝京平成大学	大学

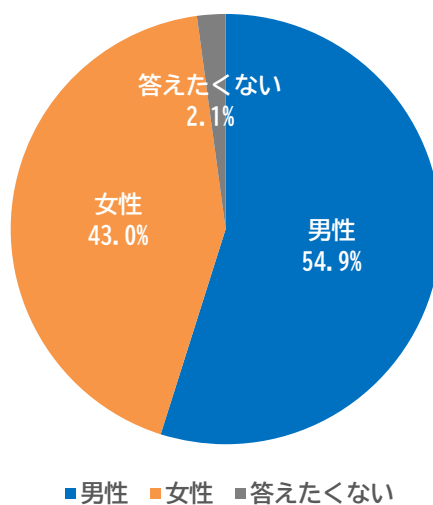
	26	東京医療保健大学	大学
	27	東京科学大学	大学
	28	東京基督教大学	大学
	29	東京情報大学	大学
	30	東京理科大学	大学
	31	東都大学	大学
	32	東邦大学	大学
	33	二松学舎大学	大学
	34	日本大学	大学
	35	放送大学	大学
	36	明海大学	大学
	37	流通経済大学	大学
	38	SBC 東京医療大学	大学
	39	麗澤大学	大学
	40	和洋女子大学	大学
	41	植草学園短期大学	短期大学
	42	昭和学院短期大学	短期大学
	43	聖徳大学短期大学部	短期大学
	44	清和大学短期大学部	短期大学
	45	敬愛短期大学	短期大学
	46	千葉経済大学短期大学部	短期大学
	47	千葉明德短期大学	短期大学
	48	東京経営短期大学	短期大学
	49	日本大学短期大学部	短期大学

5. 回答者の属性

(1) 性別

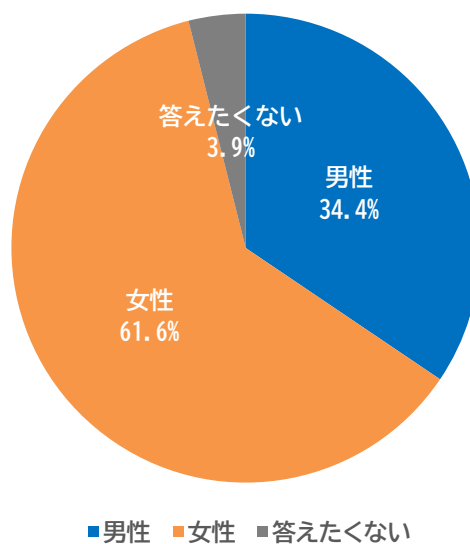
【高校生】

	回答数	構成比
男性	1,079	54.9%
女性	845	43.0%
答えたくない	42	2.1%
合計	1,966	



【大学生等】

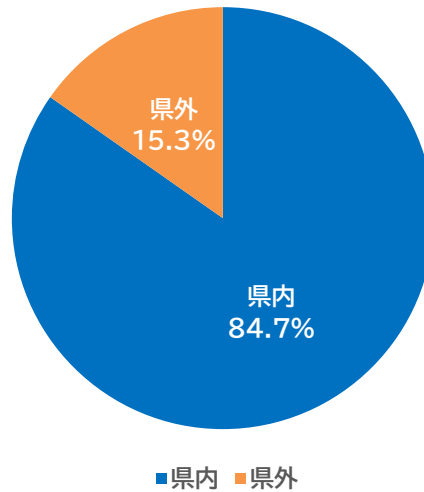
	回答数	構成比
男性	166	34.4%
女性	297	61.6%
答えたくない	19	3.9%
合計	482	



(2) 出身地

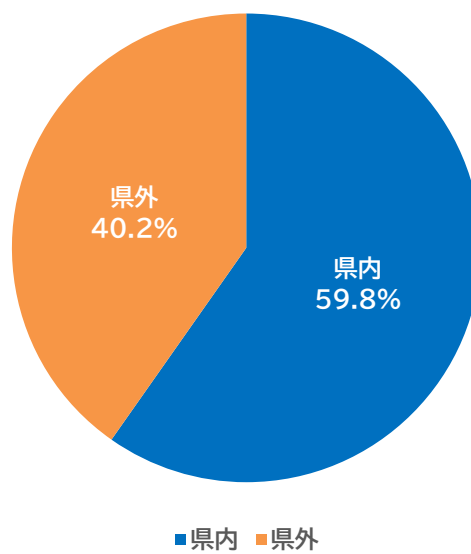
【高校生】

	回答数	構成比
県内	1,666	84.7%
県外	300	15.3%
合計	1,966	



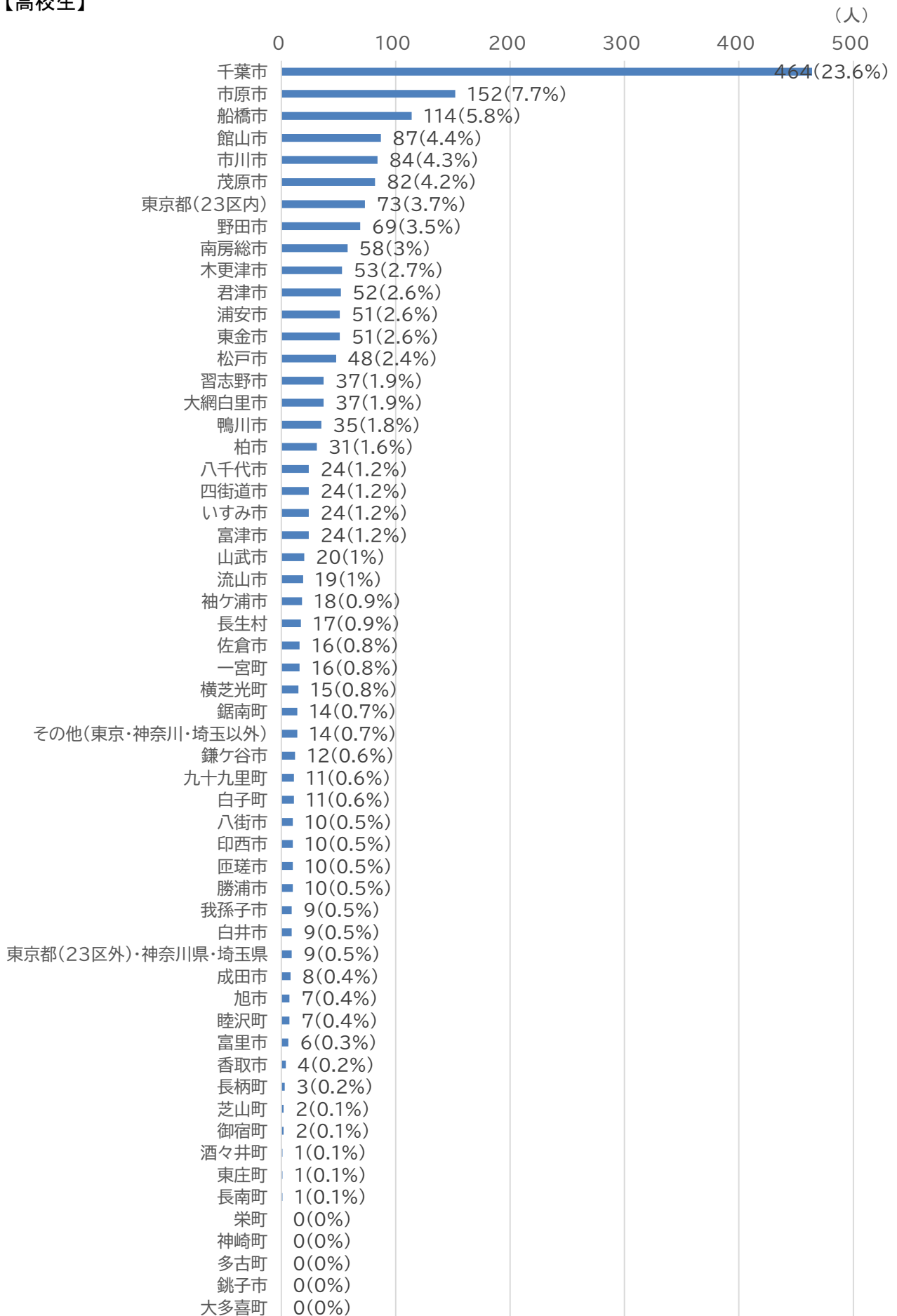
【大学生等】

	回答数	構成比
県内	288	59.8%
県外	194	40.2%
合計	482	

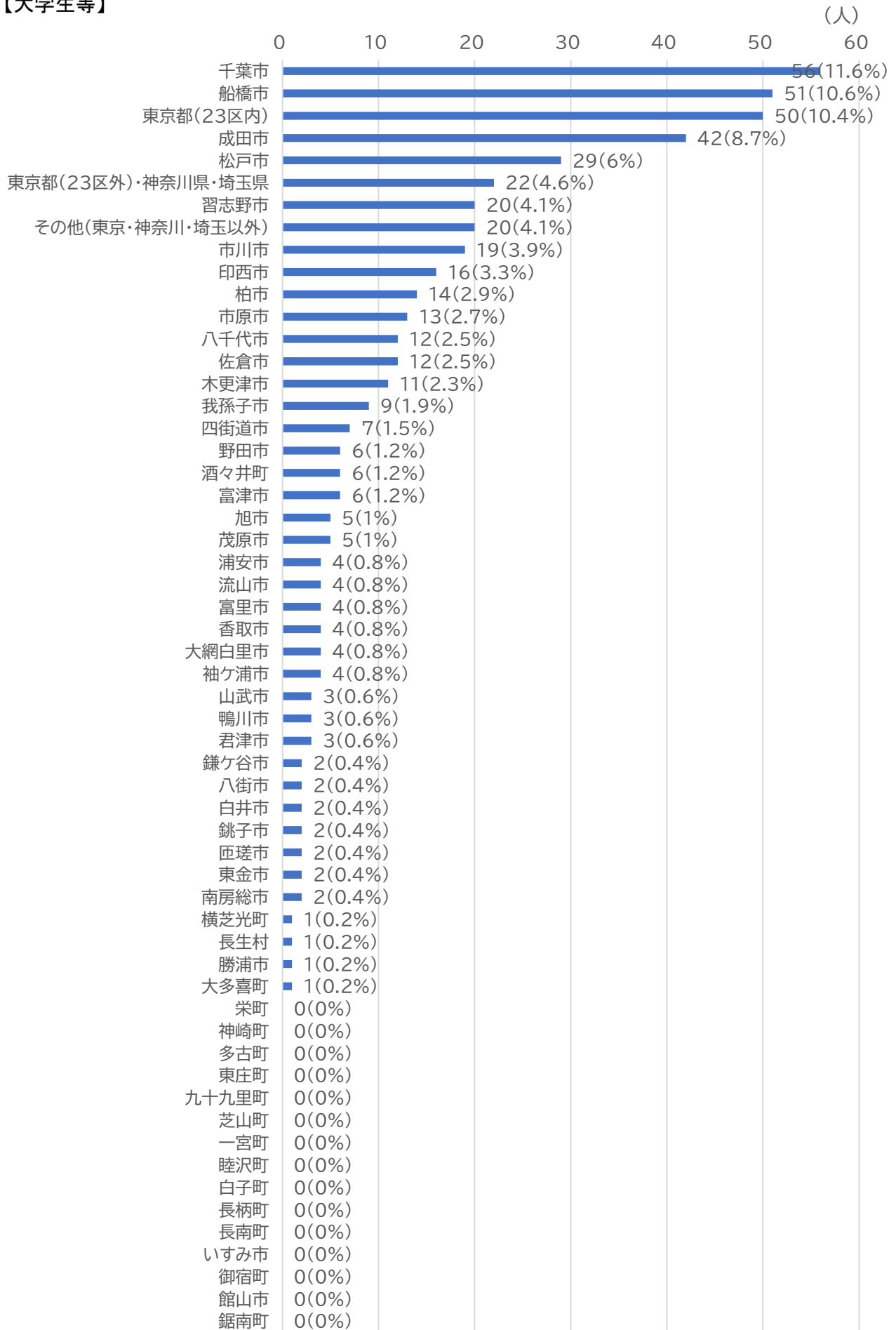


(3) 現在の居住地

【高校生】



【大学生等】

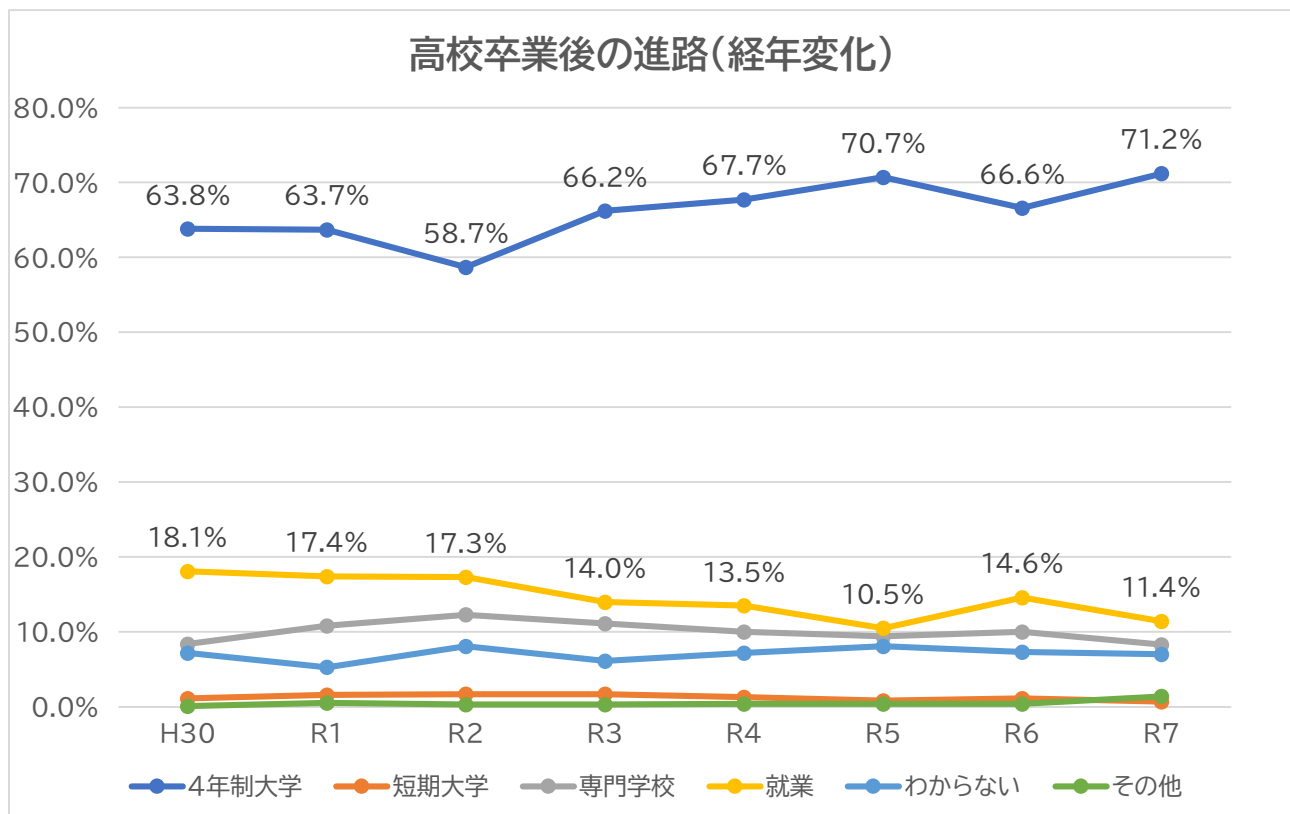
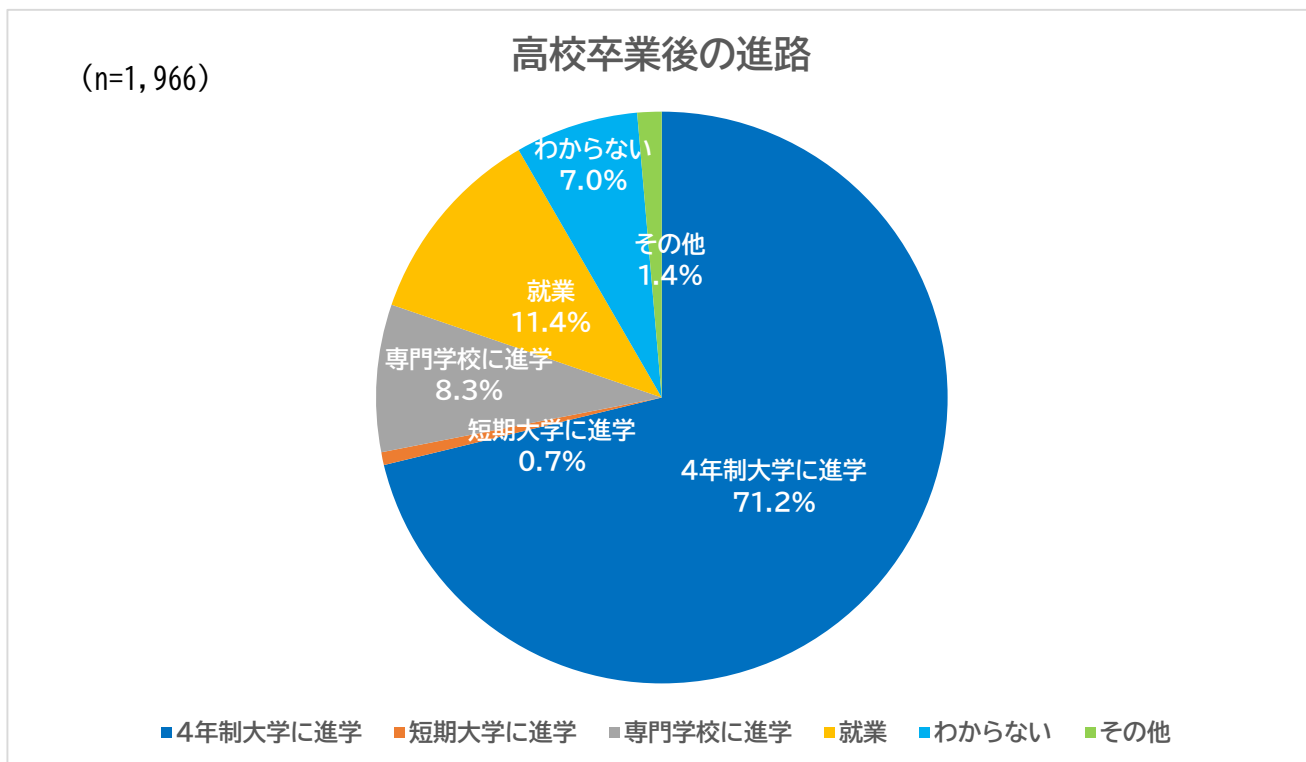


Ⅱ 調査結果（高校生対象）

1. 進路に関する希望について

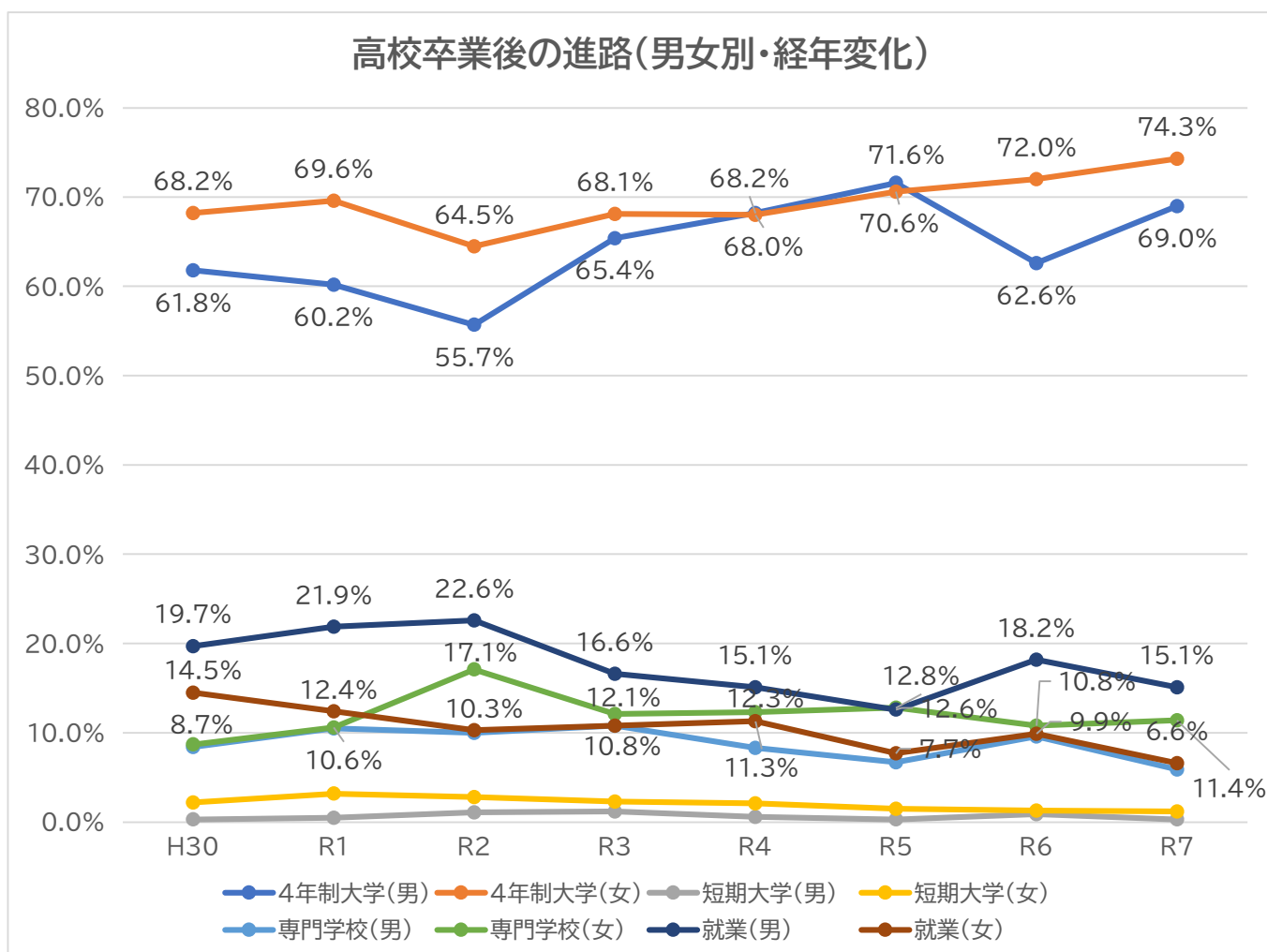
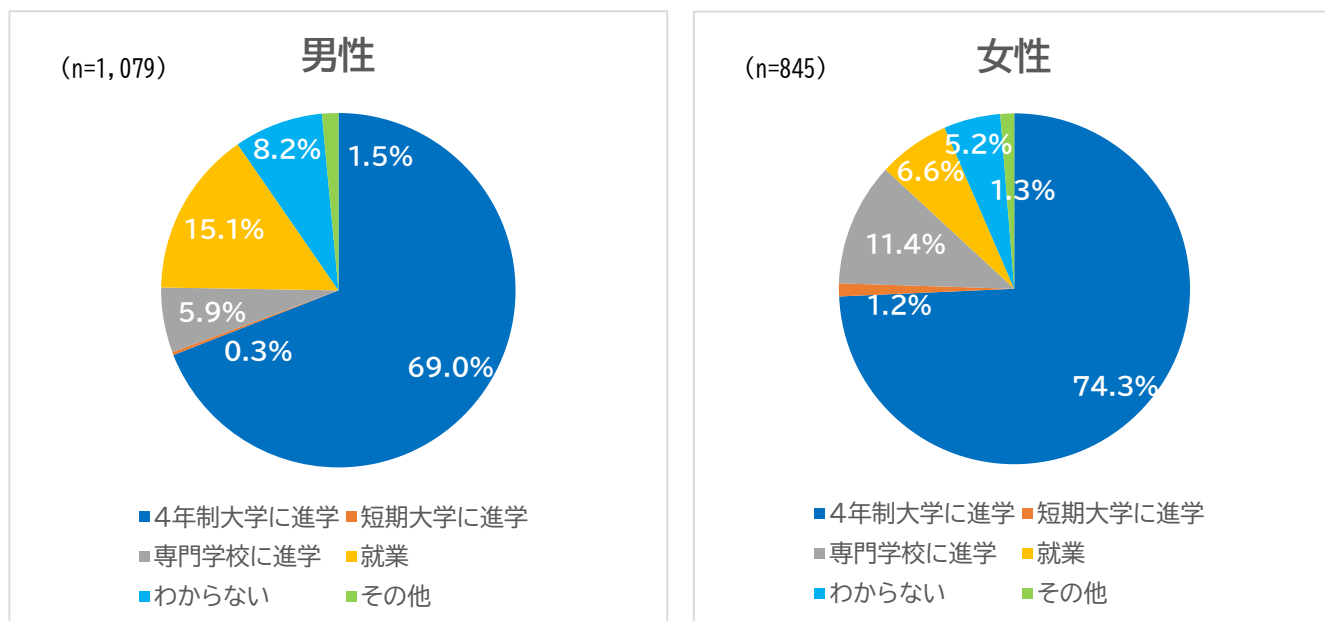
（1）高校卒業後の進路に関する現在の希望

高校卒業後の進路は、「4年制大学」が71.2%と最も高くなっており、一方で、「就業」は昨年度より低下し、11.4%となっており、緩やかな減少傾向となっている。



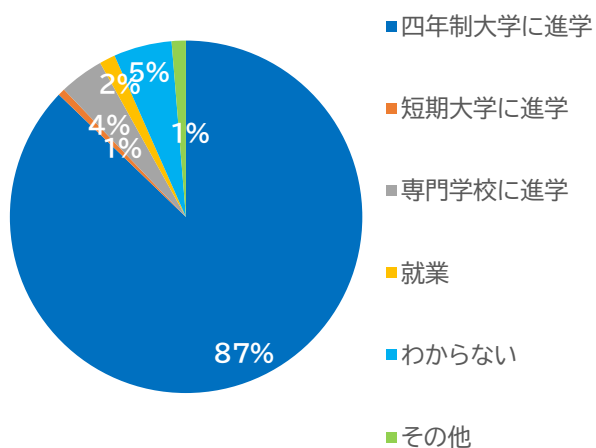
男女別に見ると、男女共に「4年制大学」が最も回答が多い。男性において、就業を希望する人は前年度と比べ減少している。また、女性では「4年制大学」を回答している人が引き続き増加した一方、「就業」は減少している。

居住地域別に見ると、「千葉」「印旛」「安房」「県外」地域で、8割以上が「4年制大学」を回答している。



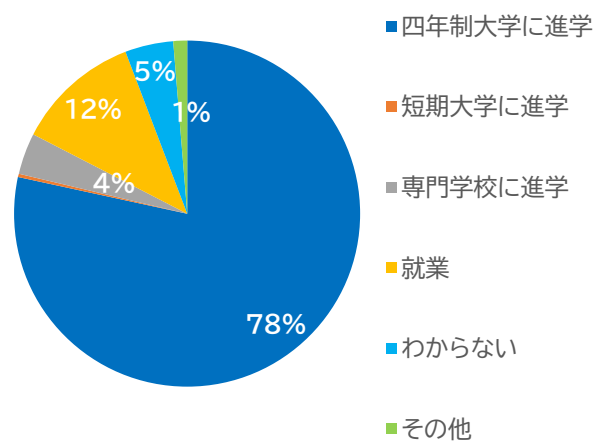
(n=616)

千葉



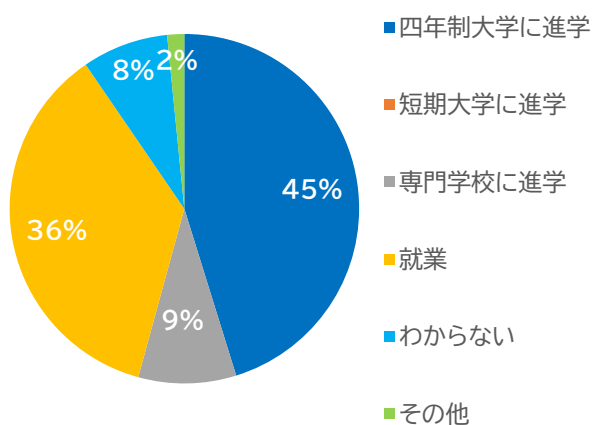
(n=310)

葛南



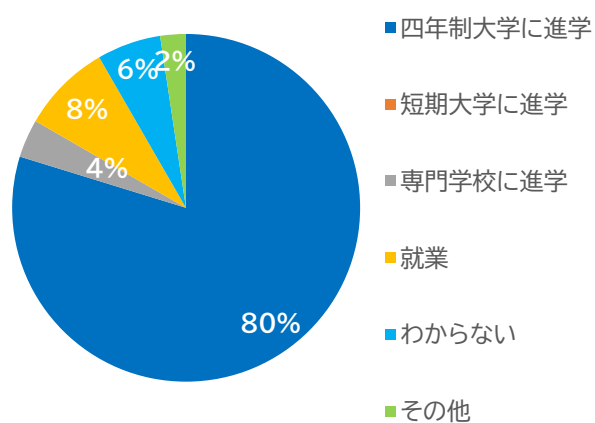
(n=188)

東葛飾



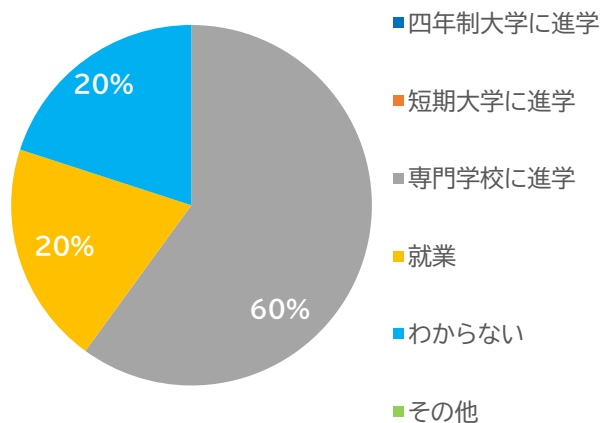
(n=84)

印旛



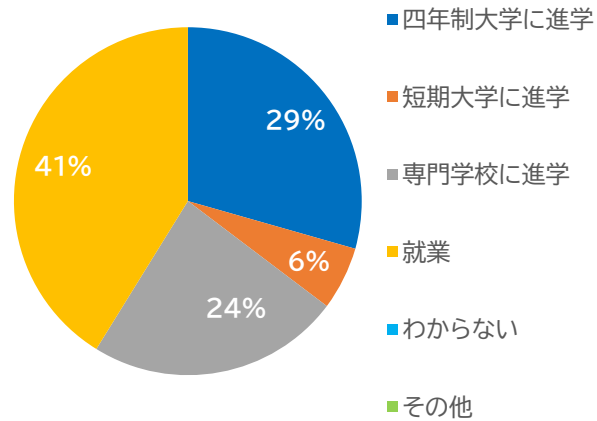
(n=5)

香取



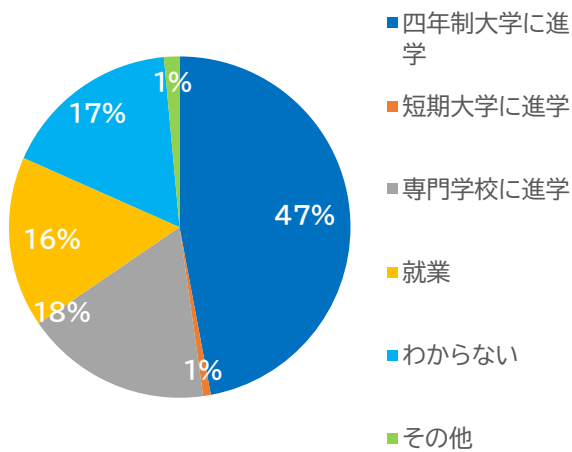
(n=17)

海匠



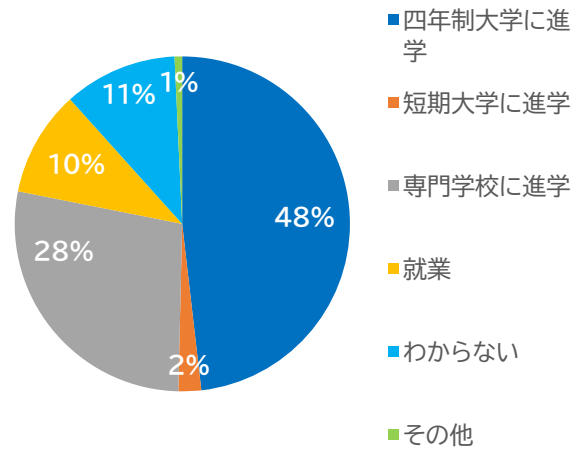
(n=136)

山武



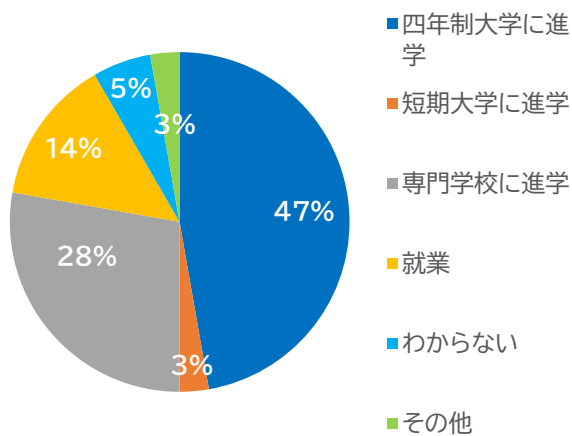
(n=137)

長生



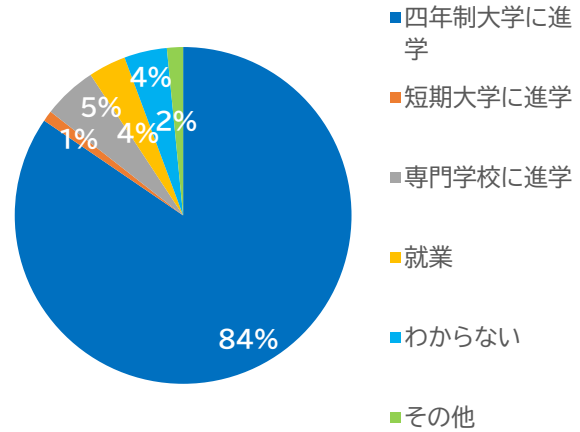
(n=36)

夷隅



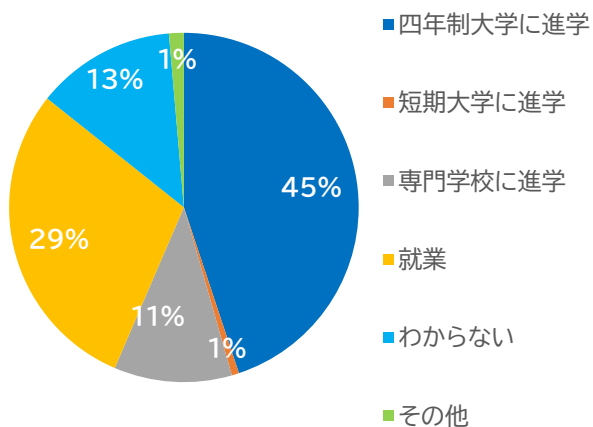
(n=194)

安房



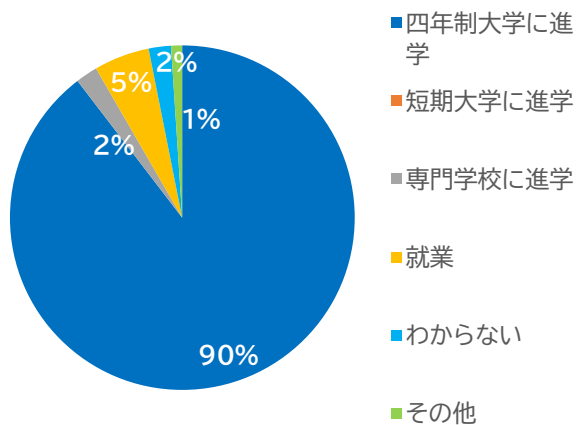
(n=147)

君津



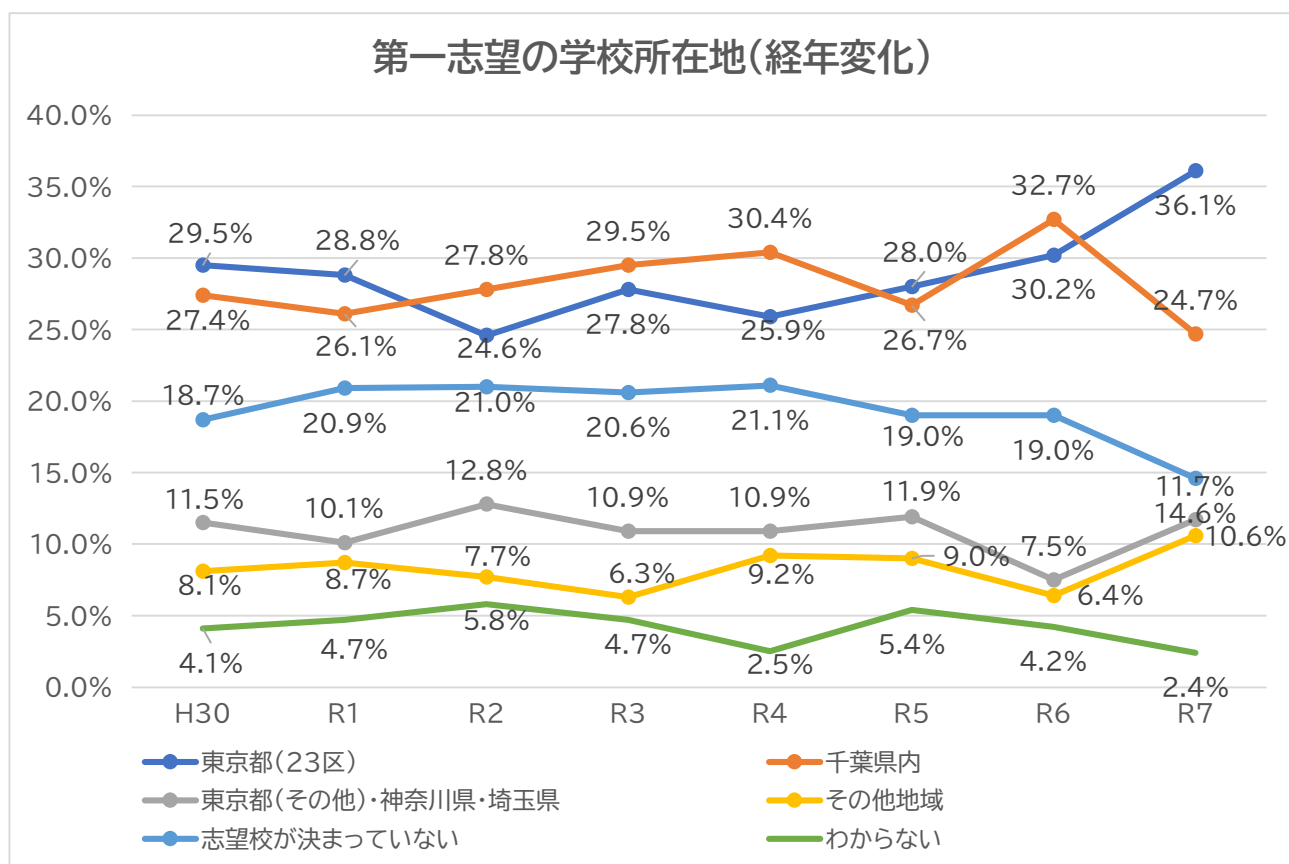
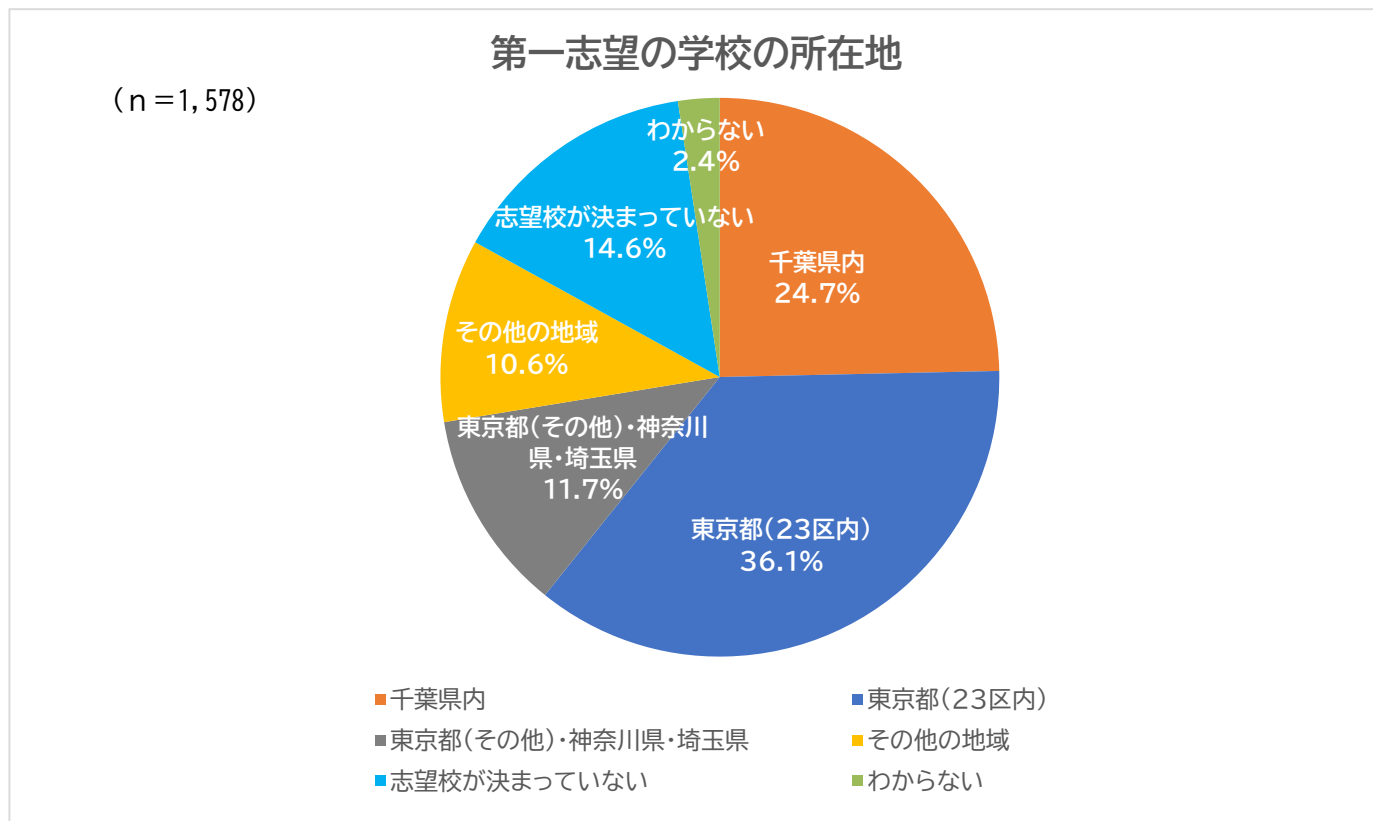
(n=96)

県外



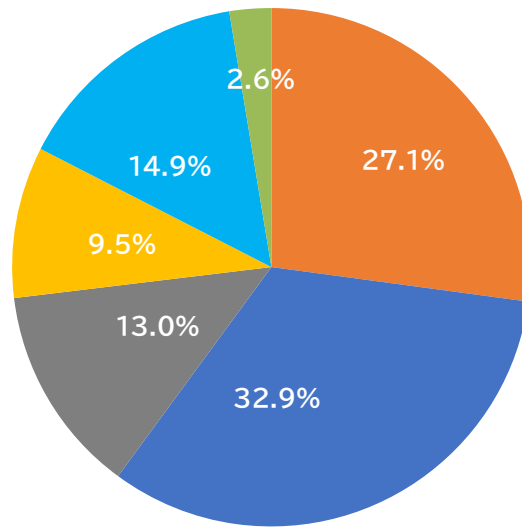
(2) 第一志望の学校の所在地

第一志望の学校の所在地は、「千葉県内」が昨年度よりも減少した。一方で、「東京都(23区内)」は昨年度よりも増加し、36.1%となった。



県内出身

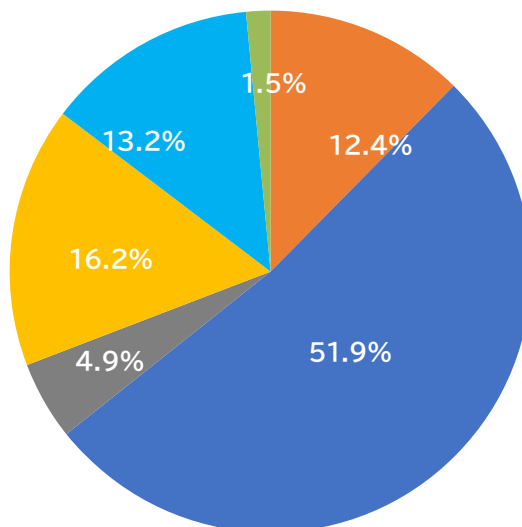
(n = 1,312)



- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域
- 志望校が決まっていない
- わからない

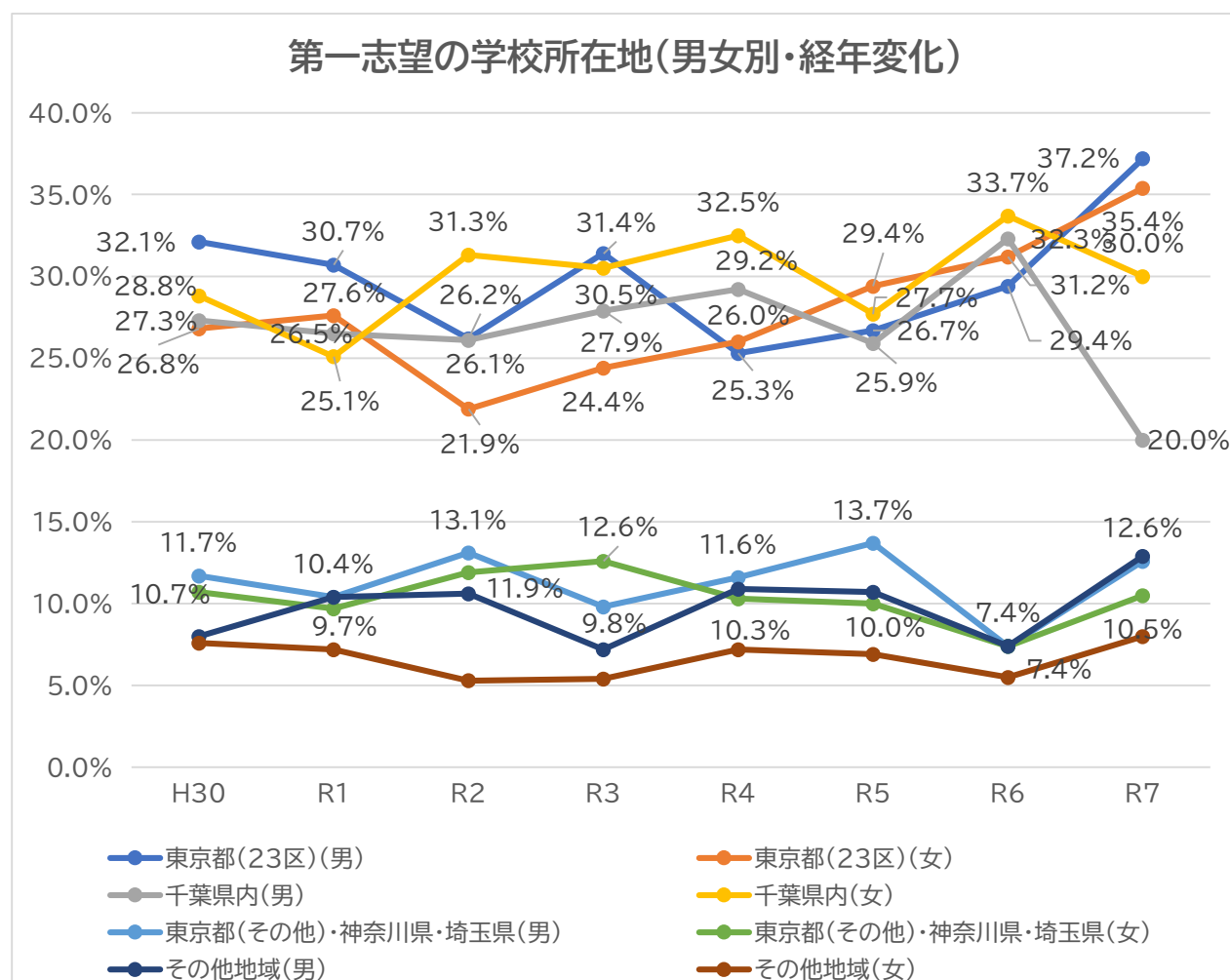
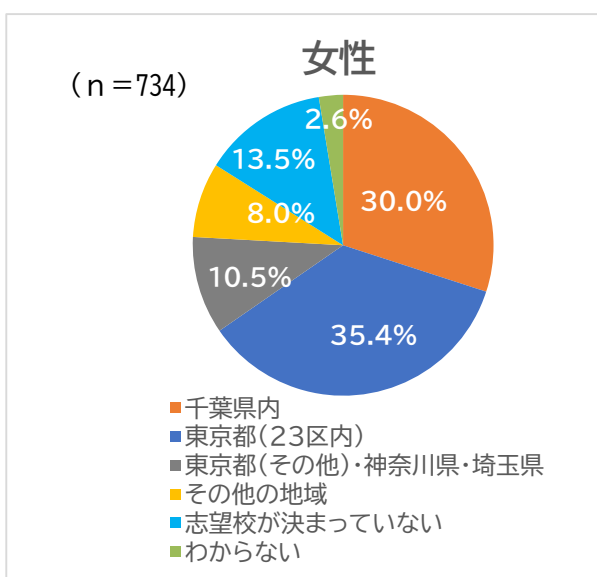
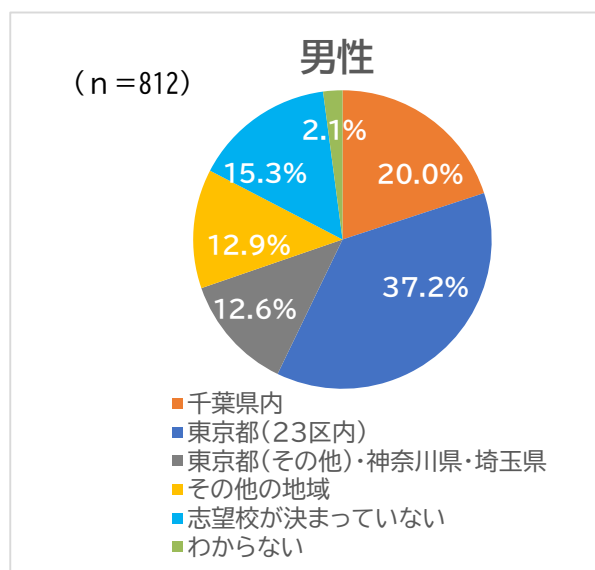
県外出身

(n = 266)

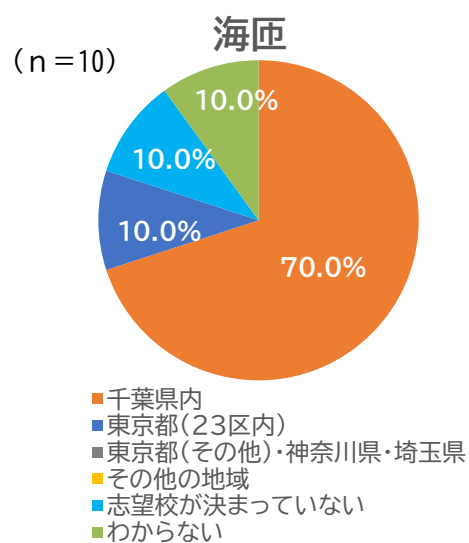
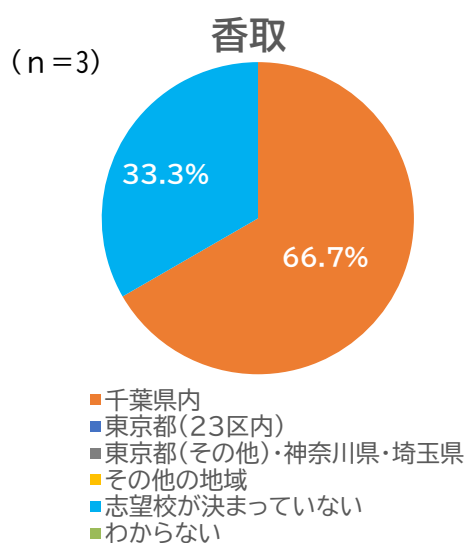
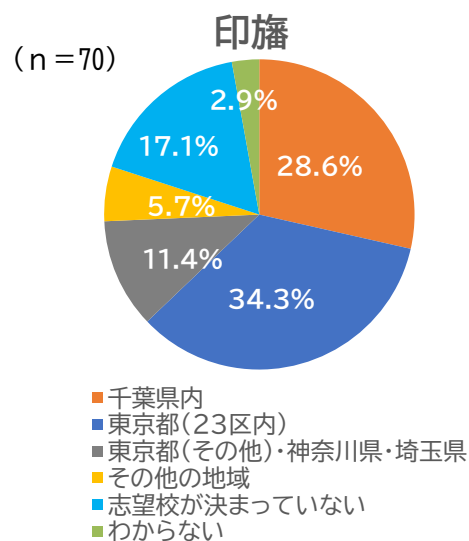
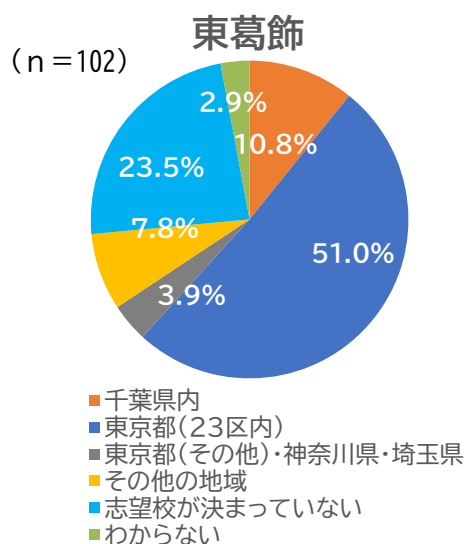
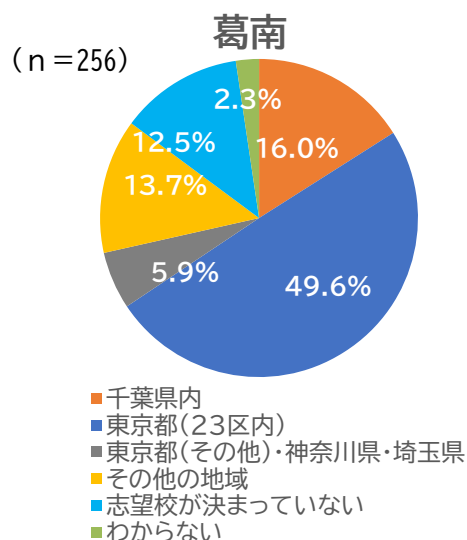
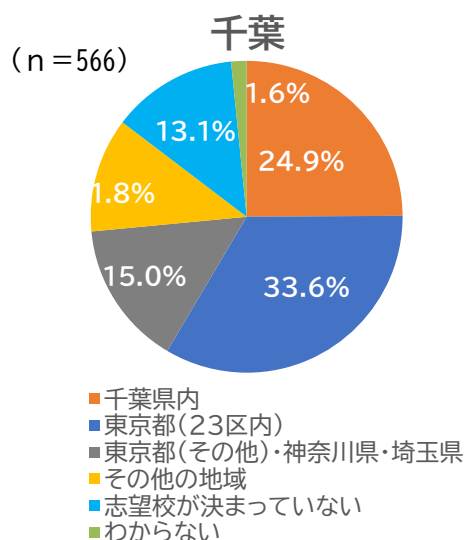


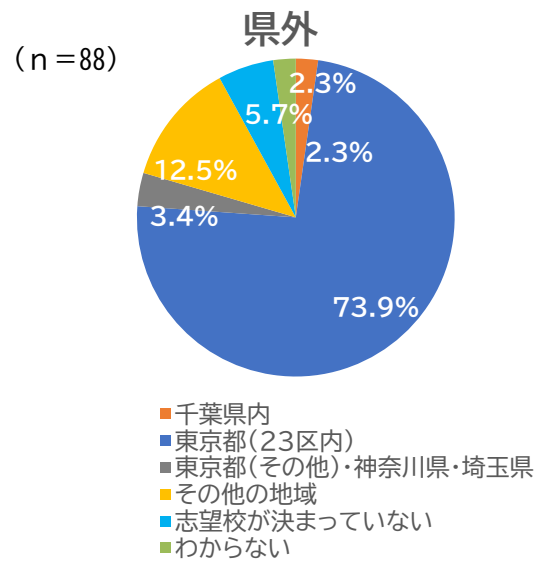
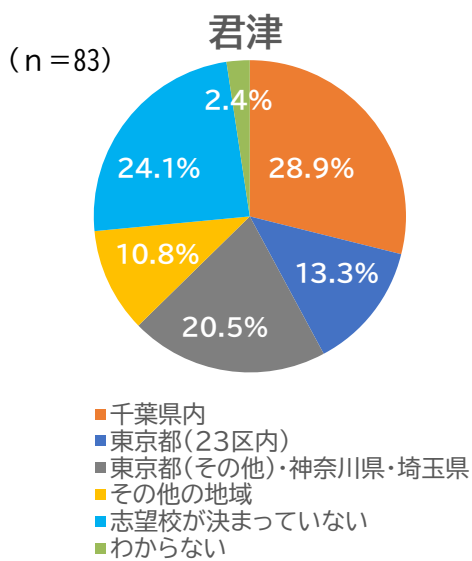
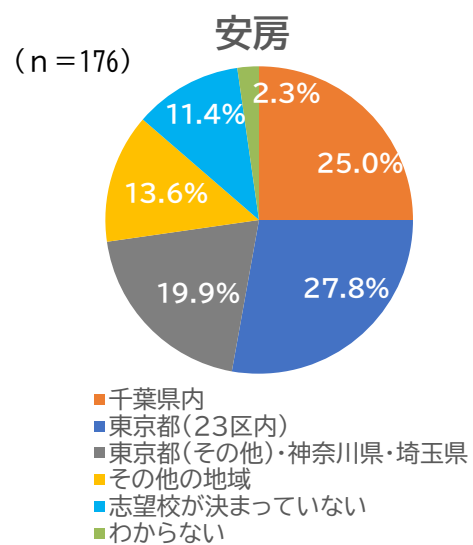
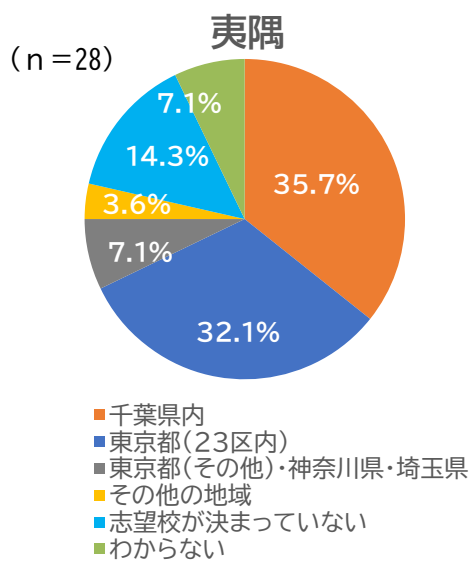
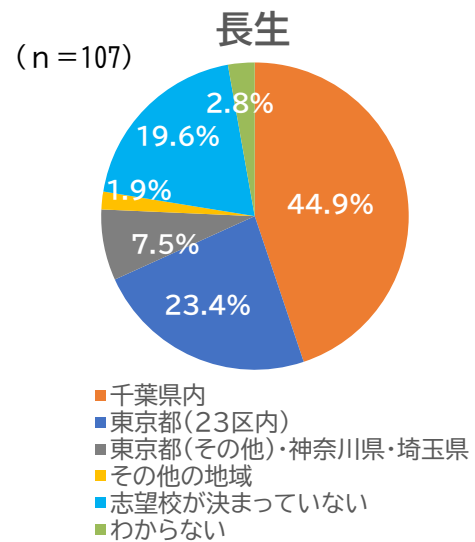
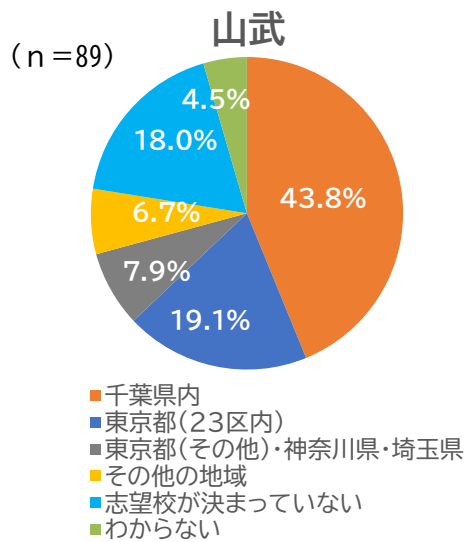
- 千葉県内
- 東京都(23区内)
- 東京都(その他)・神奈川県・埼玉県
- その他の地域
- 志望校が決まっていない
- わからない

経年変化を見ると、昨年度と比較して、男女ともに、「千葉県内」を選択している者の割合が低下し、さらに、「東京都（23区内）」や「東京都（その他）、神奈川県、埼玉県」の割合が増えている。



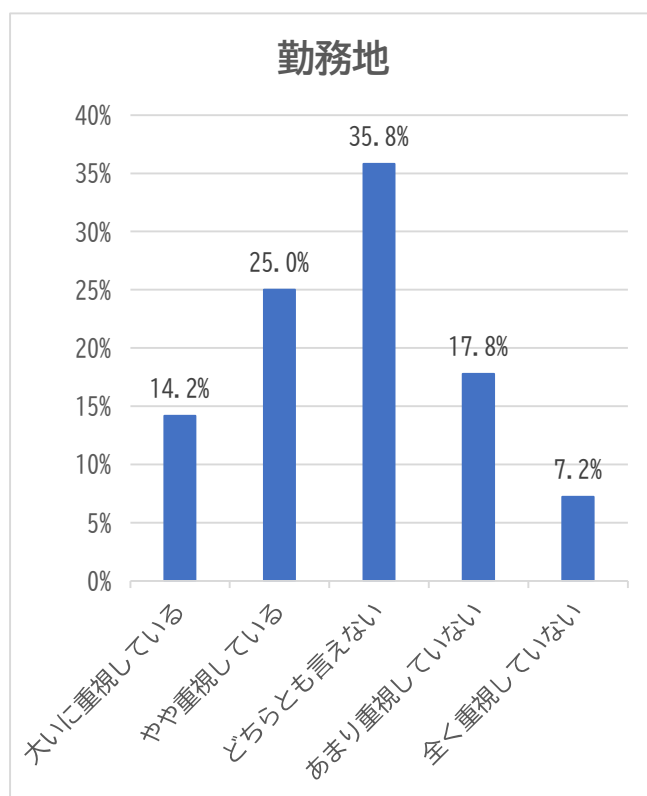
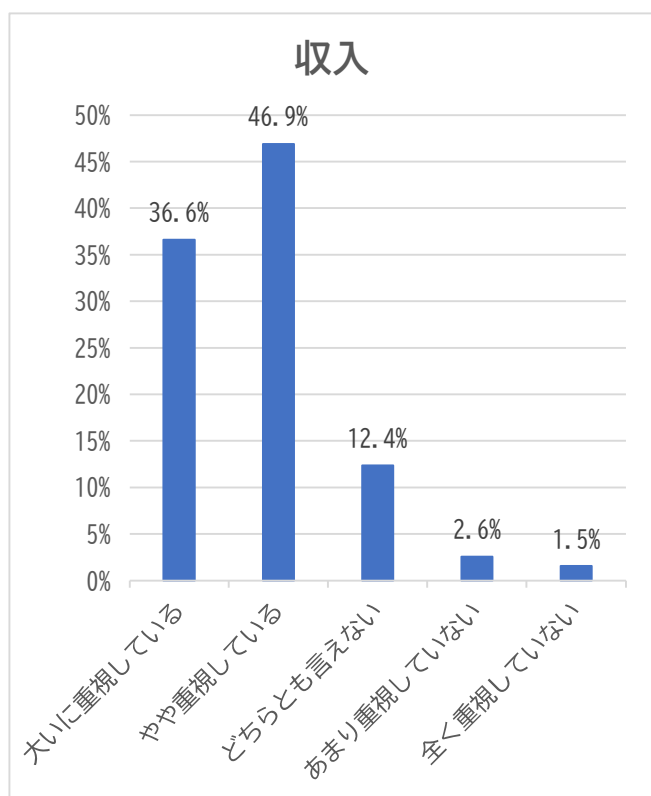
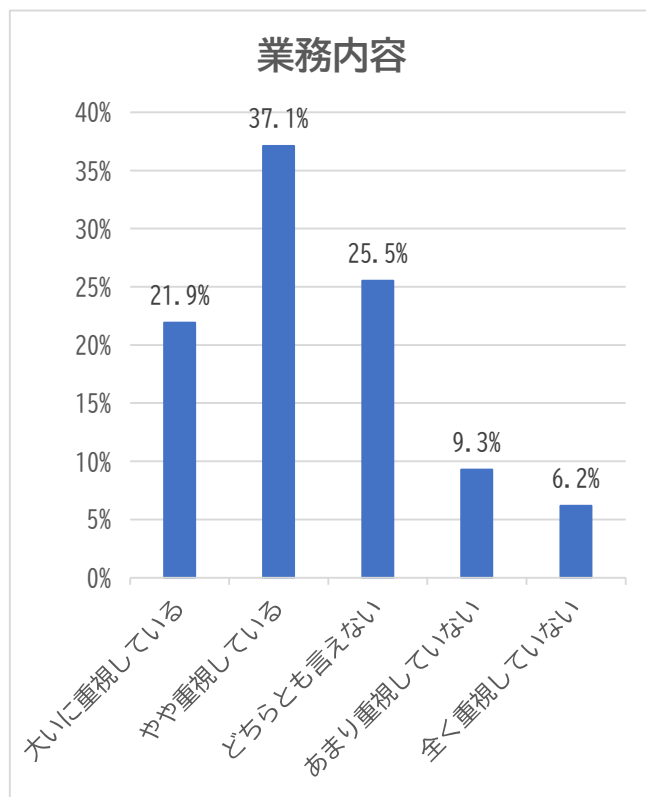
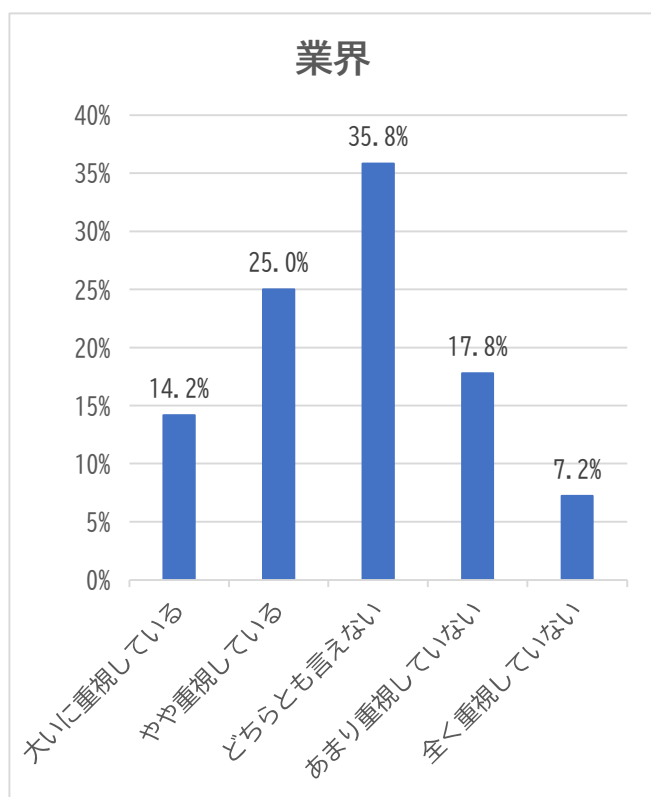
居住地域別に見ると、東京に近い地域ほど「東京都 23 区内」を選択する割合が多くなる一方、遠い地域は千葉県内（安房地域を除く）が多くなっている。



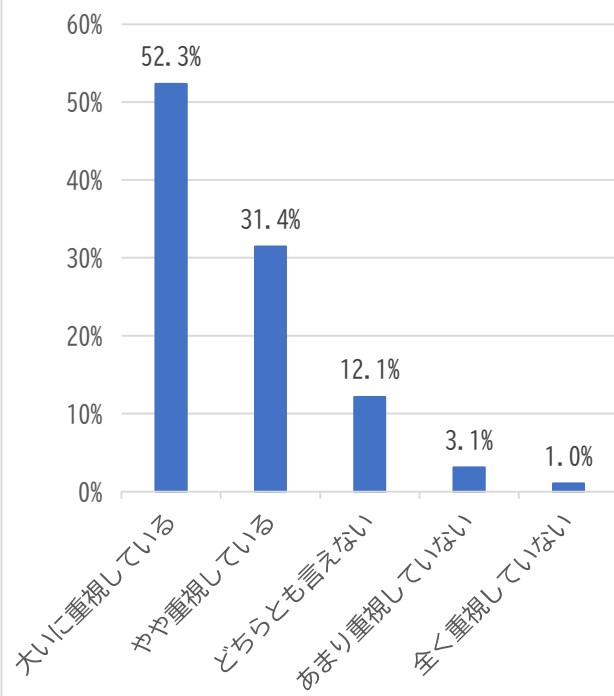


2. 将来の就業に際して重視する点

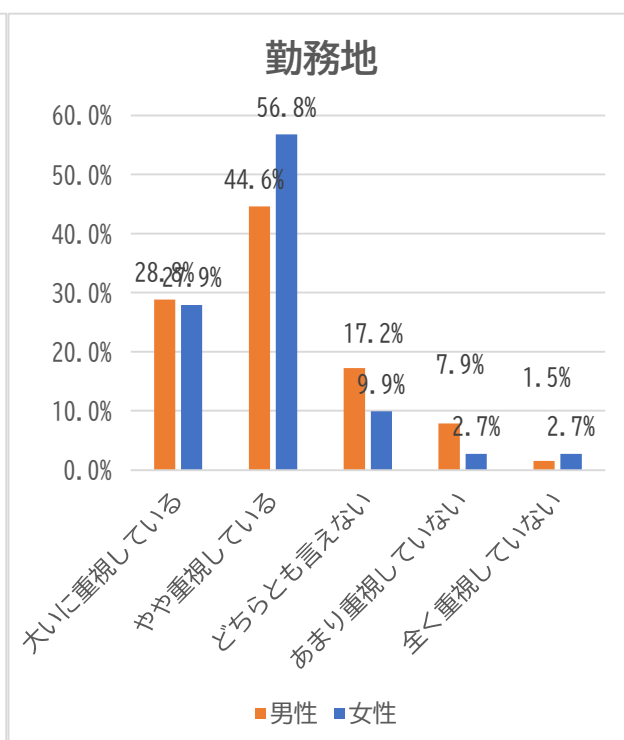
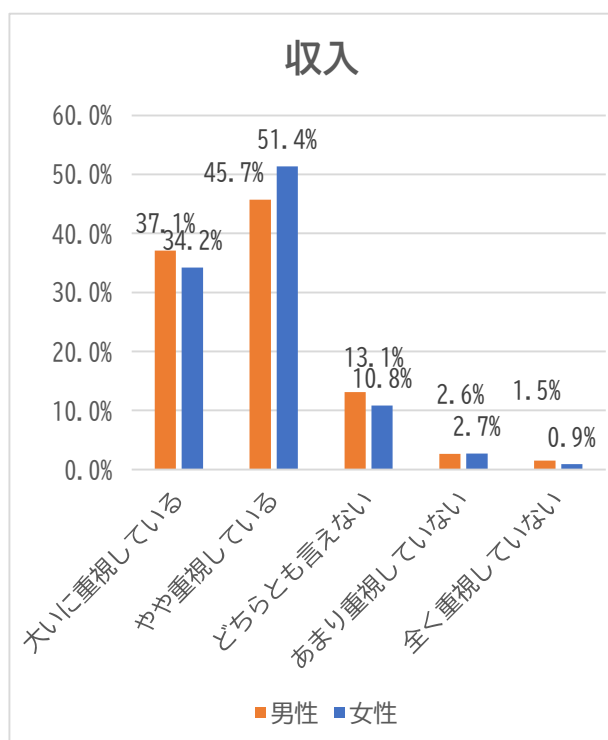
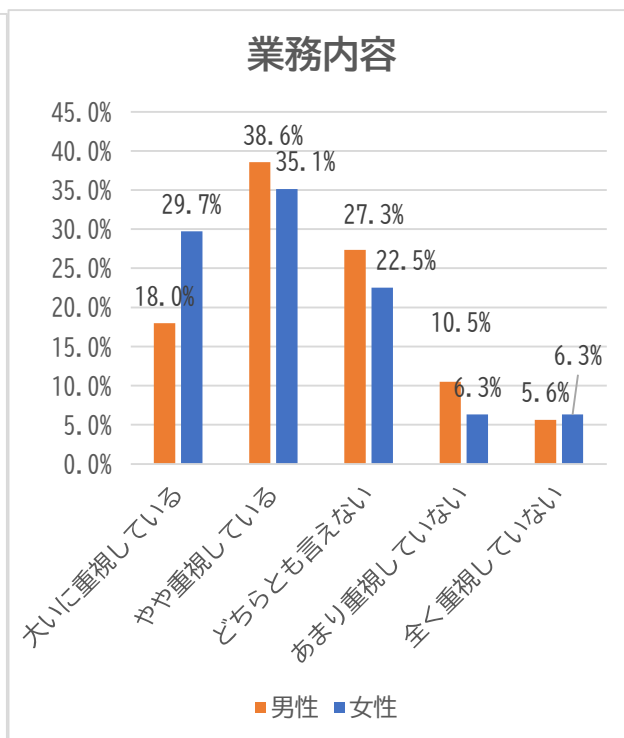
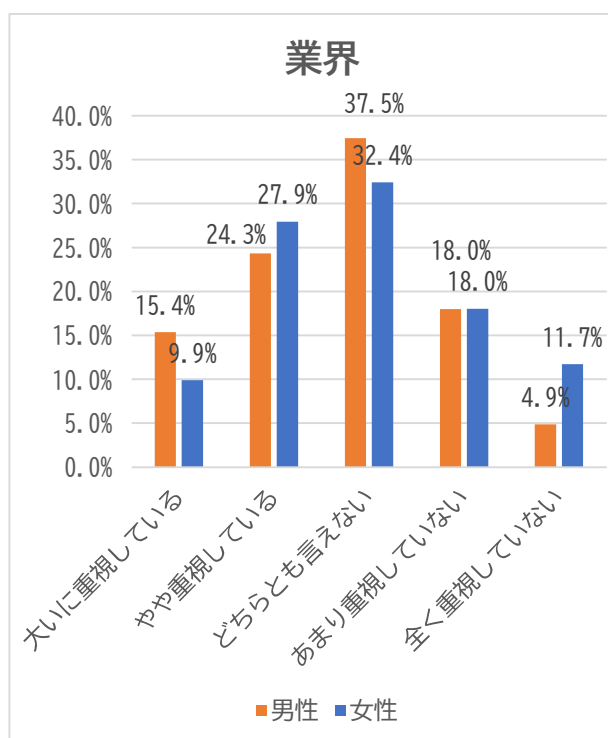
高校生が就業先を選択するときに重視する点について、ワーク・ライフ・バランスを大いに重視していると答えている学生が多い。



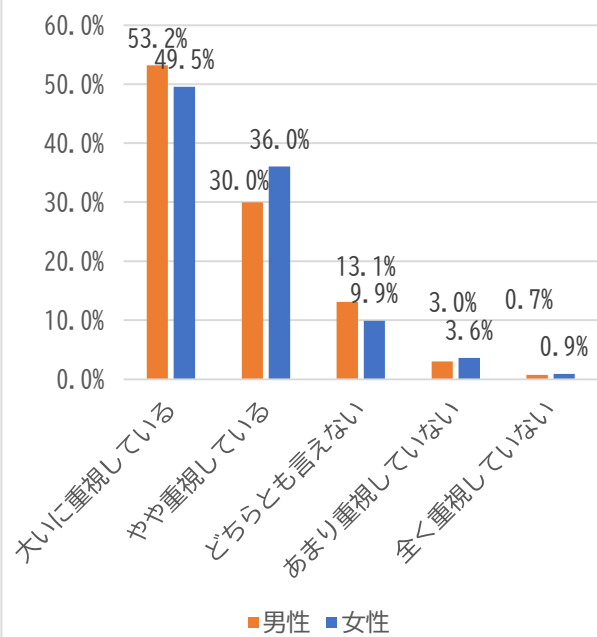
ワーク・ライフ・バランス



男女別にみても、大きく傾向は変わらない。ワーク・ライフ・バランスについては、男女とも、「大いに重視している」の回答が多い。



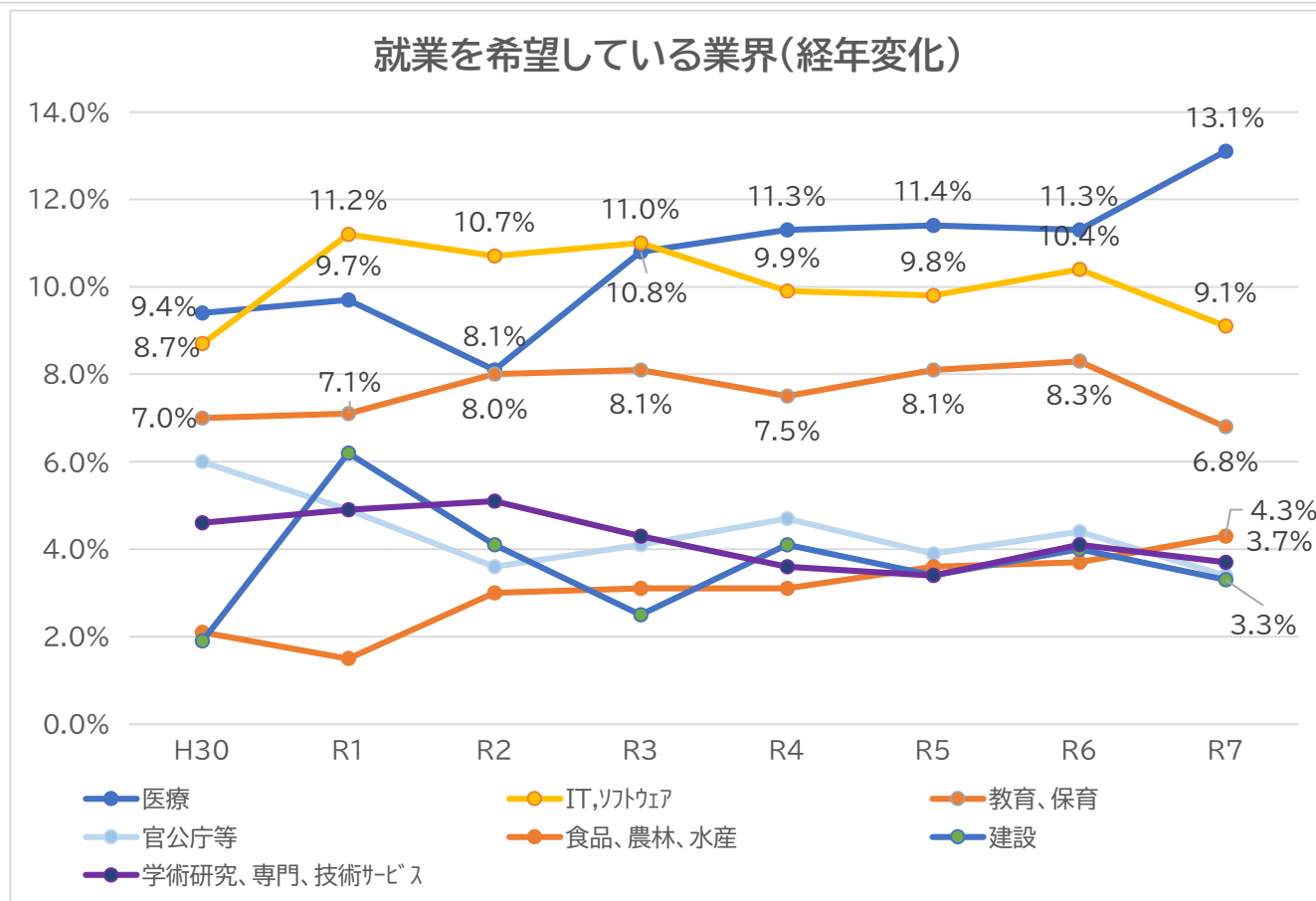
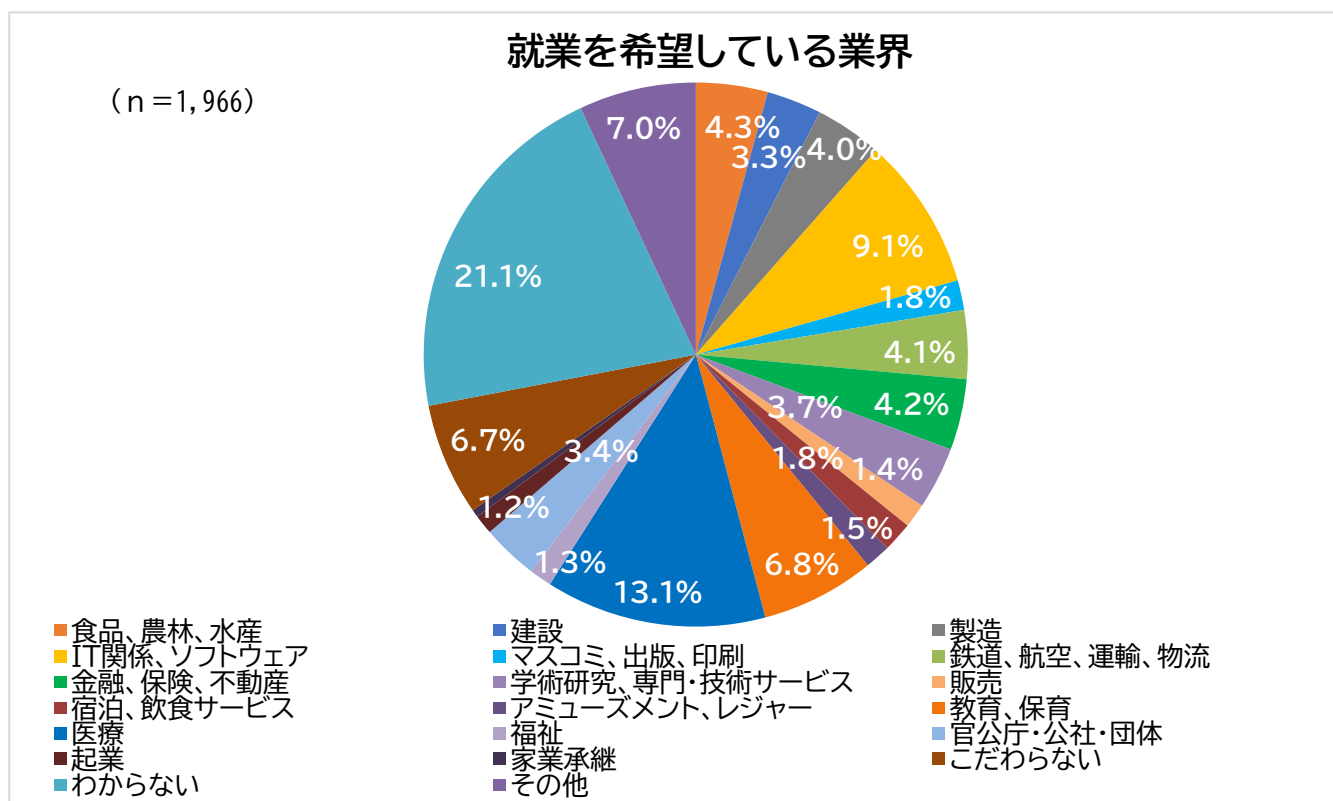
ワーク・ライフ・バランス



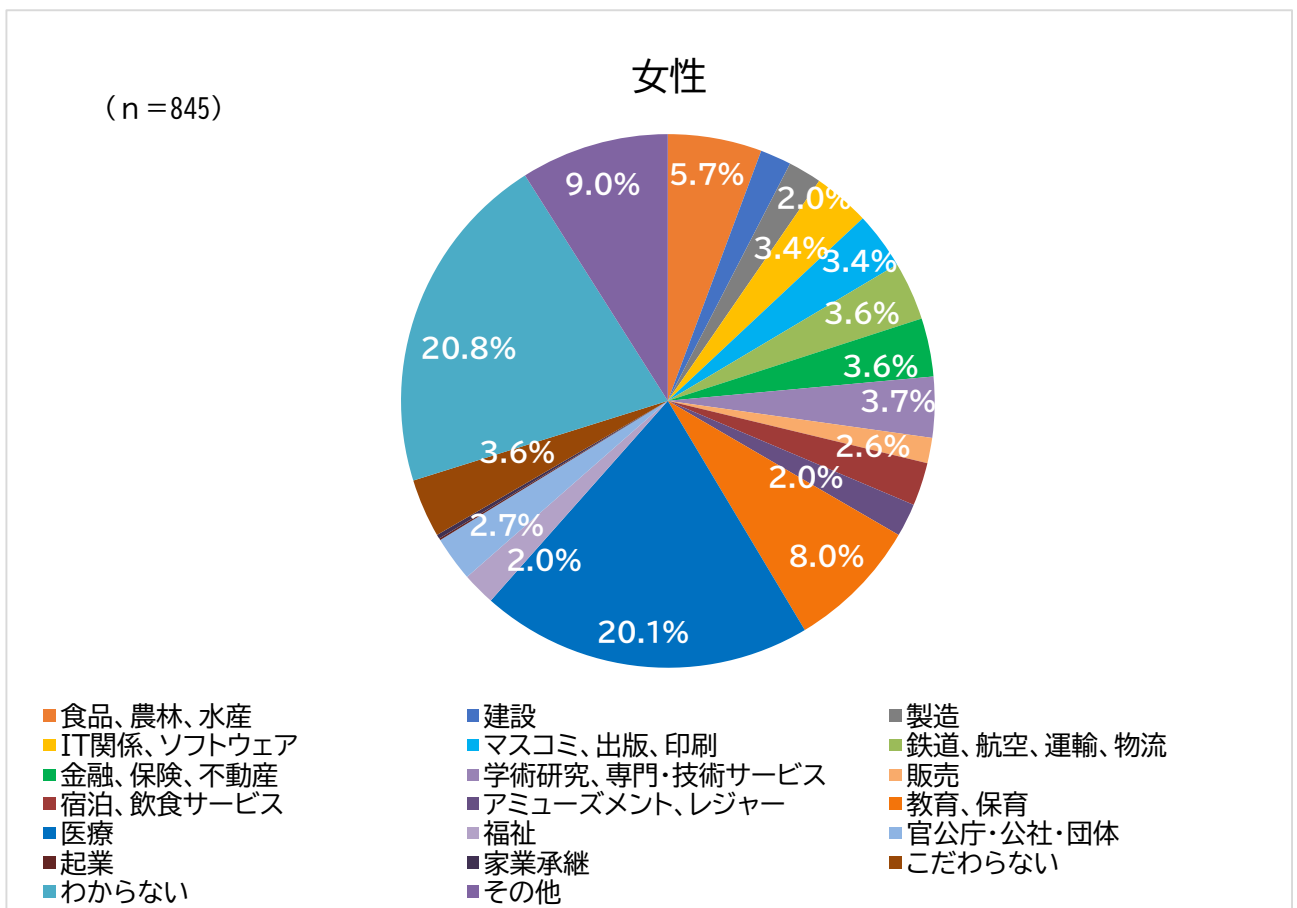
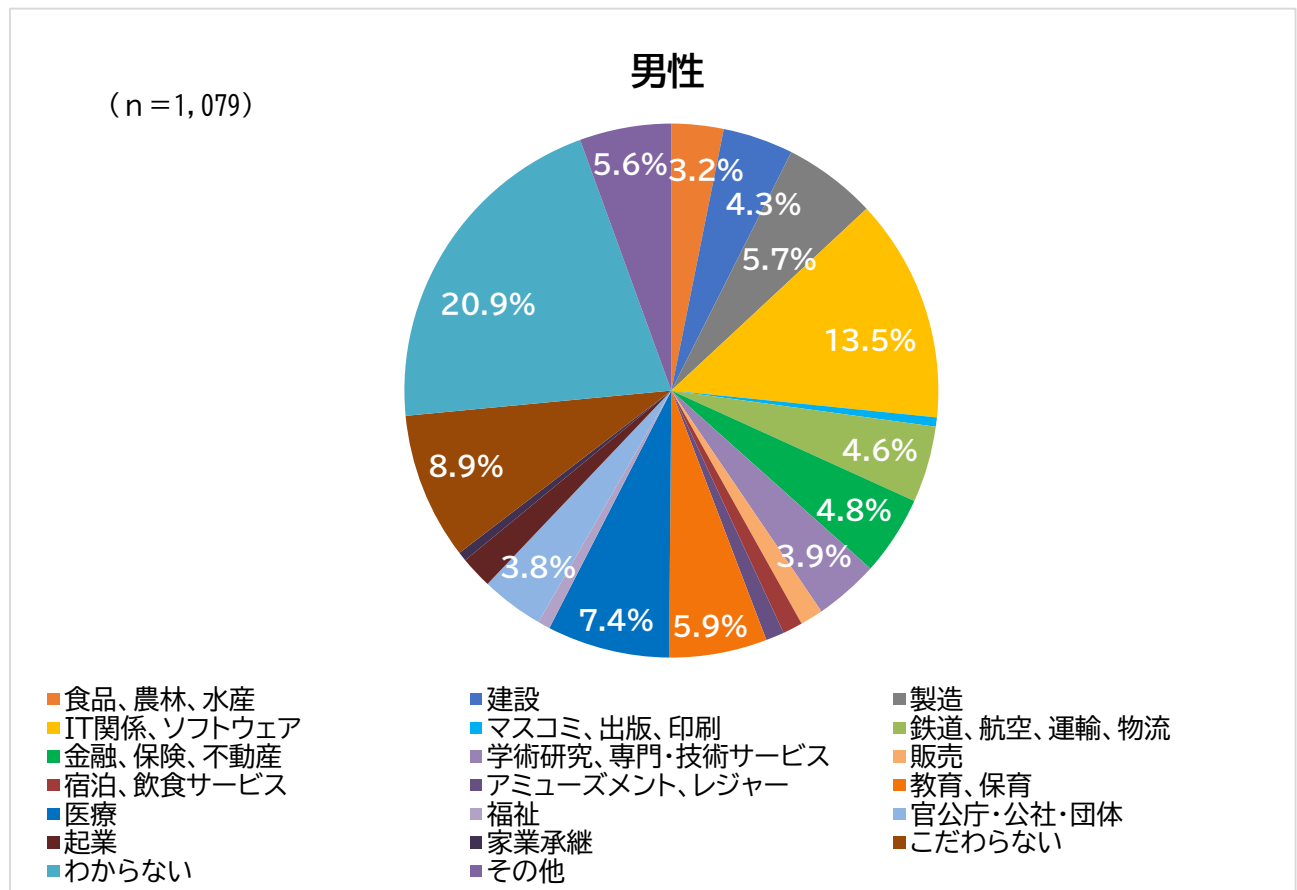
3. 将来の就業に関する希望について

(1) 就業を希望している業界

高校生が就業を希望している業界の上位3つの順位は過去3年度と変わらないが、「医療」は昨年度より増加し、「IT関係、ソフトウェア」、「教育、保育」は減少している。

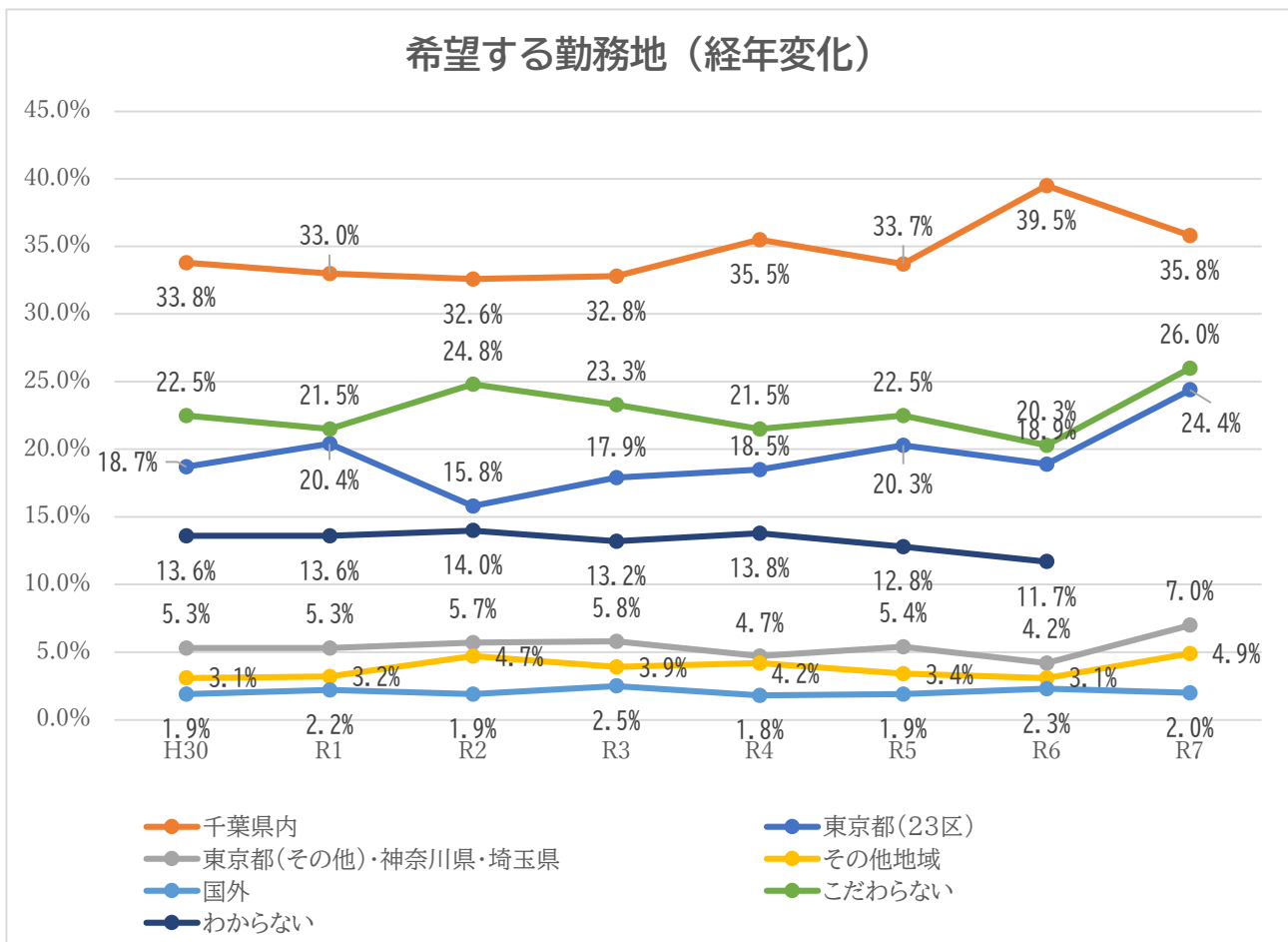
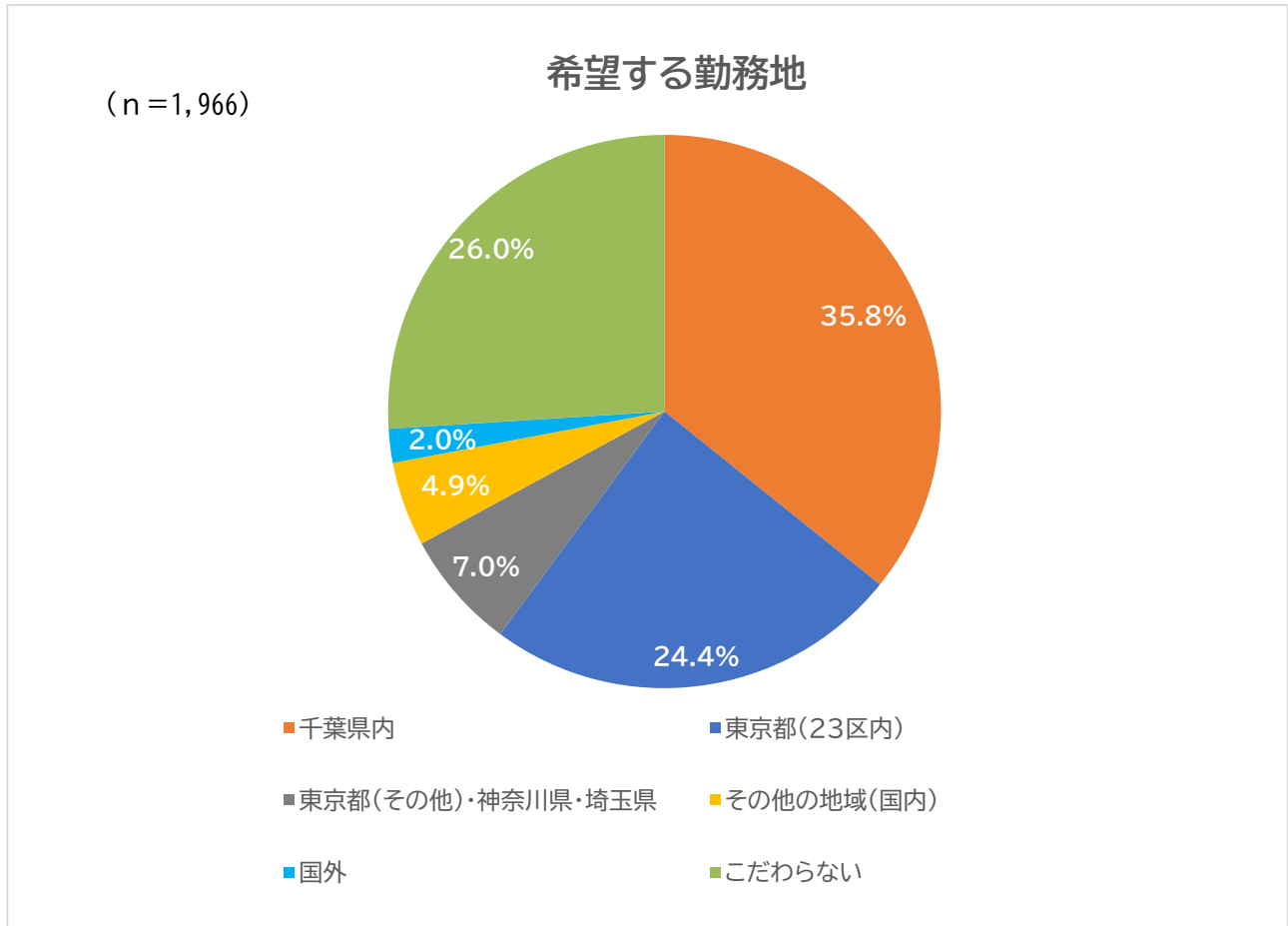


男女別にみると、男性は「IT、ソフトウェア」が多くなっており、次に「医療」が多くなっている。一方、女性は「医療」、「教育、保育」が多くなっているのが特徴である。

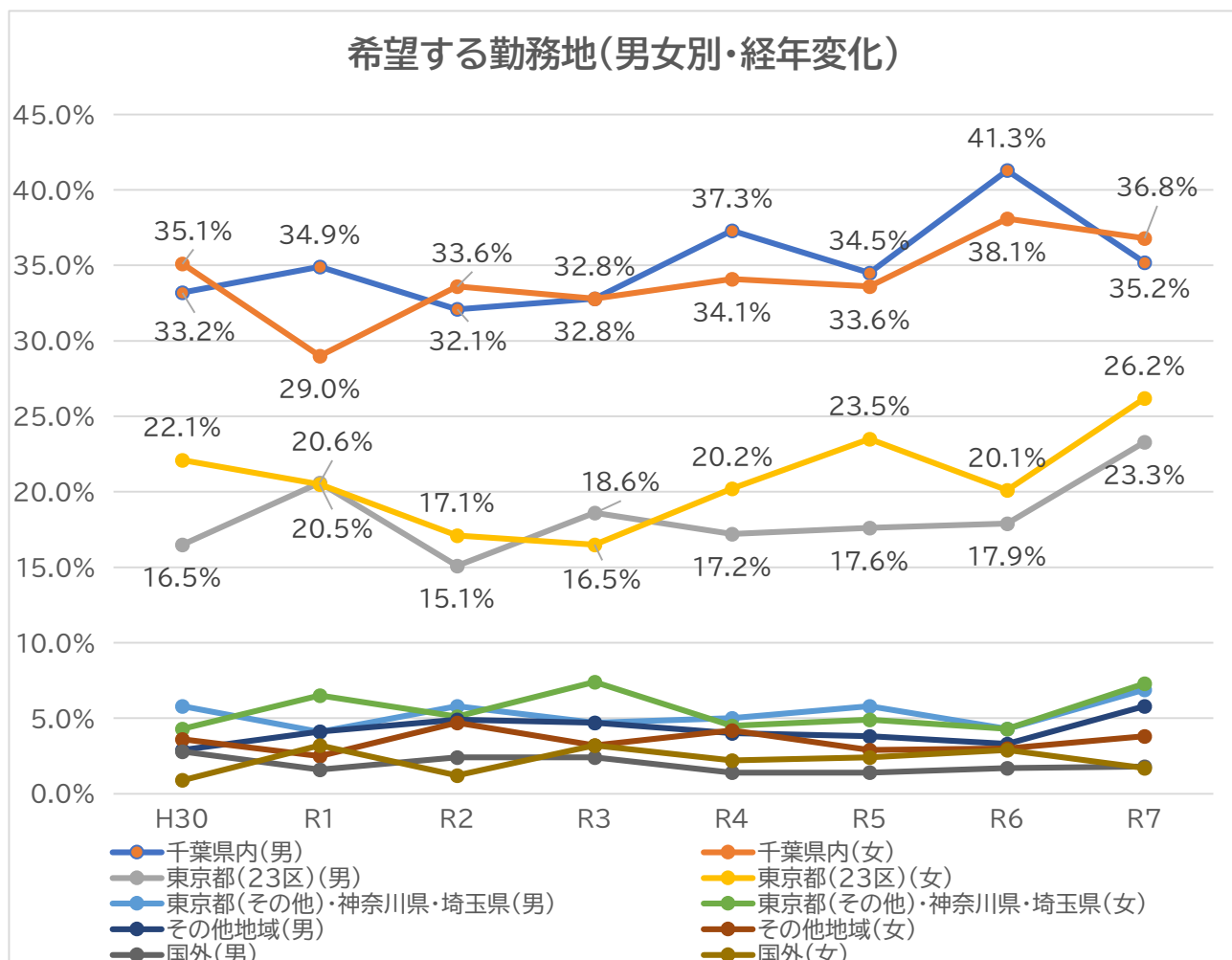
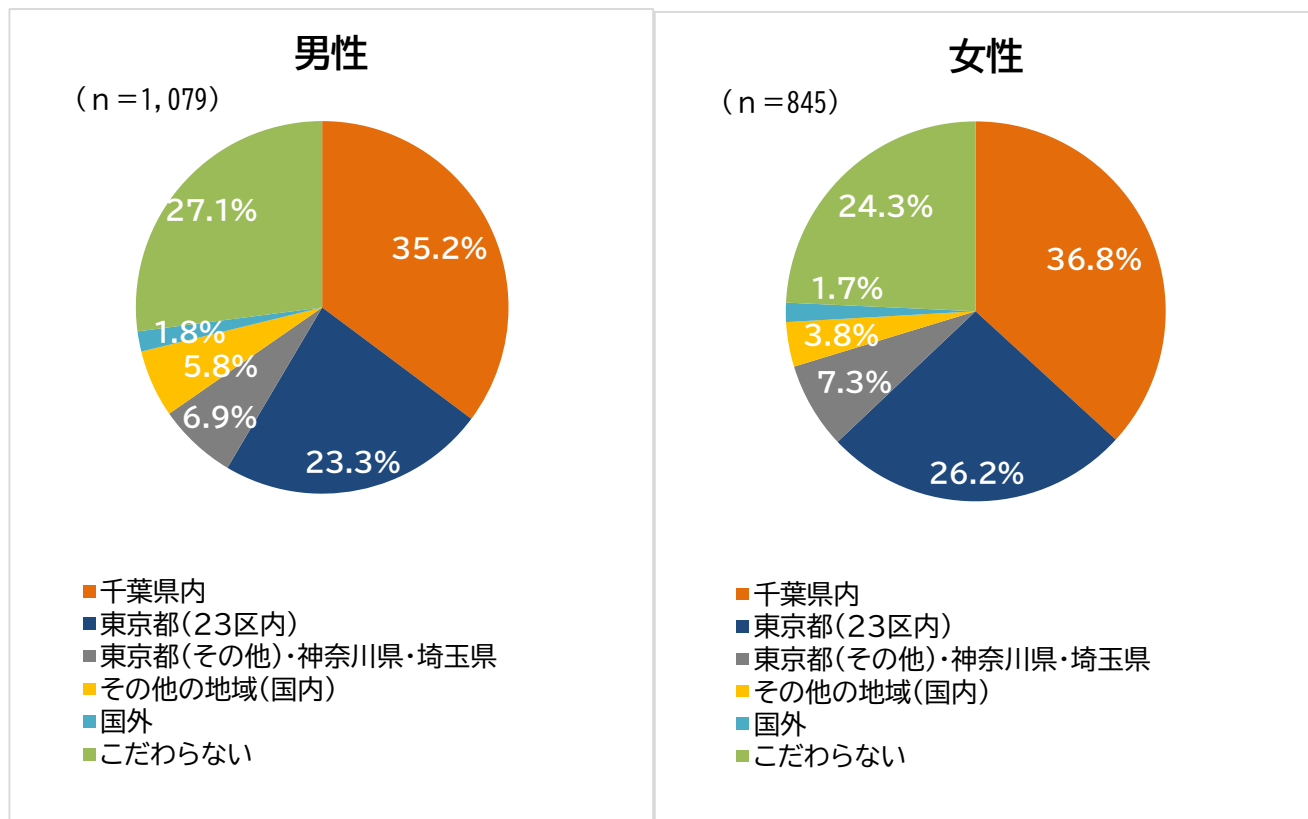


(2) 希望する勤務地

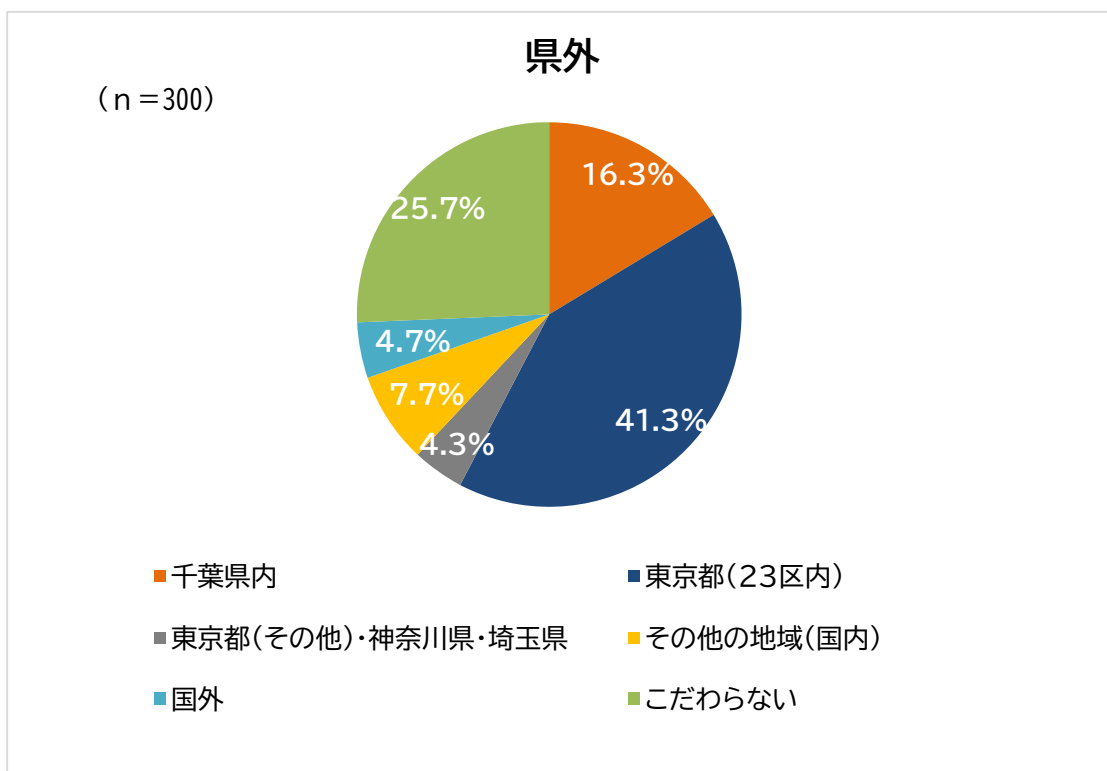
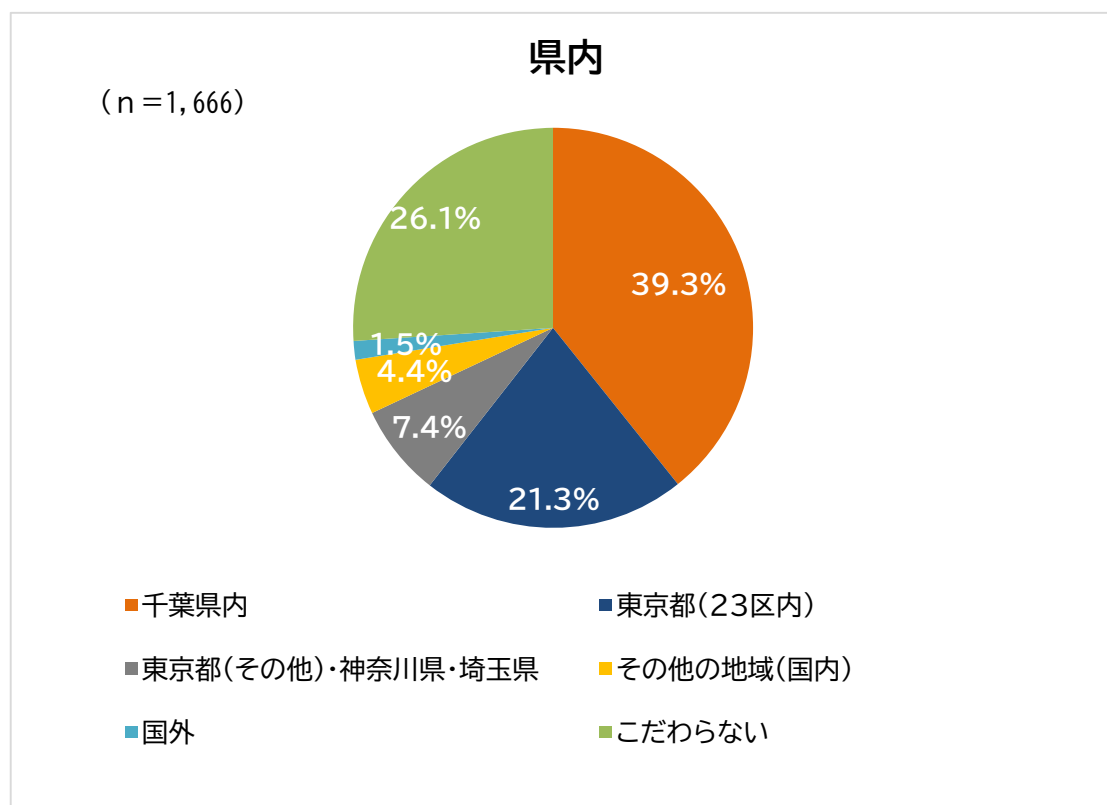
高校生の希望する勤務地は、これまでの傾向と同様「千葉県内」が最も多く、35.8%となっている。



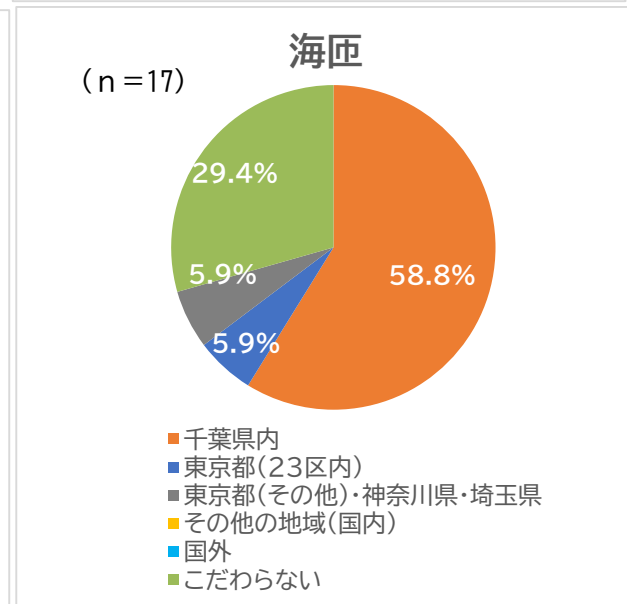
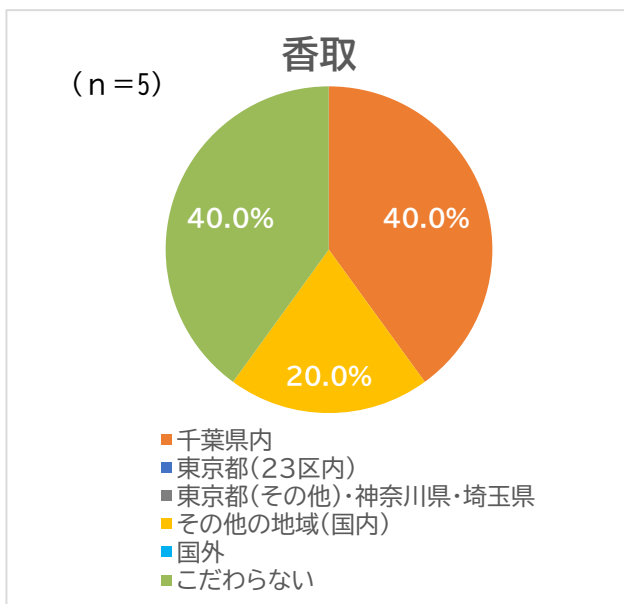
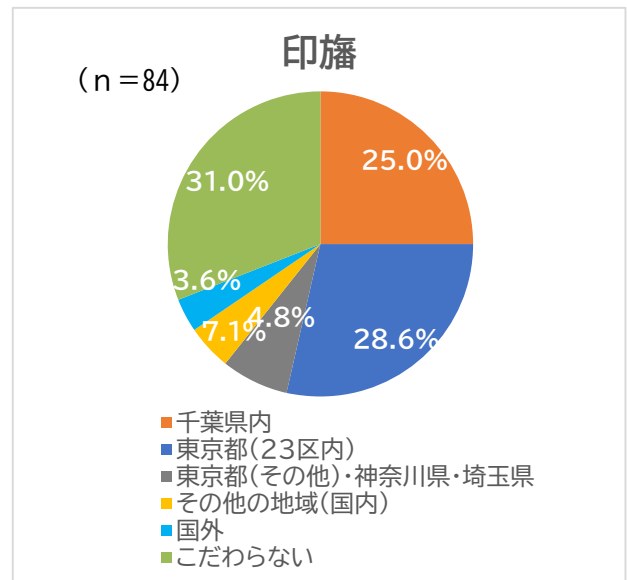
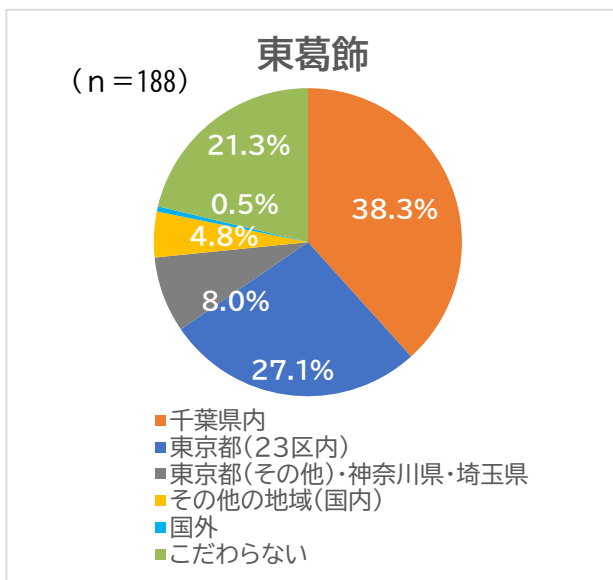
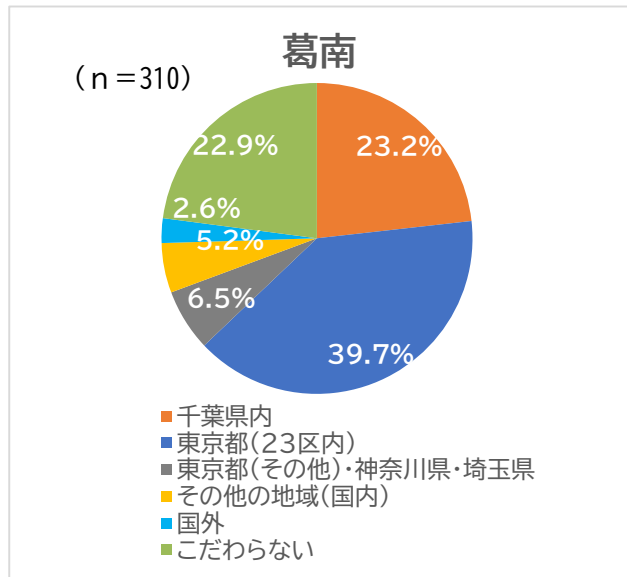
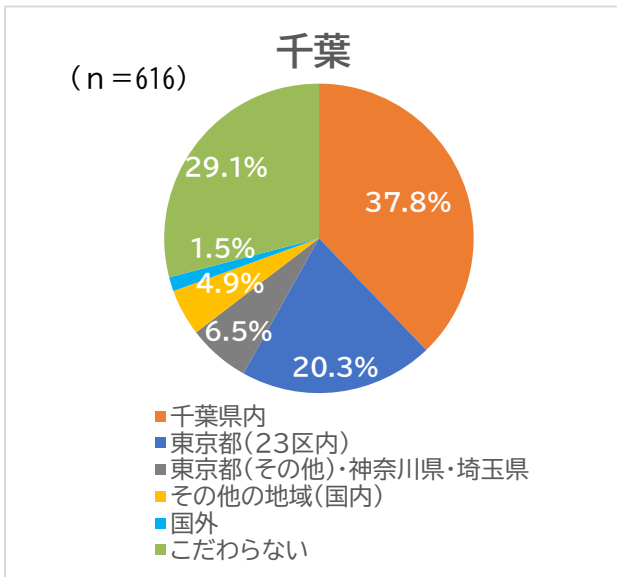
男女別に経年変化を見ると、昨年度と比べ、男女ともに「千葉県内」を回答する割合が低くなっている。

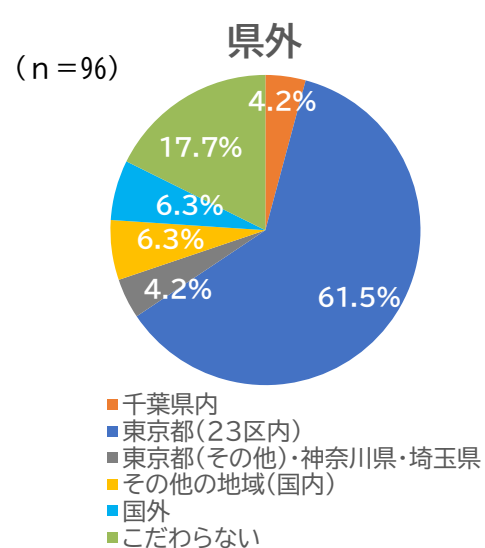
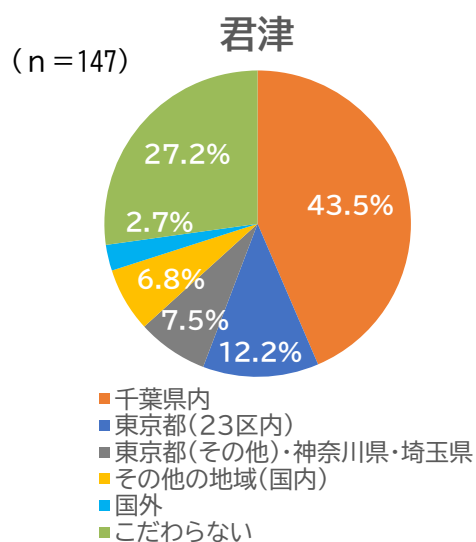
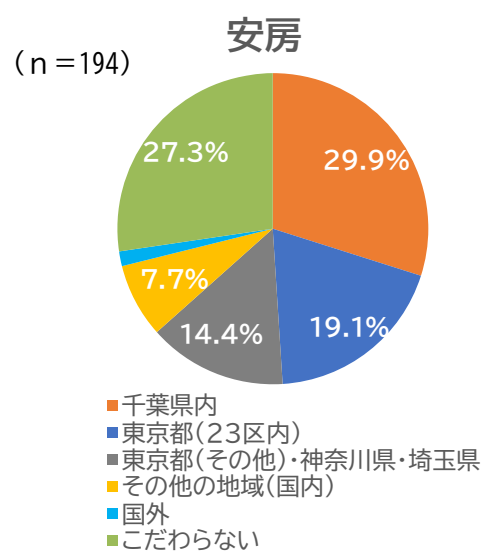
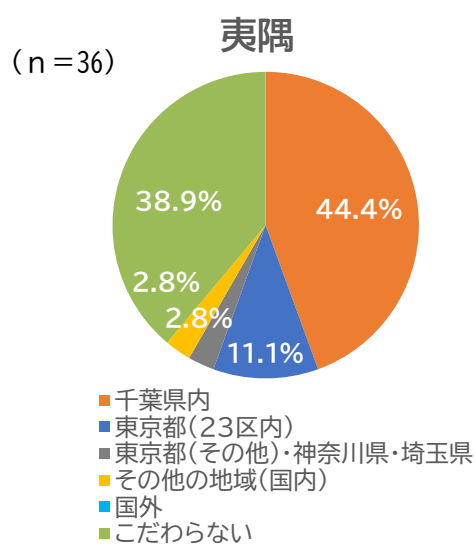
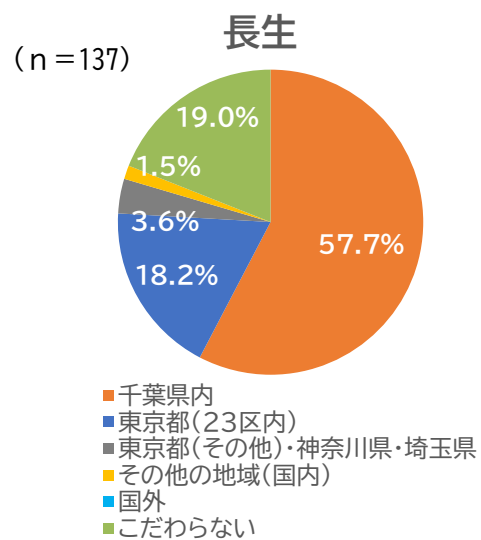
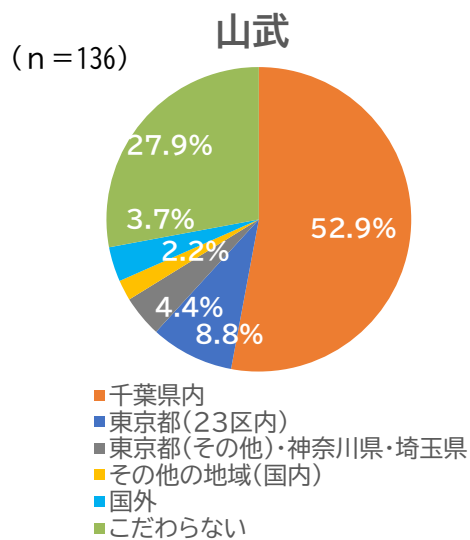


出身地別に見ると、県内出身者ほど「千葉県内」を選択する割合が多い。



居住地域別に見ると、東京に近い地域ほど「東京都（23区内）」を選択する割合が多くなる一方、遠い地域は千葉県内が多くなっている。

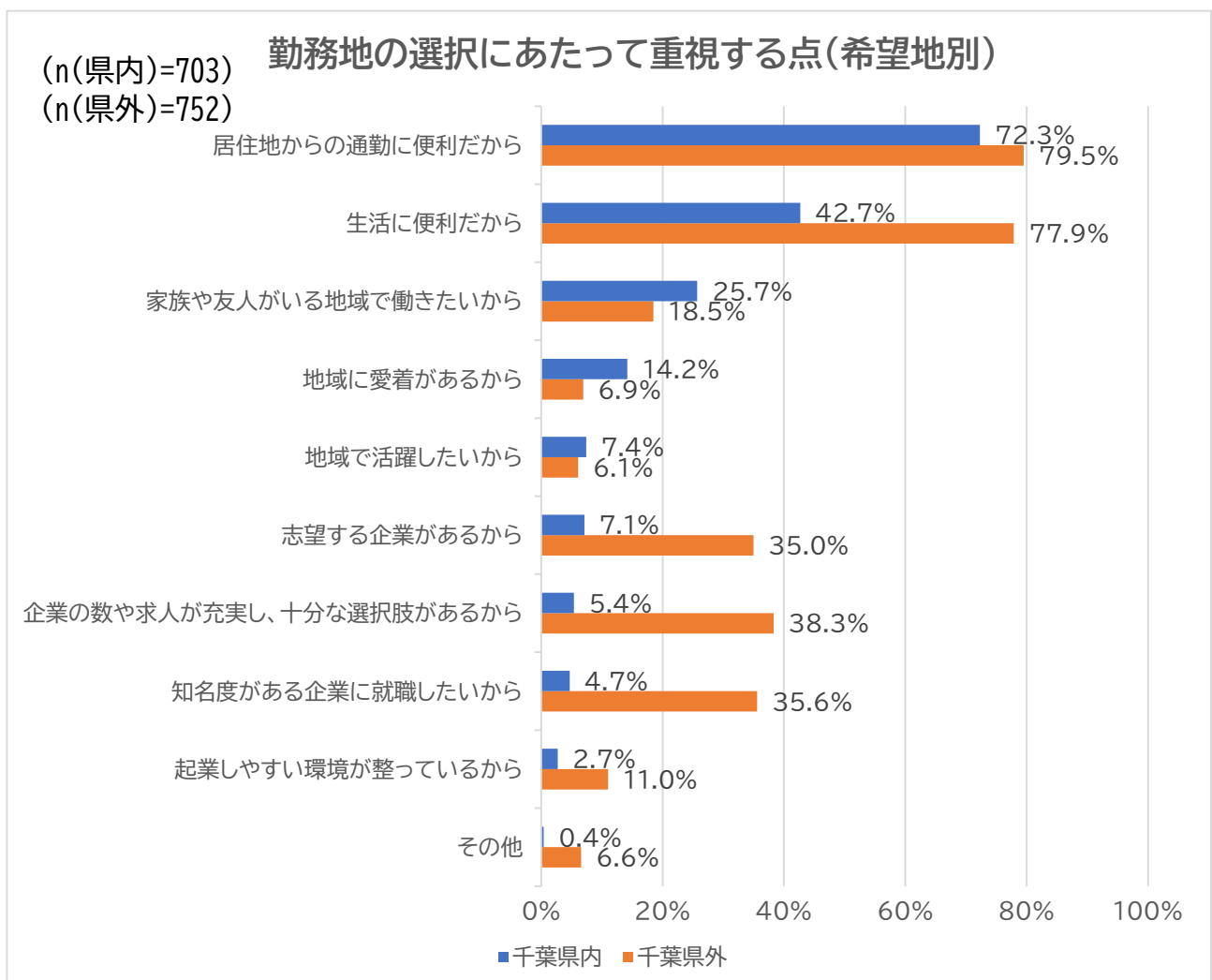
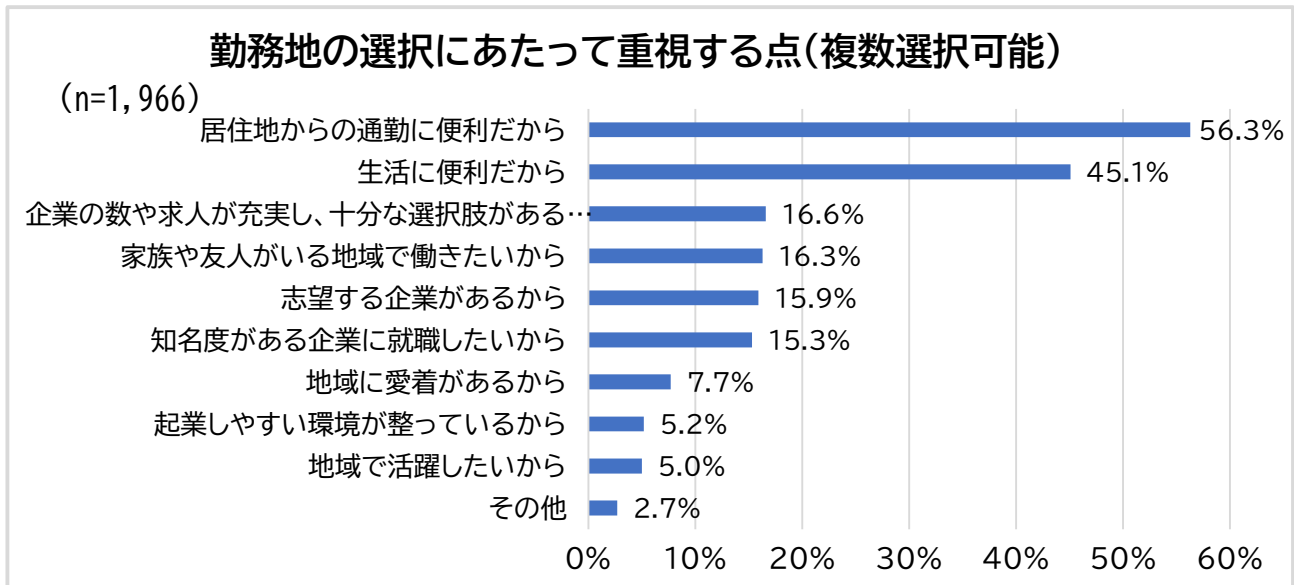




(3) 勤務地の選択にあたって重視する点

勤務地の選択にあたって重視する点としては、「居住地からの通勤に便利だから」と「生活に便利だから」を回答しているものが、他の項目と比べて多いことが分かる。

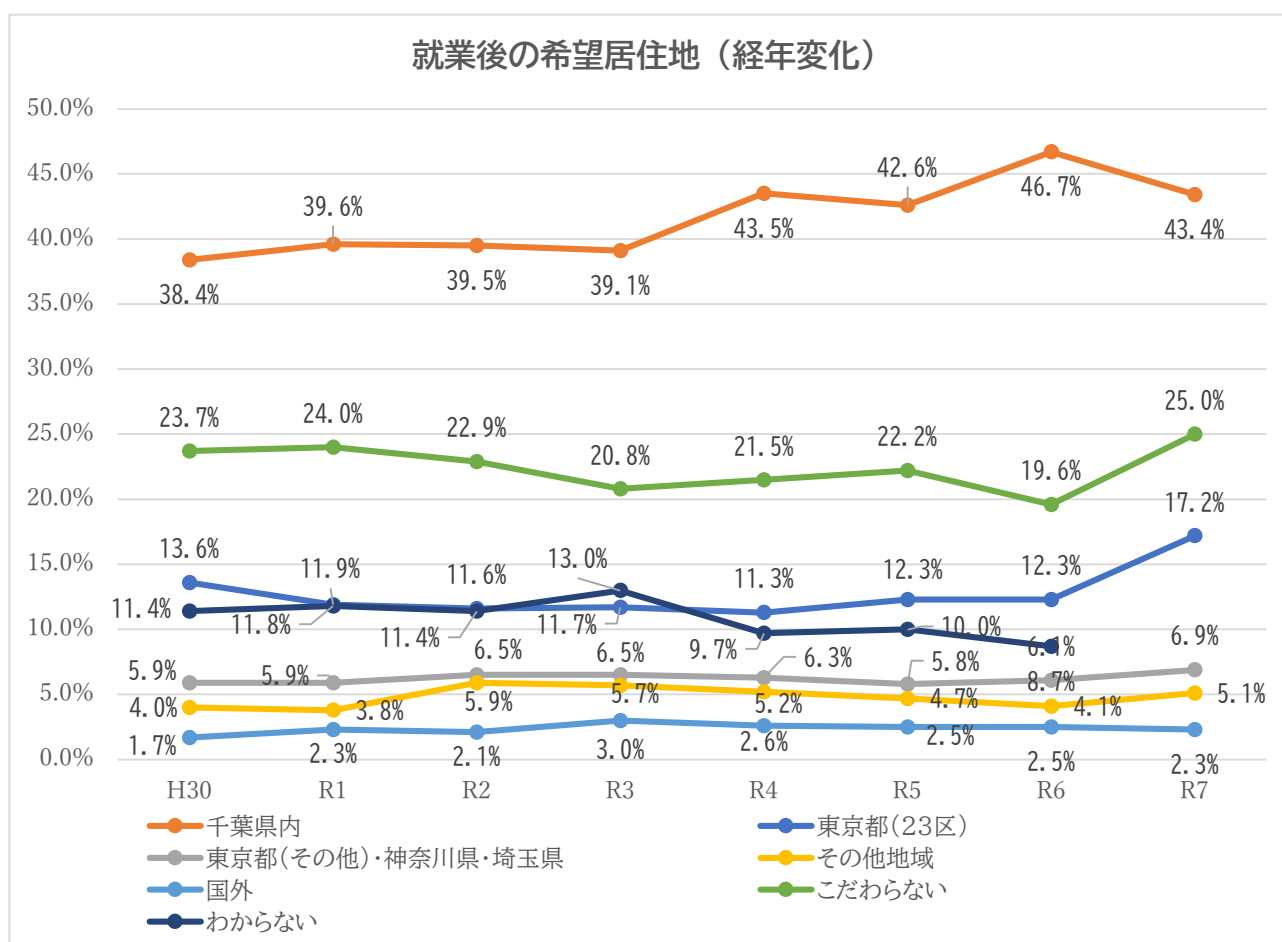
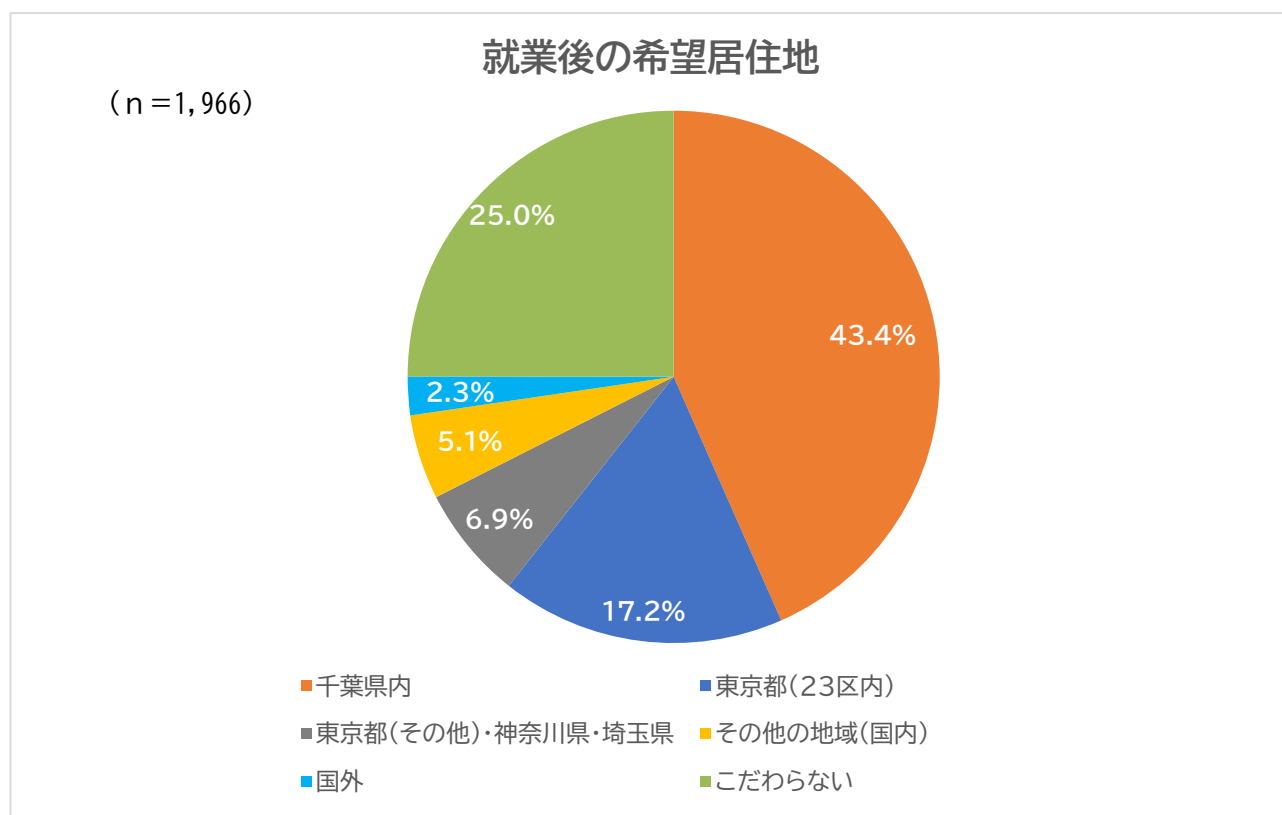
また、県内・県外の勤務地を希望する人も「居住地からの通勤に便利だから」、「生活に便利だから」を多く挙げている。ただし、「志望する企業があるから」等については、県外の勤務地を志望する人では回答が多いが、県内の勤務地を志望する人は、回答が少ないことが分かる。



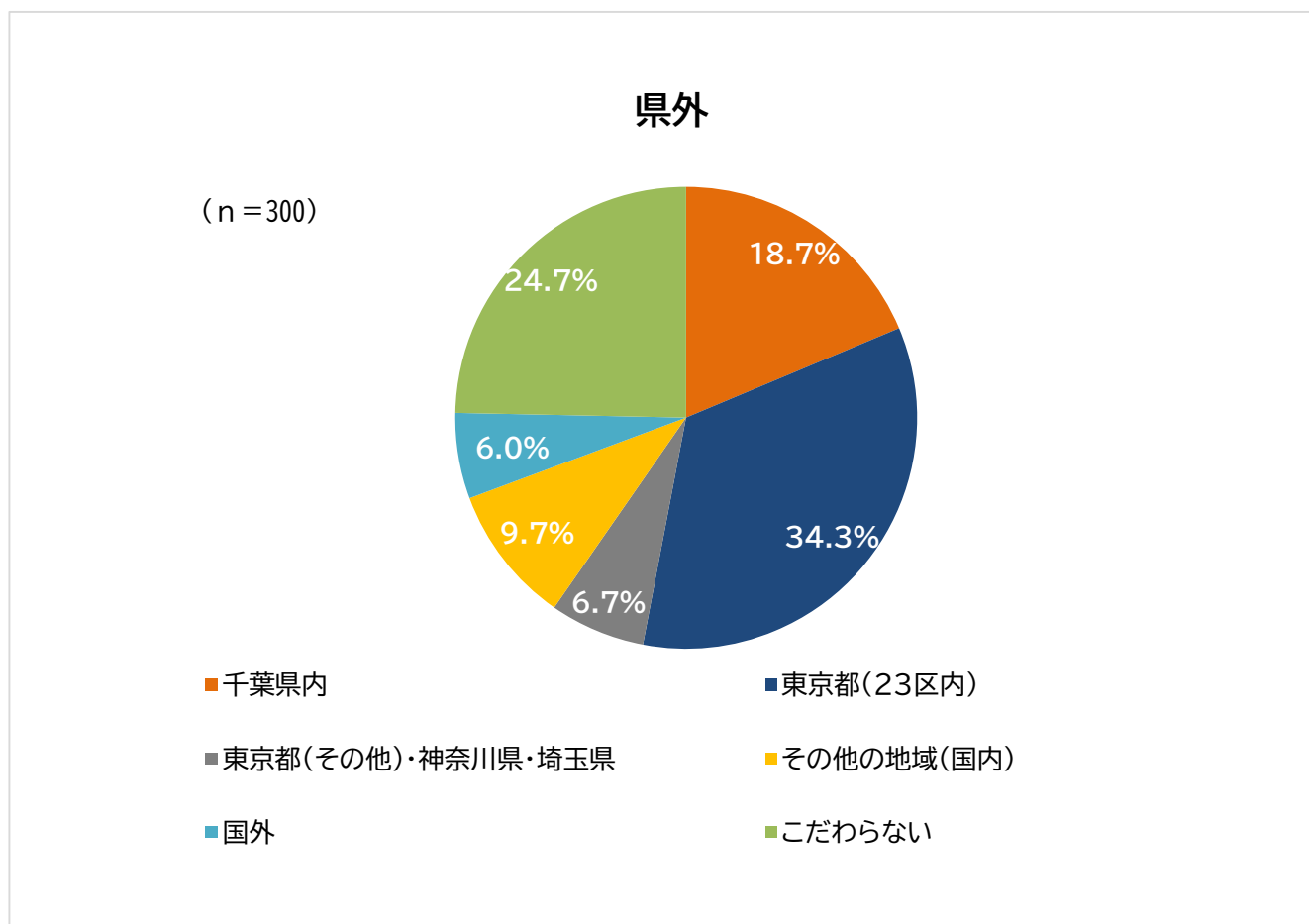
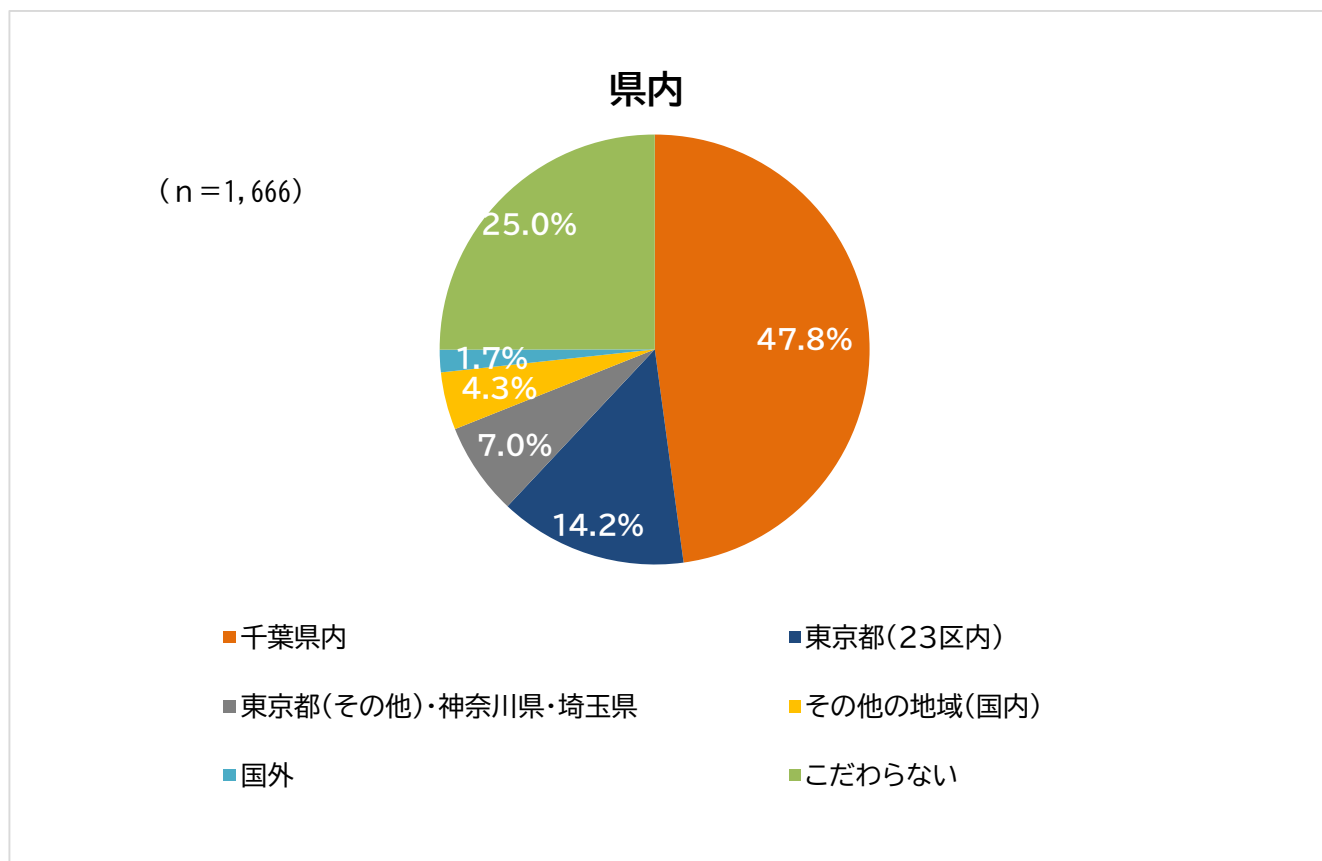
4. 将来の居住地の希望について

(1) 就業後の居住地の希望

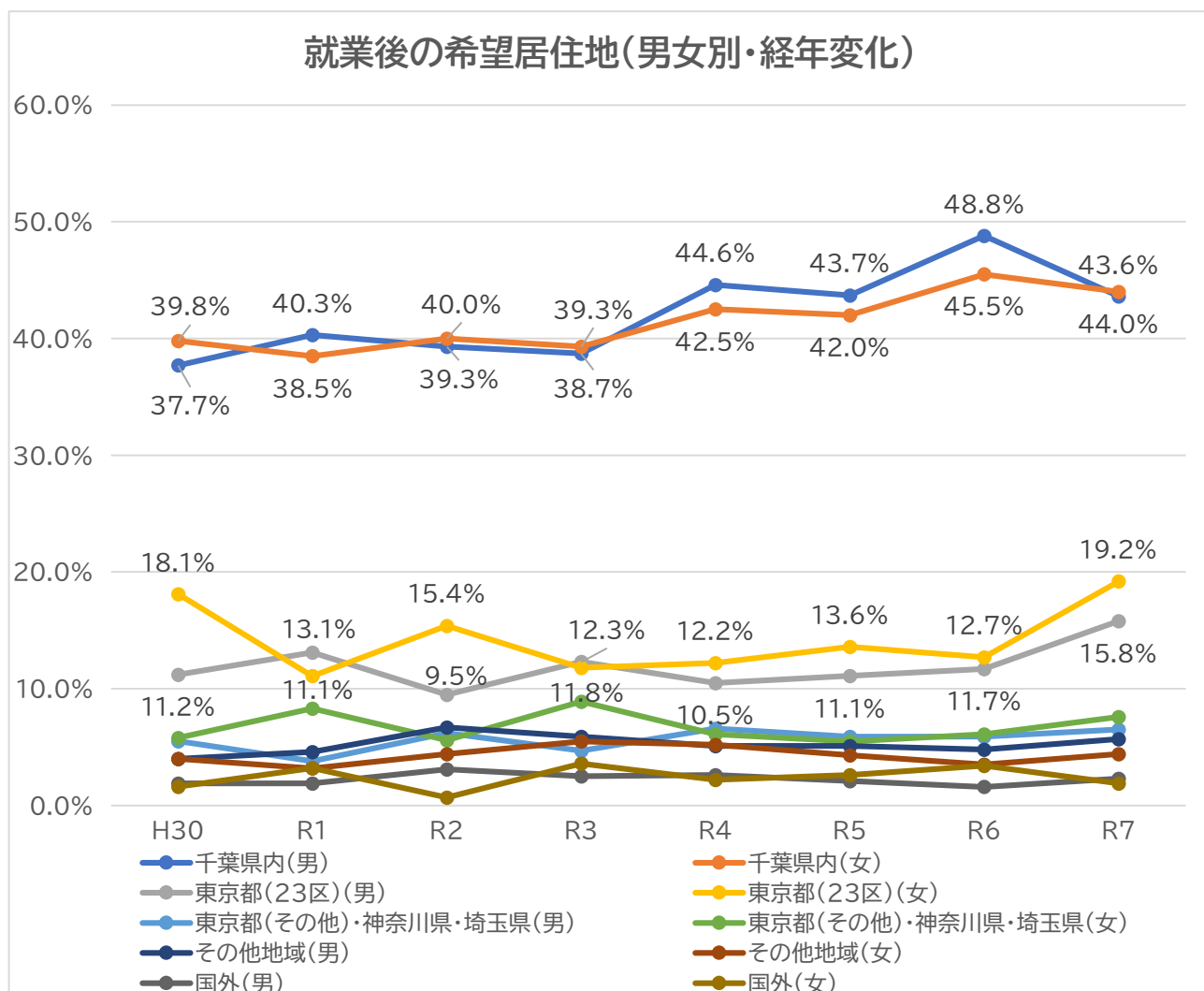
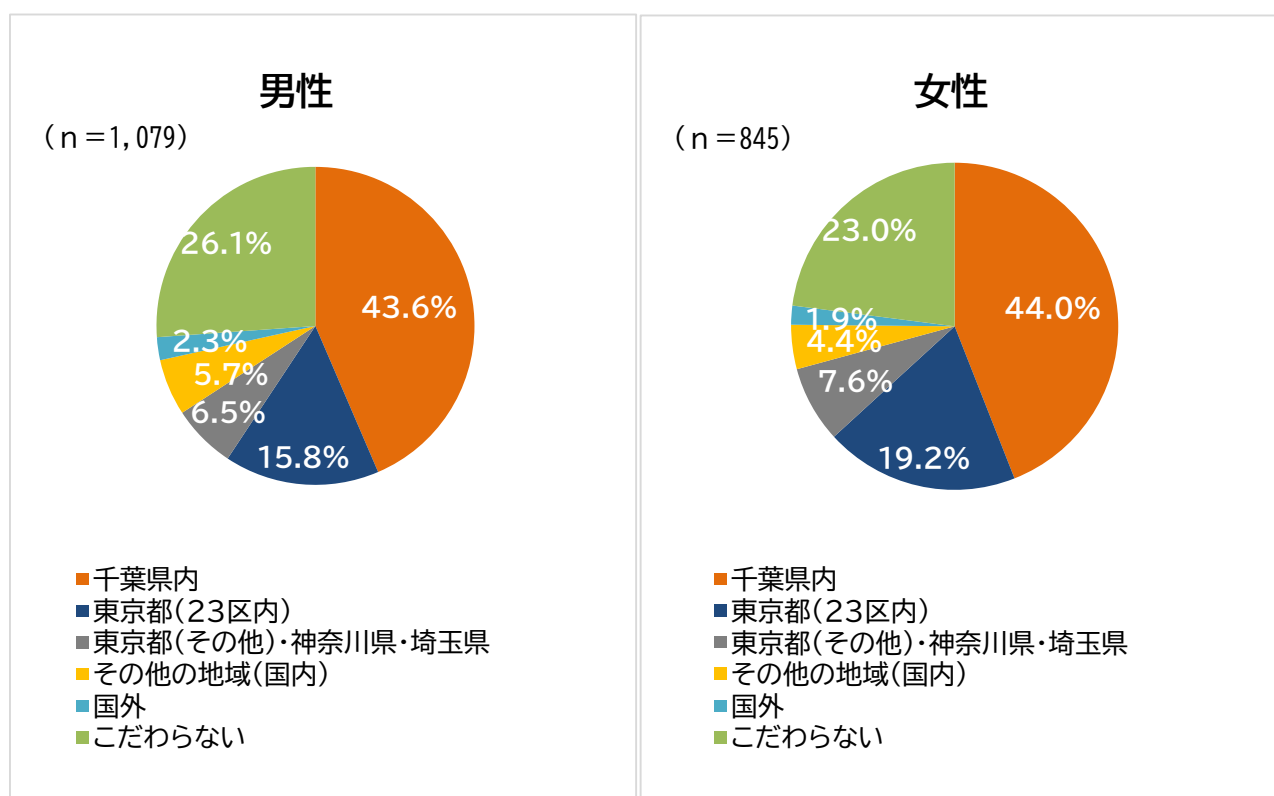
高校生の就業後の居住地については、例年同様「千葉県内」が最も多いが、昨年度と比べ減少し、43.4%となっている。

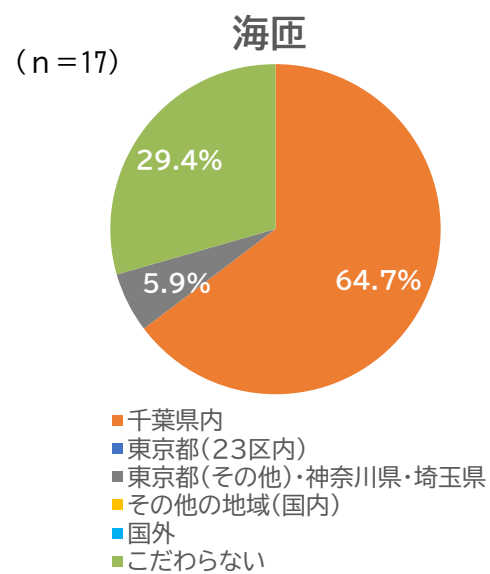
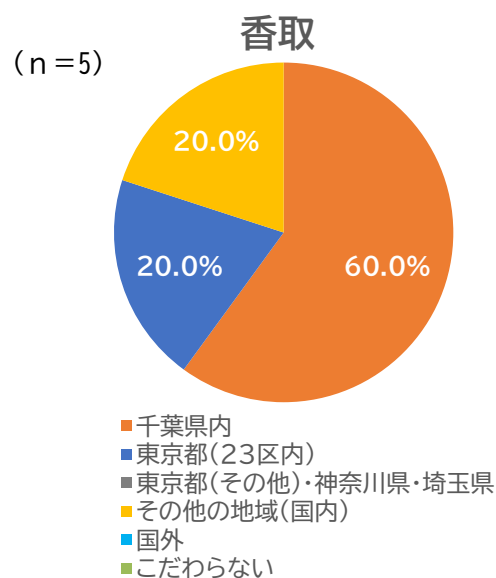
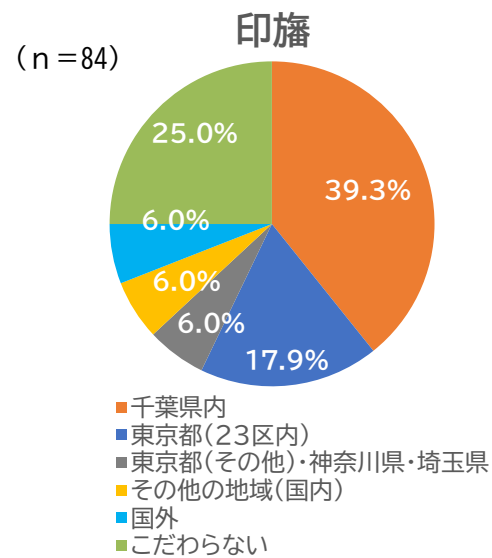
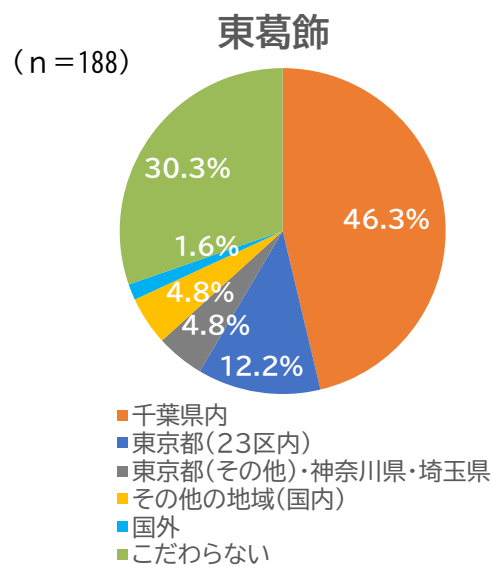
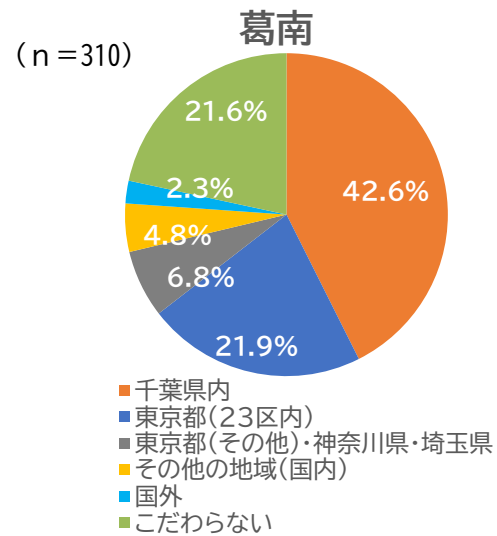
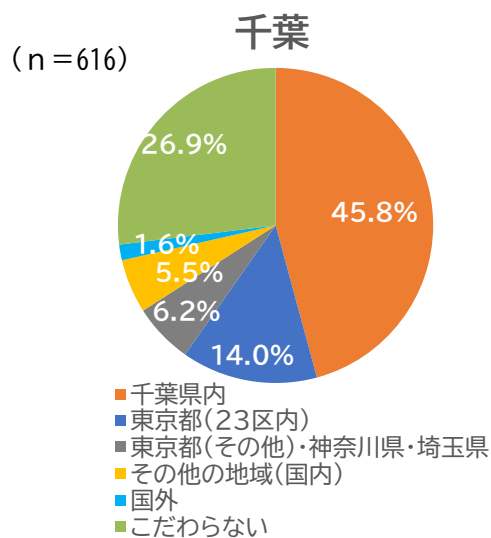


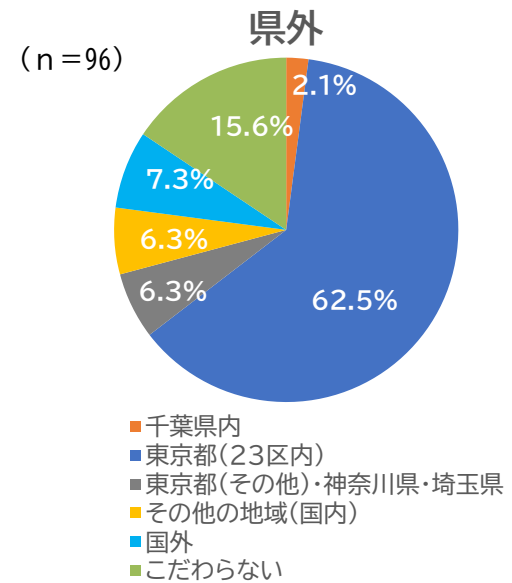
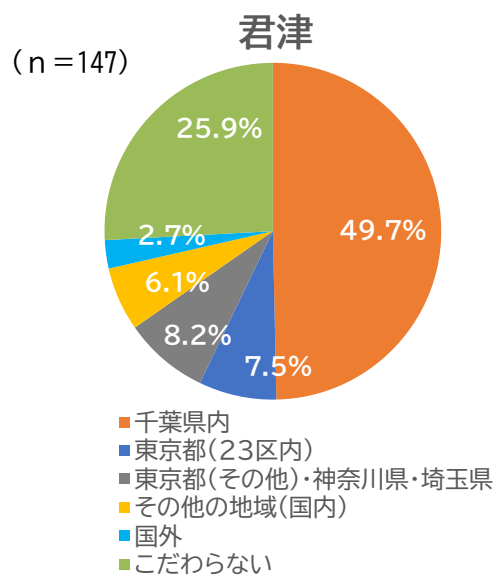
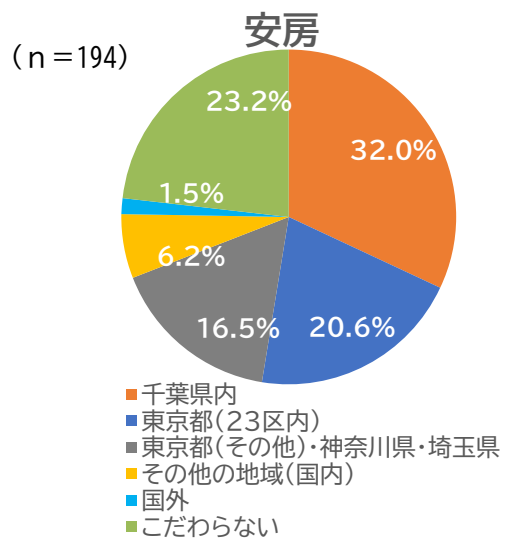
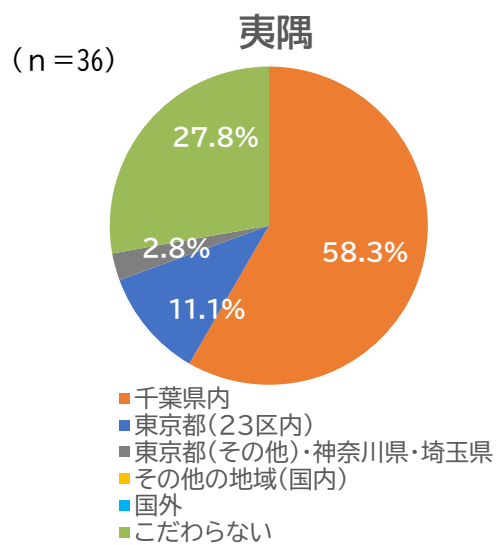
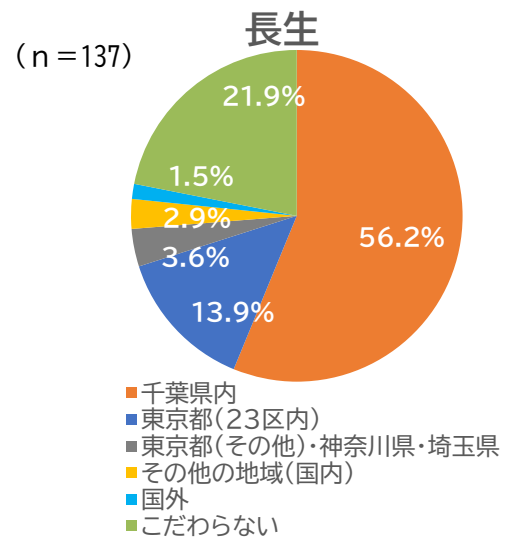
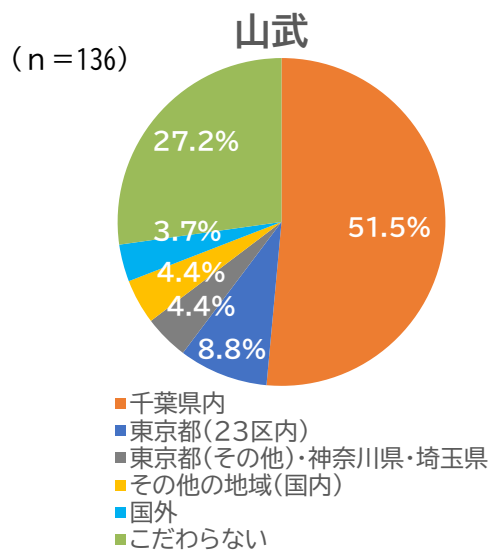
出身地別に見ると、県内出身者は、ほぼ半分以上が千葉県内に住みたいと答えたのに対して、県外出身者は、千葉県内が18.7%と少ない。



男女別に見ても、傾向はほぼ変わらない。経年変化を見ると、男女とも、昨年度より「東京都（23区内）」の居住を希望する傾向にある。

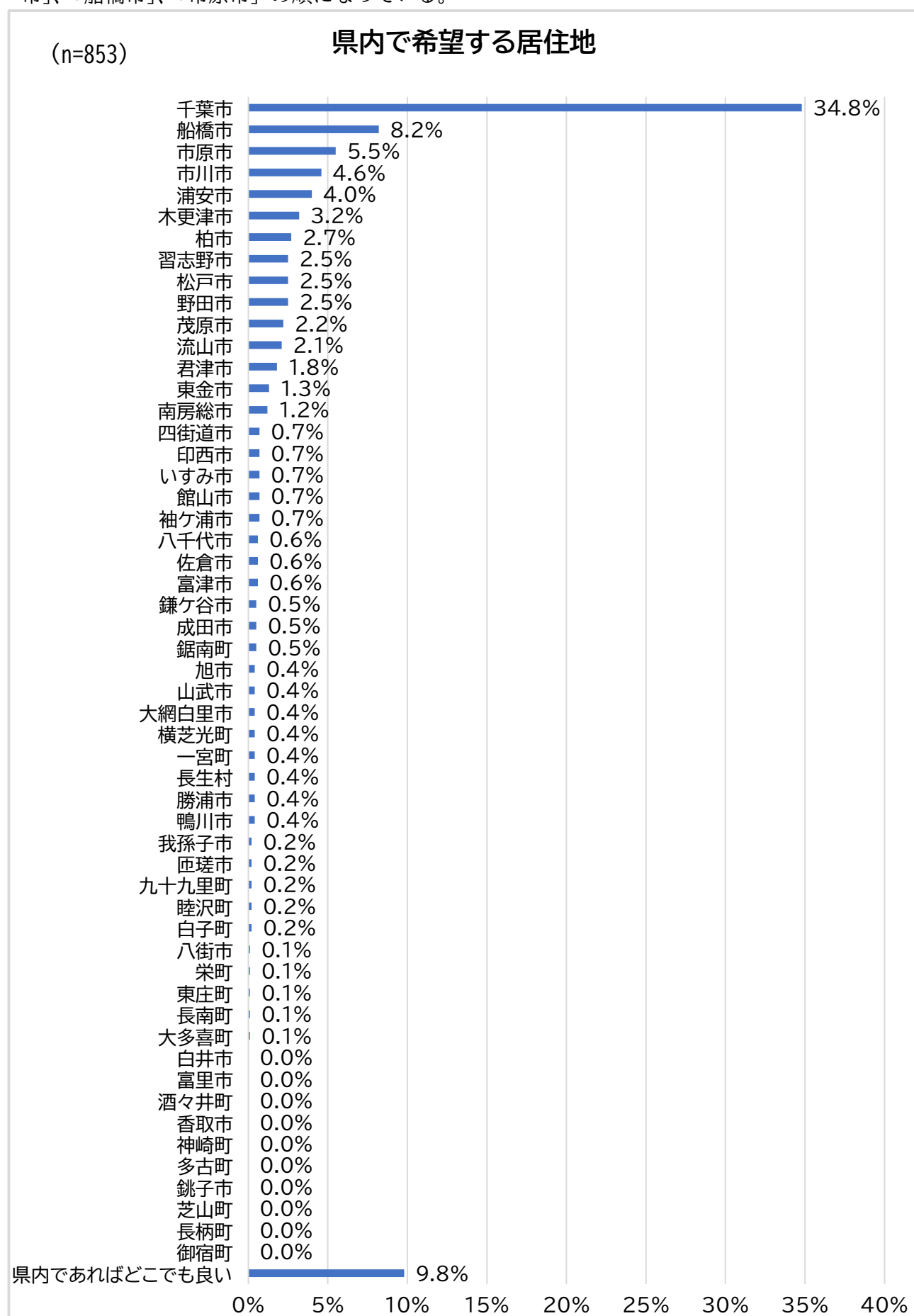






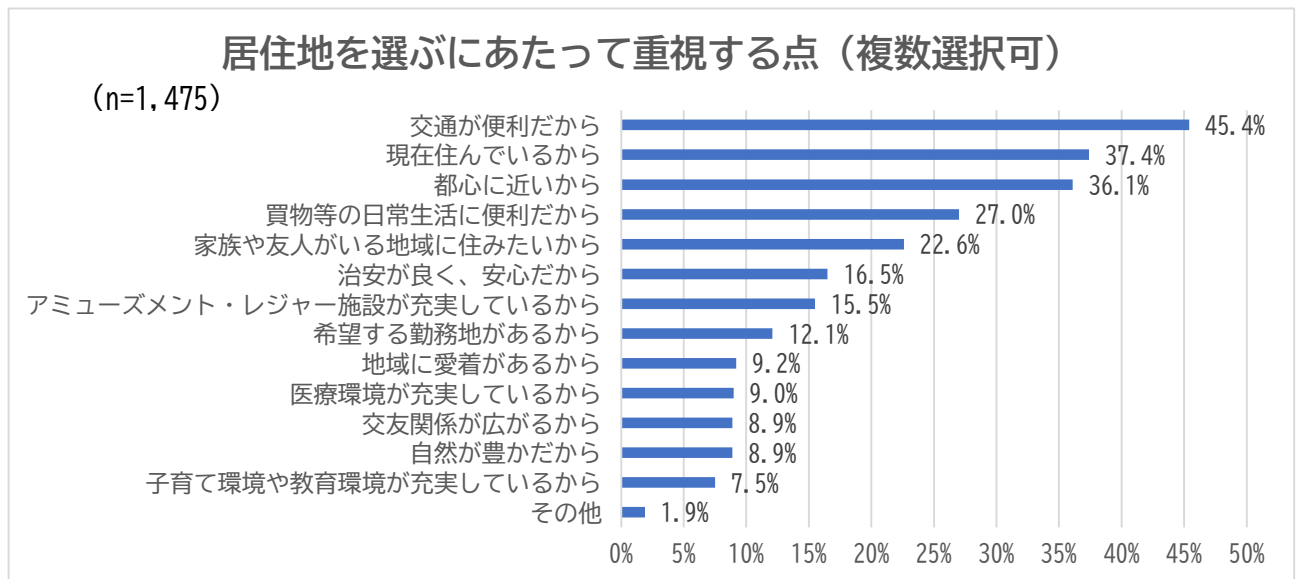
(2) 県内で希望する居住地

就職後の居住地で「千葉県に住みたい」と回答した方について、居住を希望する市町村は「千葉市」、「船橋市」、「市原市」の順になっている。



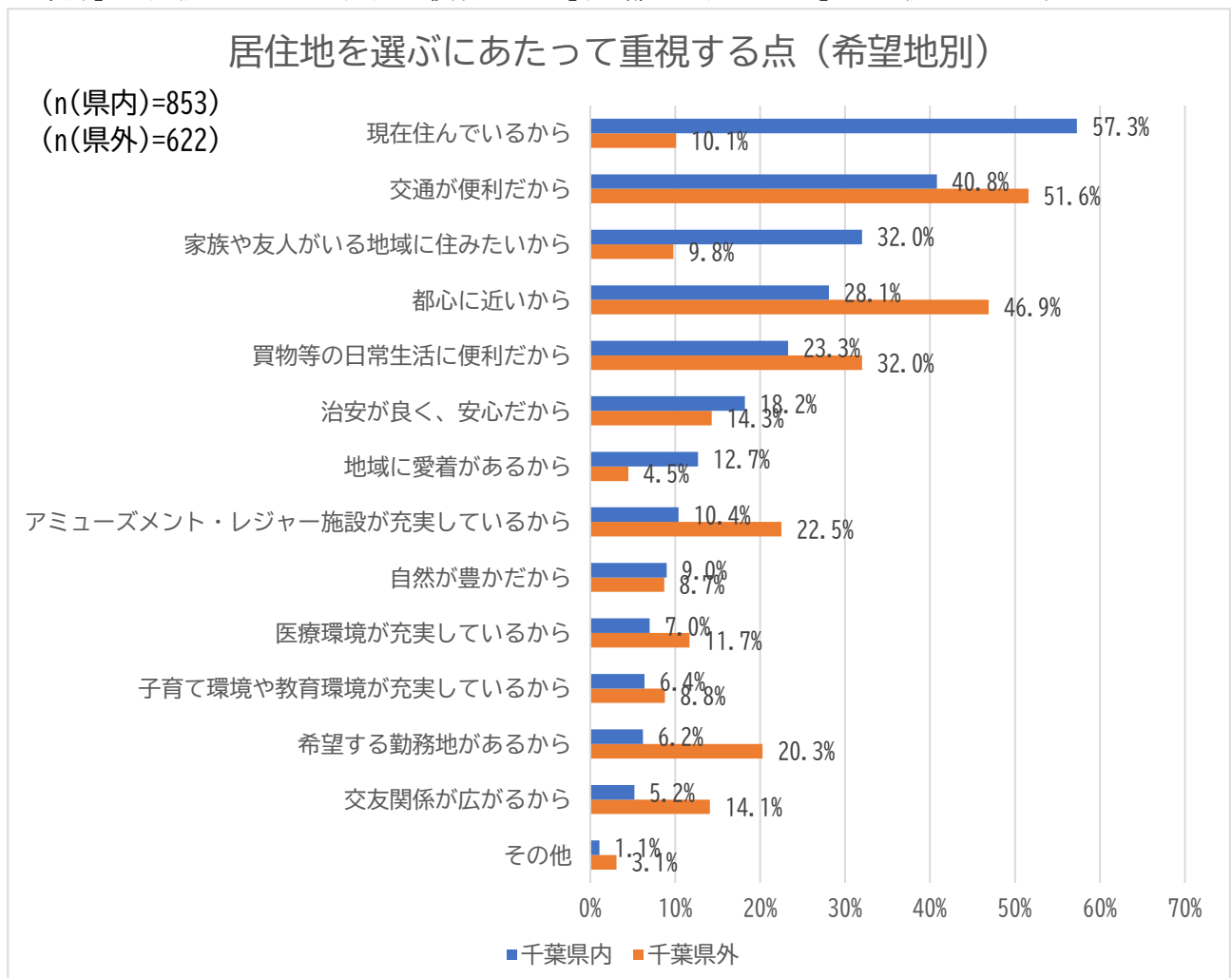
(3) 居住地を選ぶにあたって重視する点

居住地を選ぶにあたって重視する点として最も多く回答があったのは「交通が便利だから」であった。次に「現在住んでいるから」、「都心に近いから」が続いている。



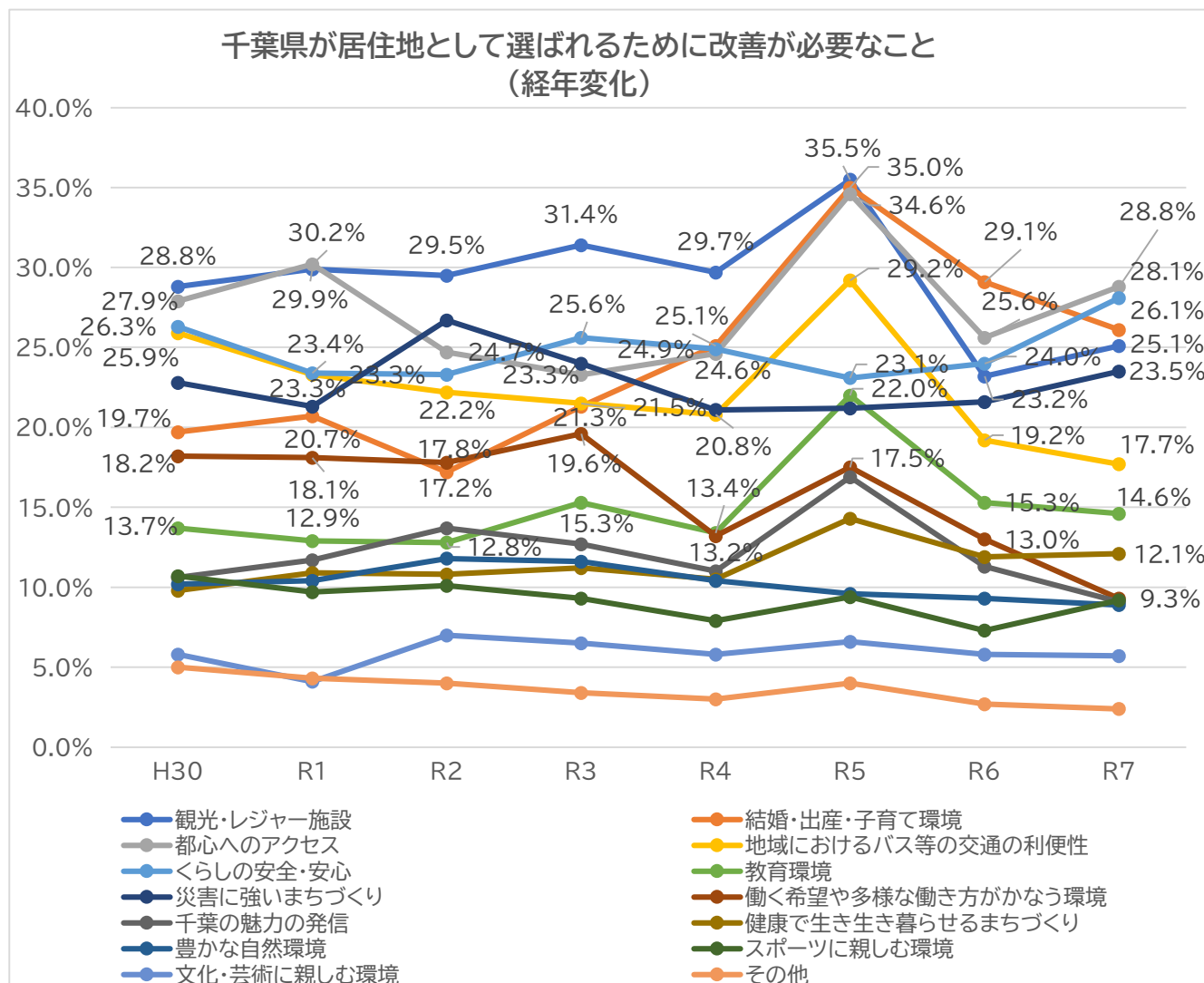
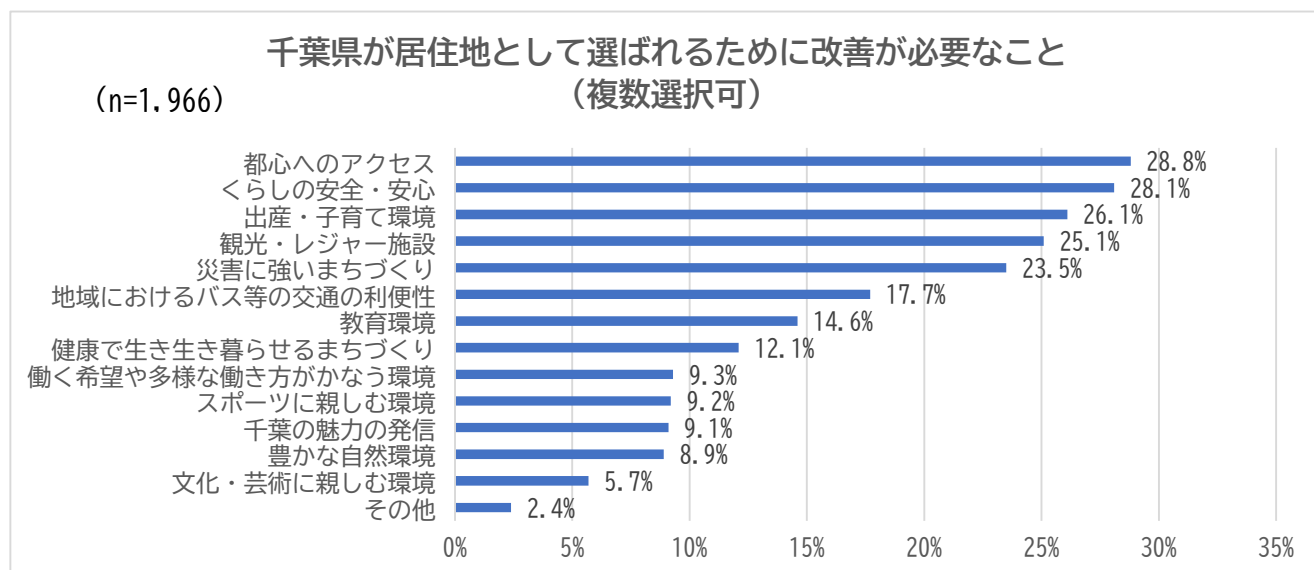
高校生が居住地として選択した「県内」「県外」別に見ると、「県内」を選択した人は「現在住んでいるから」、「交通が便利だから」の理由を重視している。

「県外」を選択した人は「交通が便利だから」、「都心に近いから」を重視している。

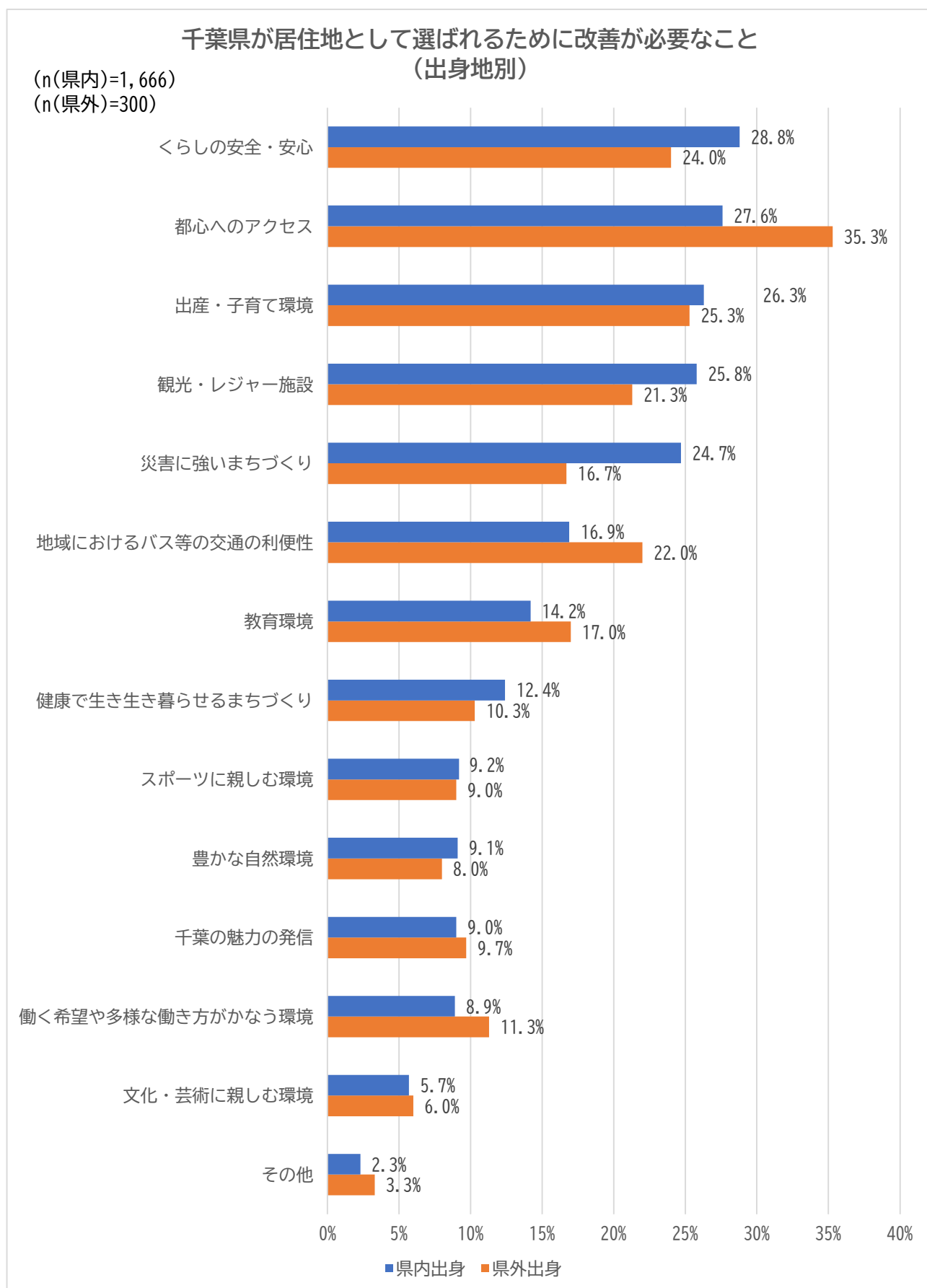


(4) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なことは、昨年度２番目に多かった「都心へのアクセス」が最も回答の割合が多い。次いで、「くらしの安全・安心」が多くなっている。

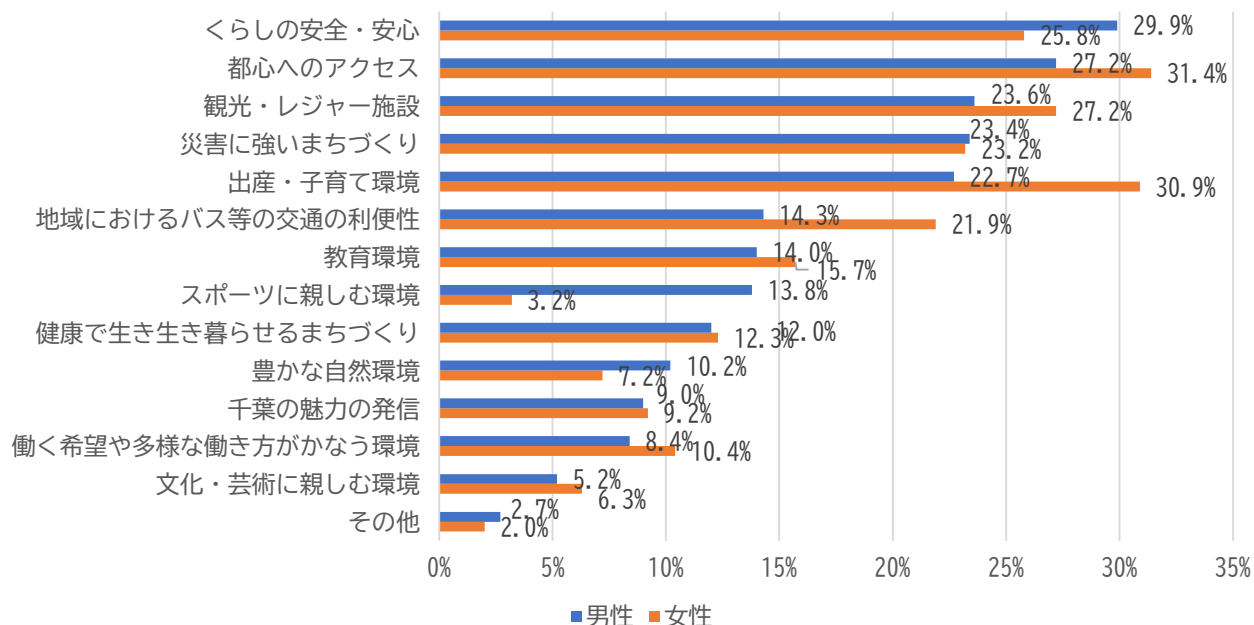


出身地別に見ると、県内出身者、県外出身者共通して、「くらしの安全・安心」「出産・子育て環境」を選んでいる割合が多い。県外出身者の回答傾向を見ると、県内出身者と比べて「都心へのアクセス」を選んでいる割合が多い。

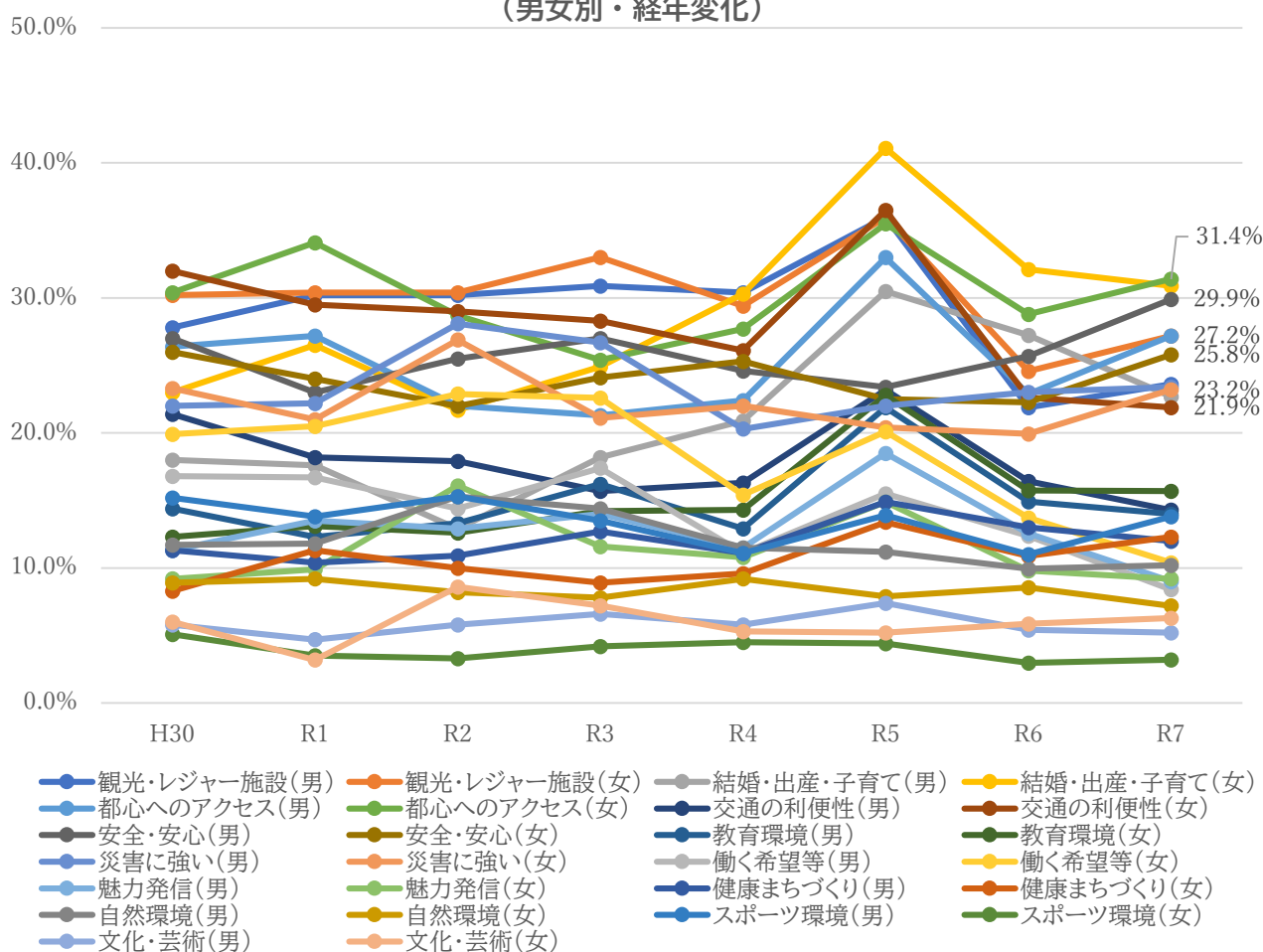


男女別で見ると、女性では「出産・子育て環境」や「地域におけるバス等の交通の利便性」の割合が大きい。ただし、経年変化で見ると、「出産・子育て環境」を選択する女性の割合が前年よりやや減少している。

(n(男性)=1,079) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと
(n(女性)=845) (男女別)

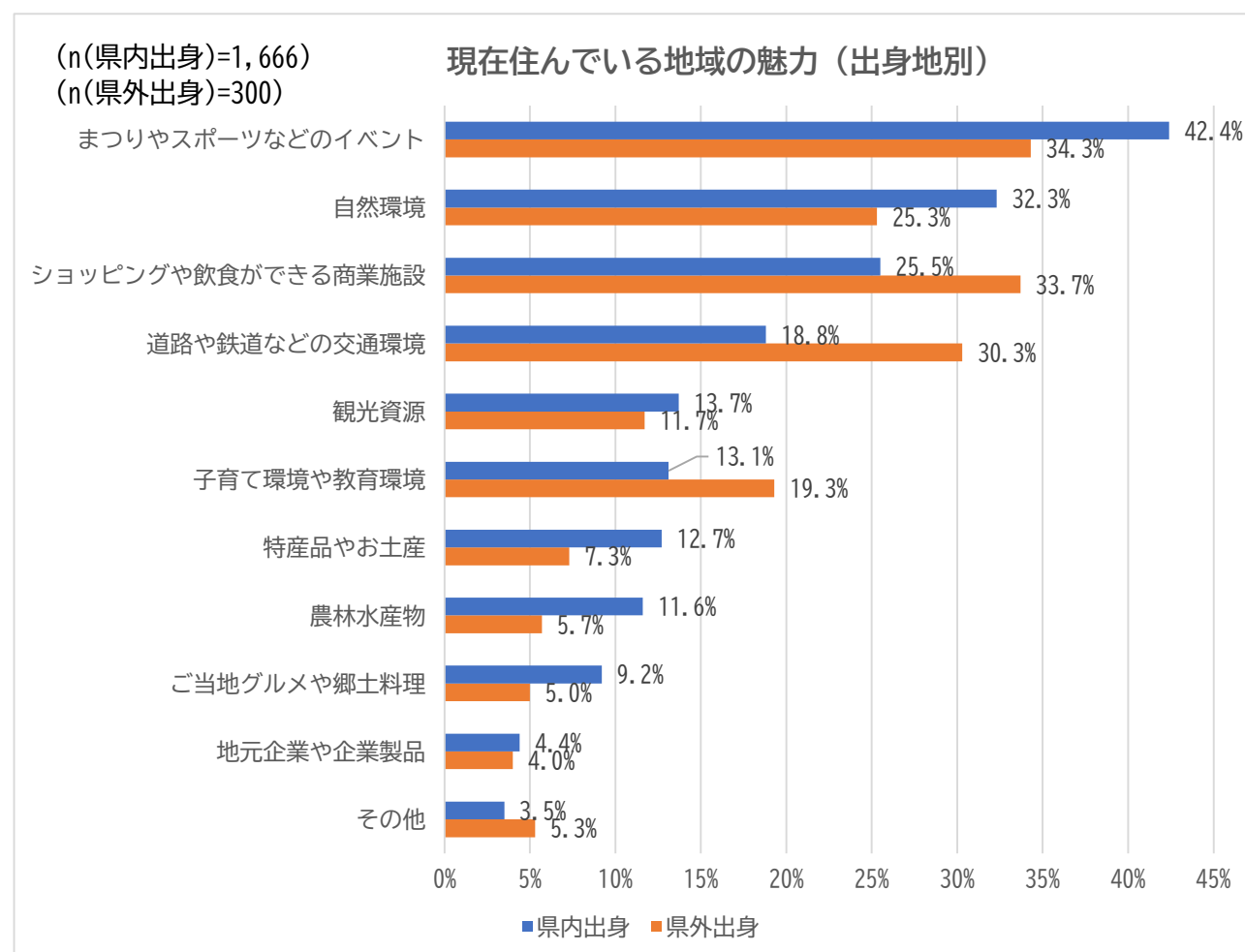
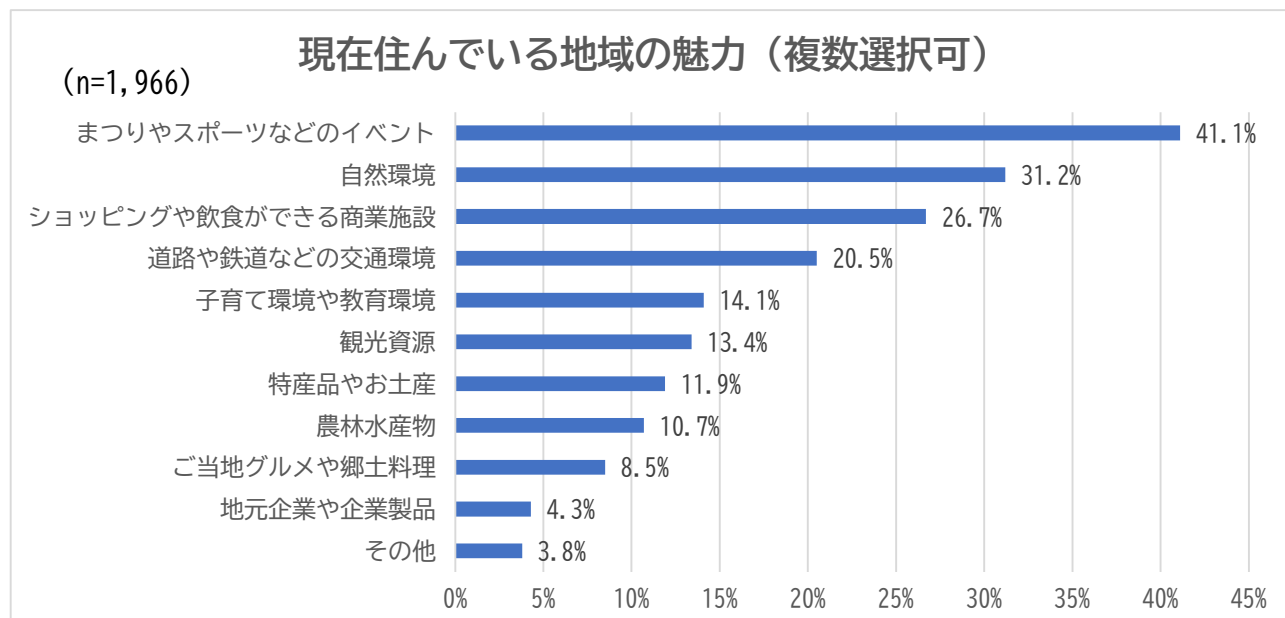


千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと
(男女別・経年変化)

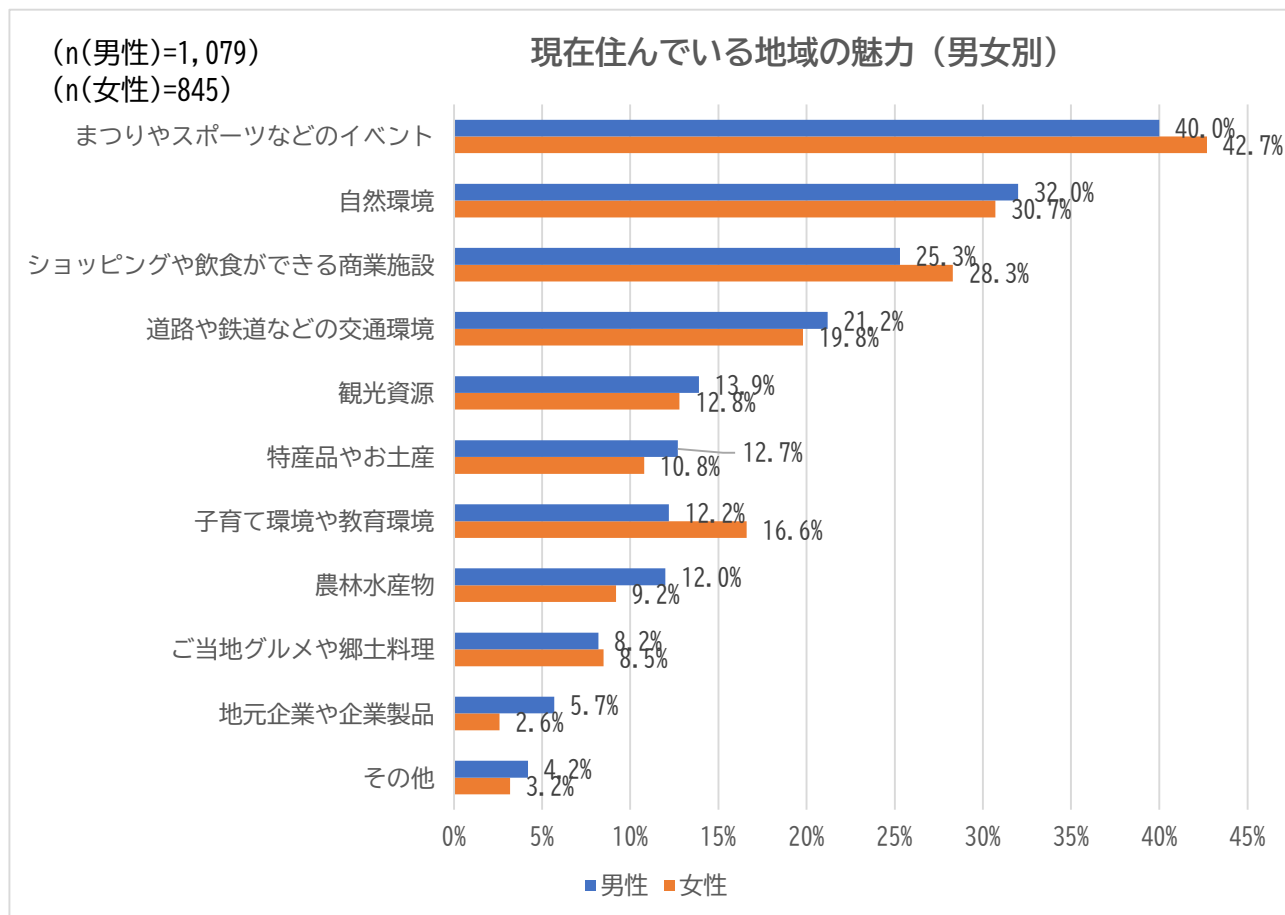


5. 現在住んでいる地域の魅力について

現在住んでいる地域の魅力については、「まつりやスポーツなどのイベント」の回答が最も多い。出身地別に見ると、県内・県外出身者ともに「まつりやスポーツなどのイベント」の割合が大きく、県外出身者は「ショッピングや飲食ができる商業施設」や「道路や鉄道などの交通環境」の割合が大きい。



男女別で見ると、共通して「まつりやスポーツなどのイベント」を回答しているものの割合が高くなっている。女性では、「子育て環境や教育環境」の割合がやや大きい。

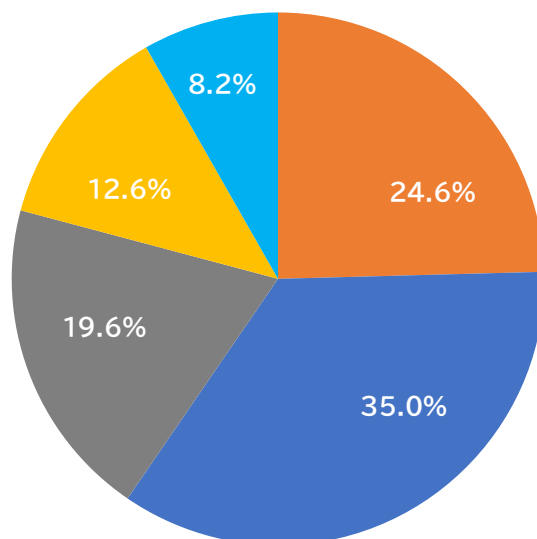


6. 人口減少時代における問題意識について

人口減少時代による影響については、「ややある」と回答した者が35.0%、「ある」と回答した者が24.6%となっており、約6割の高校生が問題意識を持っている。男女別にも、傾向はほぼ変わらない。

人口減少による影響について問題意識はあるか

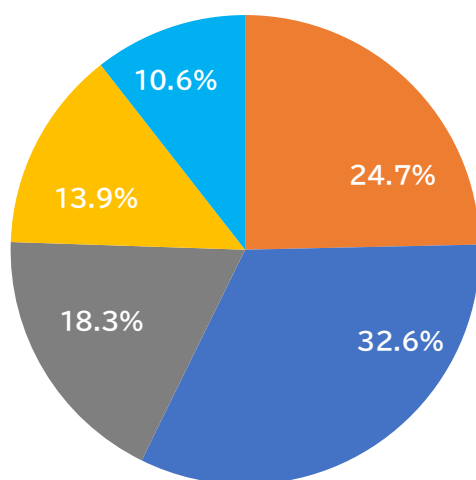
(n=1,966)



■ある ■ややある ■どちらともいえない ■あまりない ■ない

男性

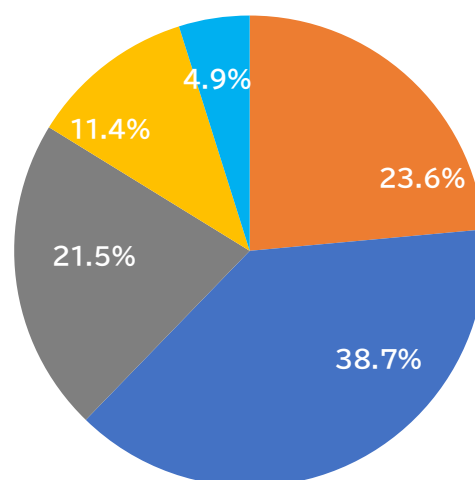
(n=1,079)



■ある ■ややある ■どちらともいえない ■あまりない ■ない

女性

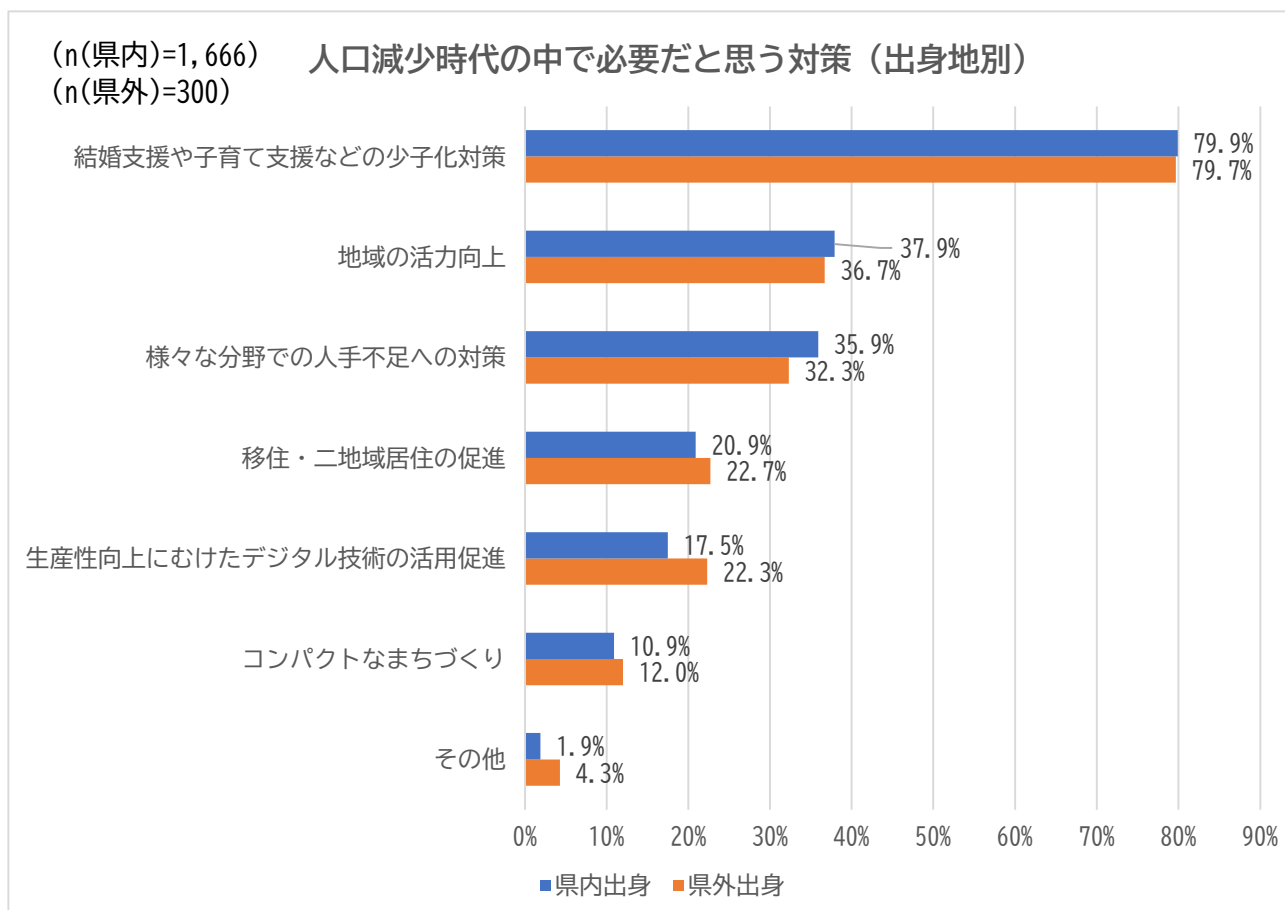
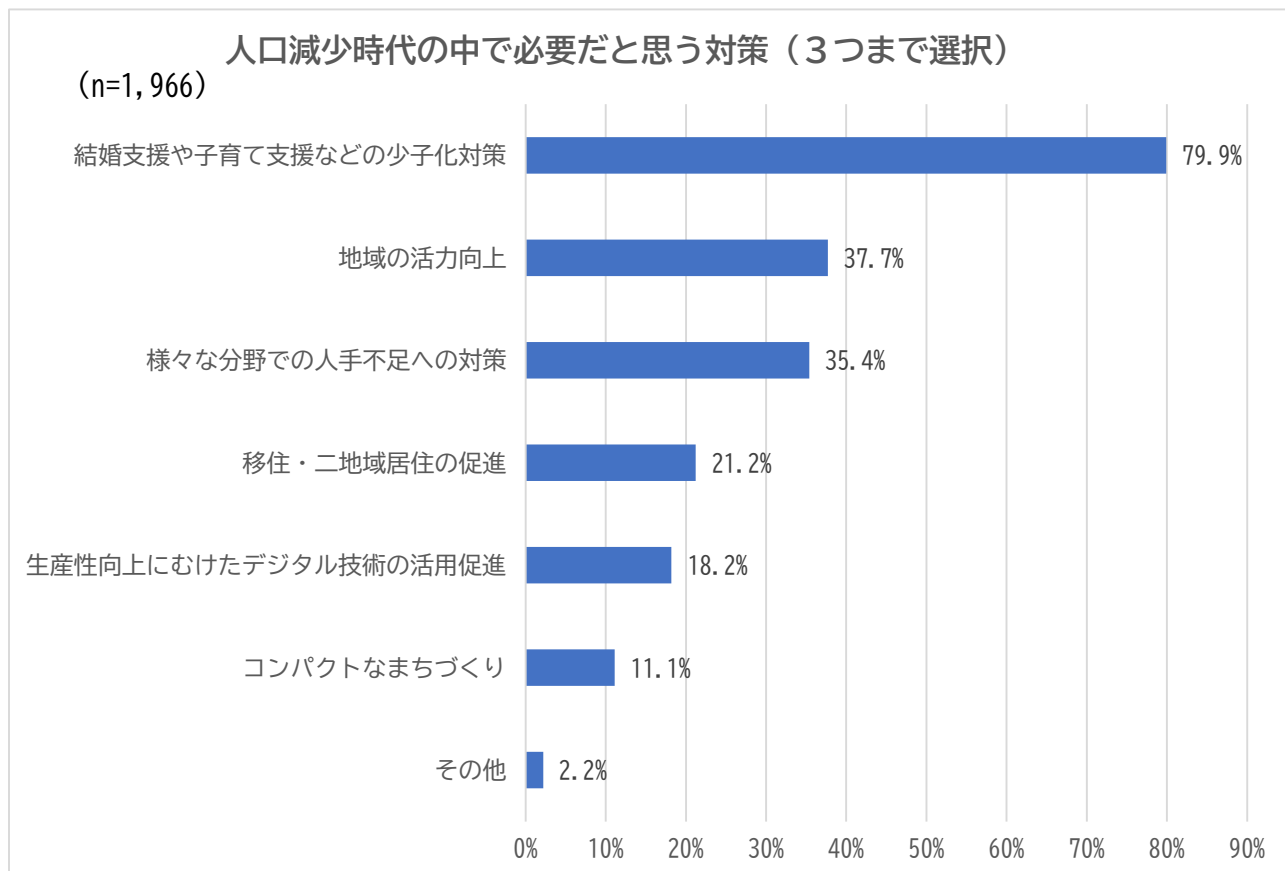
(n=845)



■ある ■ややある ■どちらともいえない ■あまりない ■ない

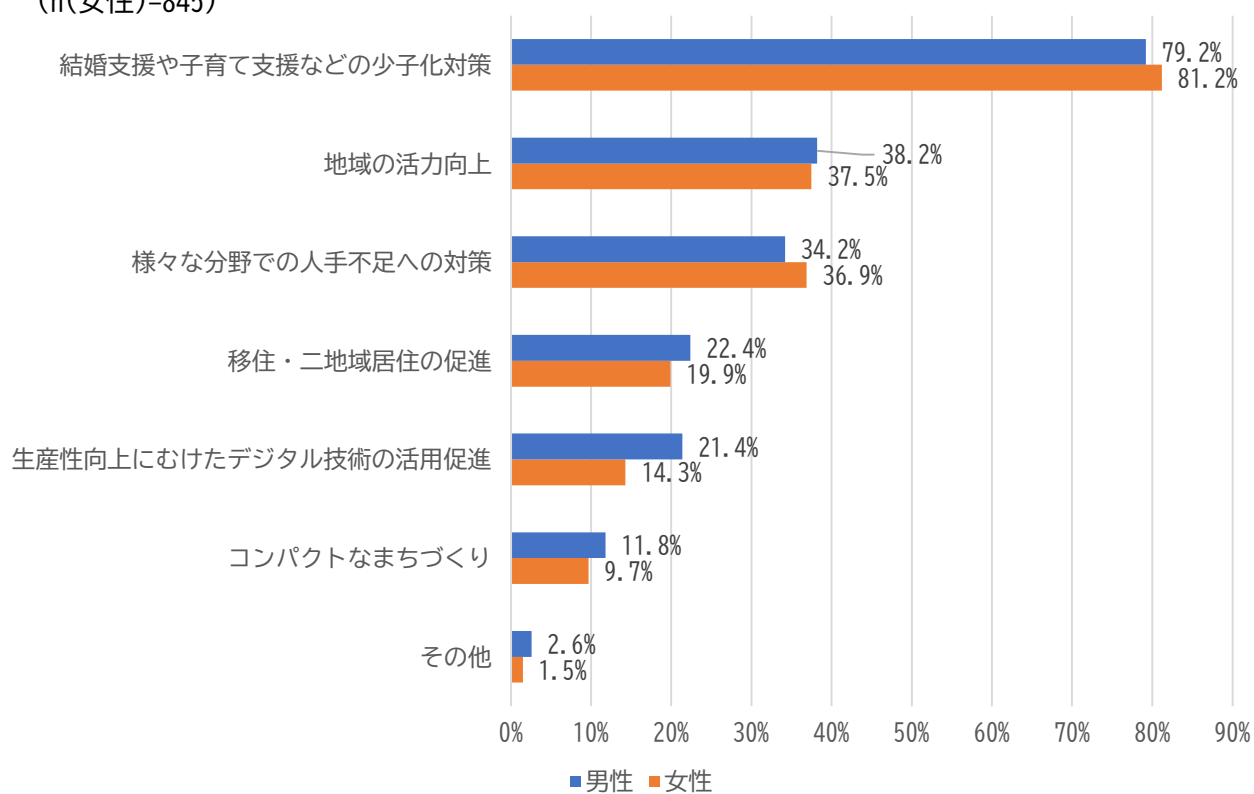
人口減少時代の中で必要だと思う対策については、「結婚支援や子育て支援などの少子化対策」、「地域の活力向上」、「様々な分野での人手不足への対策」、が上位3位を占めている。

なお、出身地別、男女別にみても大きな傾向の変化はない。



(n(男性)=1,079)
(n(女性)=845)

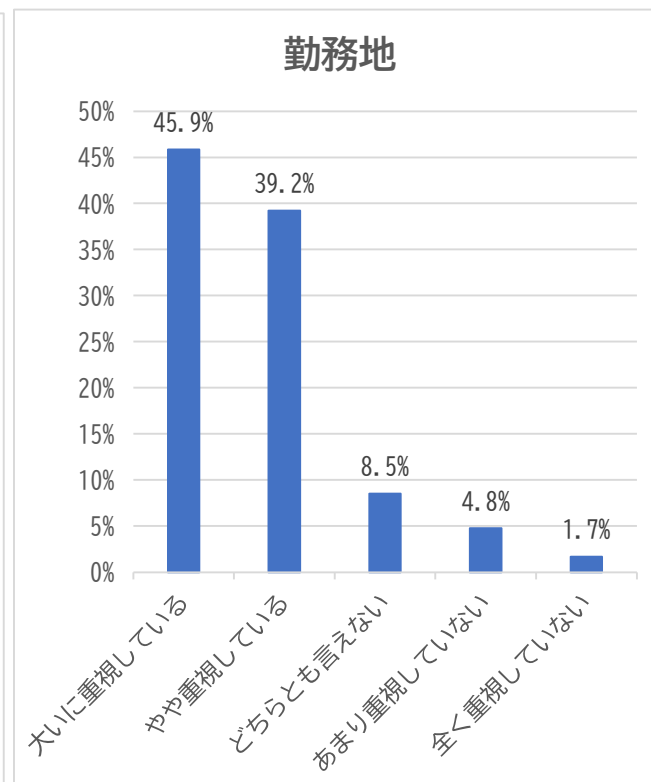
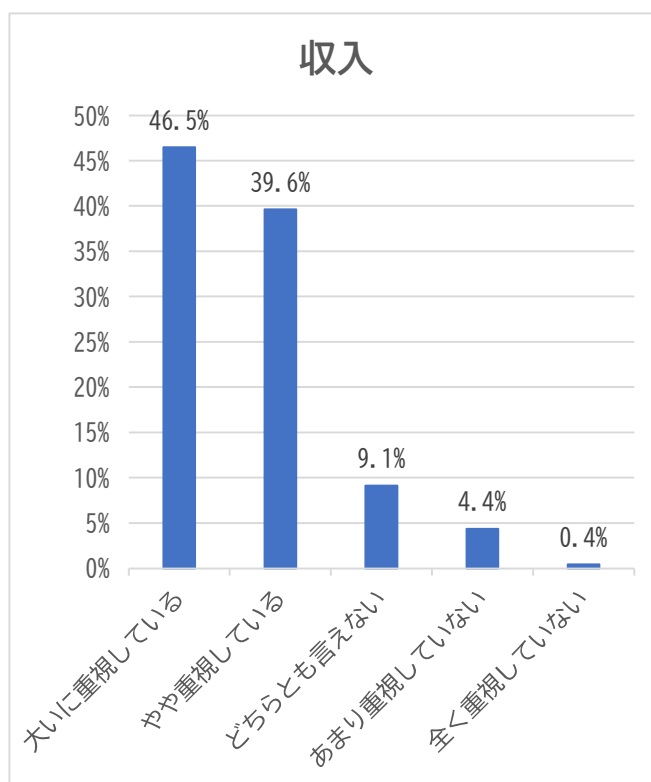
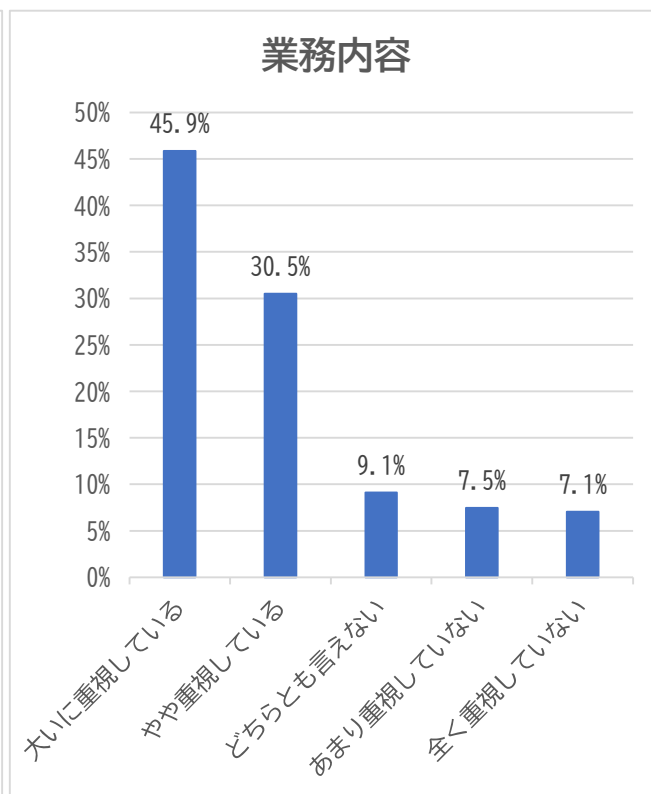
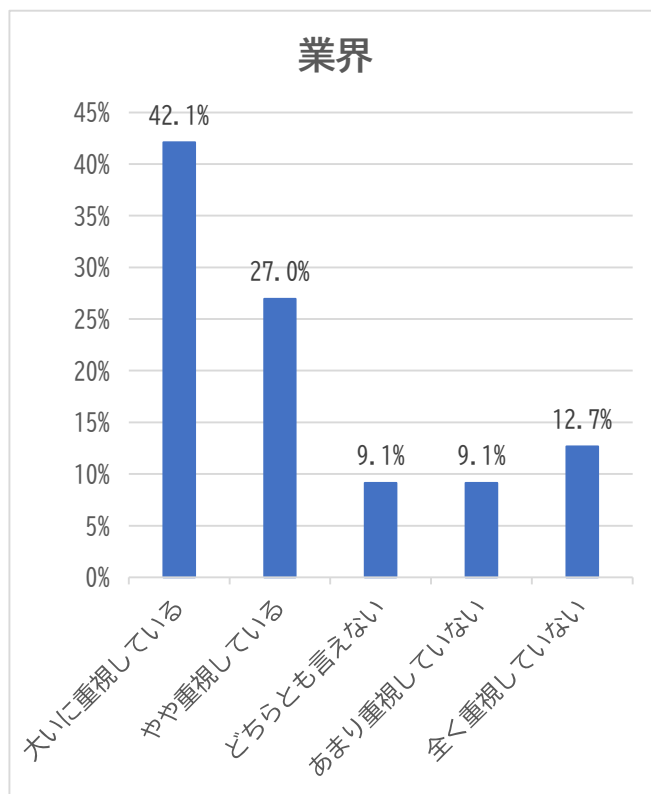
人口減少時代の中で必要だと思う対策（男女別）

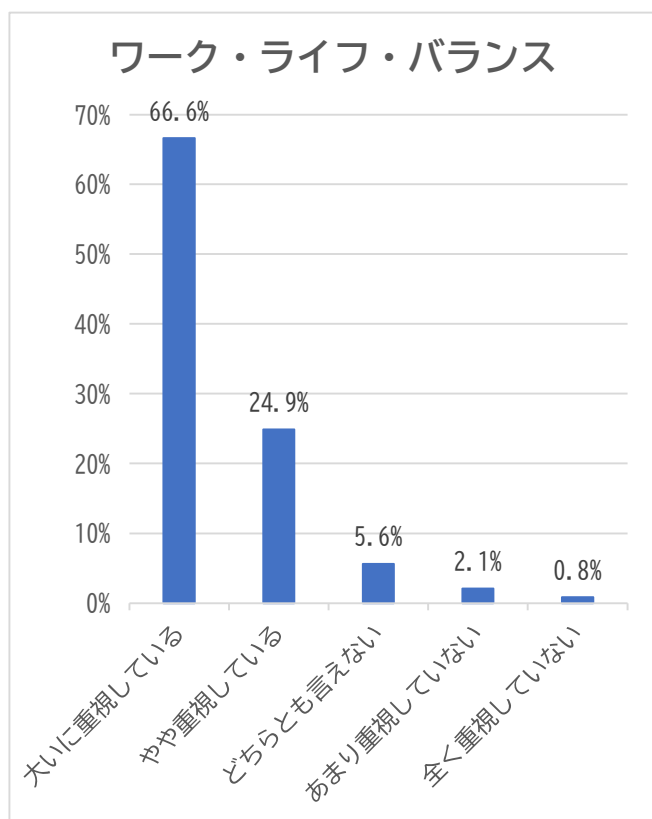


Ⅲ 調査結果（大学生等対象）

1. 将来の就業に際して重視する点

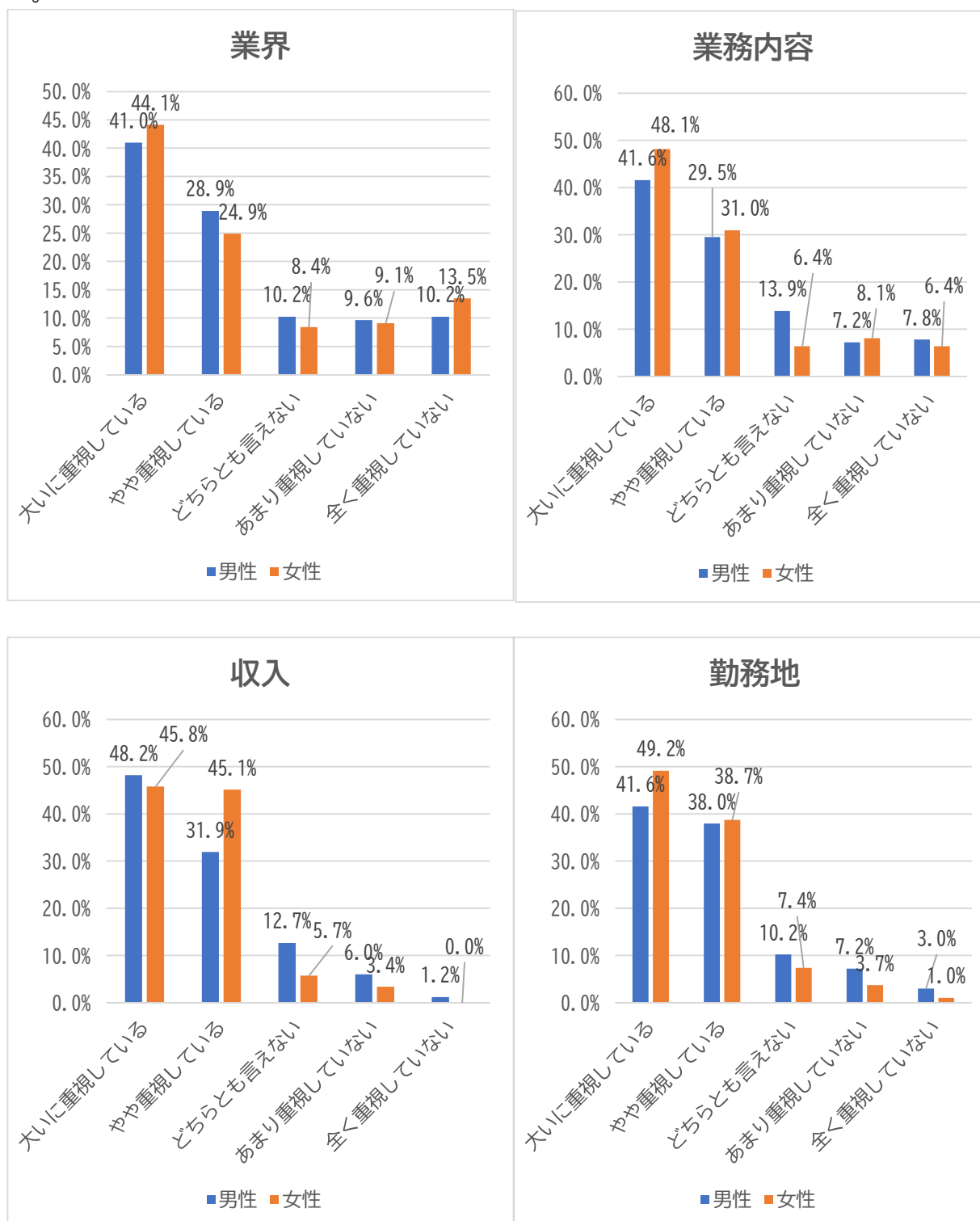
大学生等が就業先を選択するときに重視する点について、ワーク・ライフ・バランスを大いに重視していると答えている学生が多い。



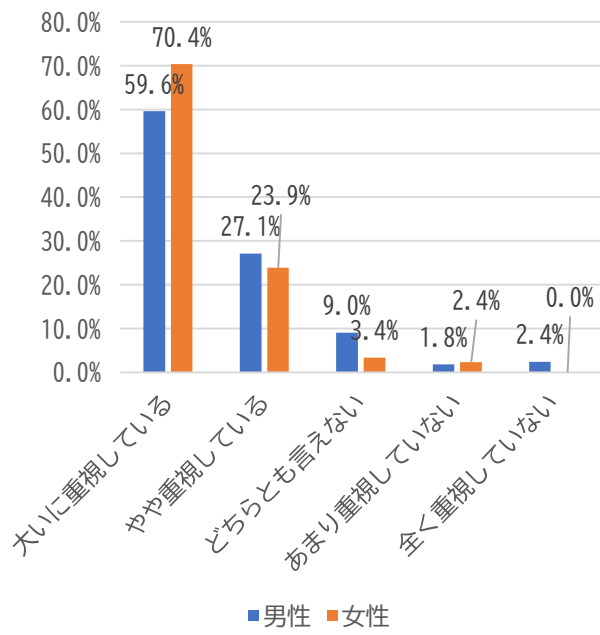


男女別にみると、「勤務地」について、「大いに重視している」と「やや重視している」が男性ではほぼ同数である一方、女性では「大いに重視している」との回答が多く性別で回答内容の特徴が異なる。

なお、ワーク・ライフ・バランスについては、男女共通で「大いに重視している」との回答が多い。



ワーク・ライフ・バランス

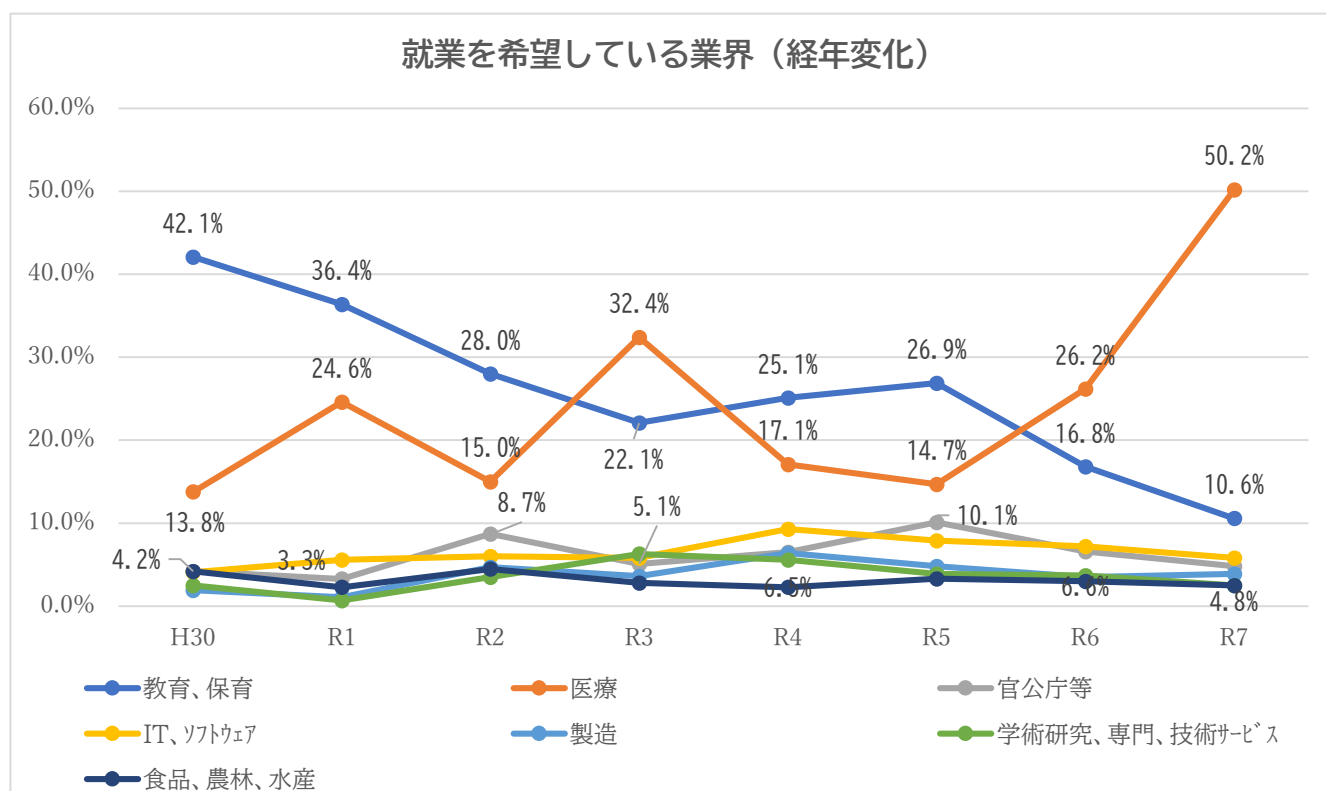
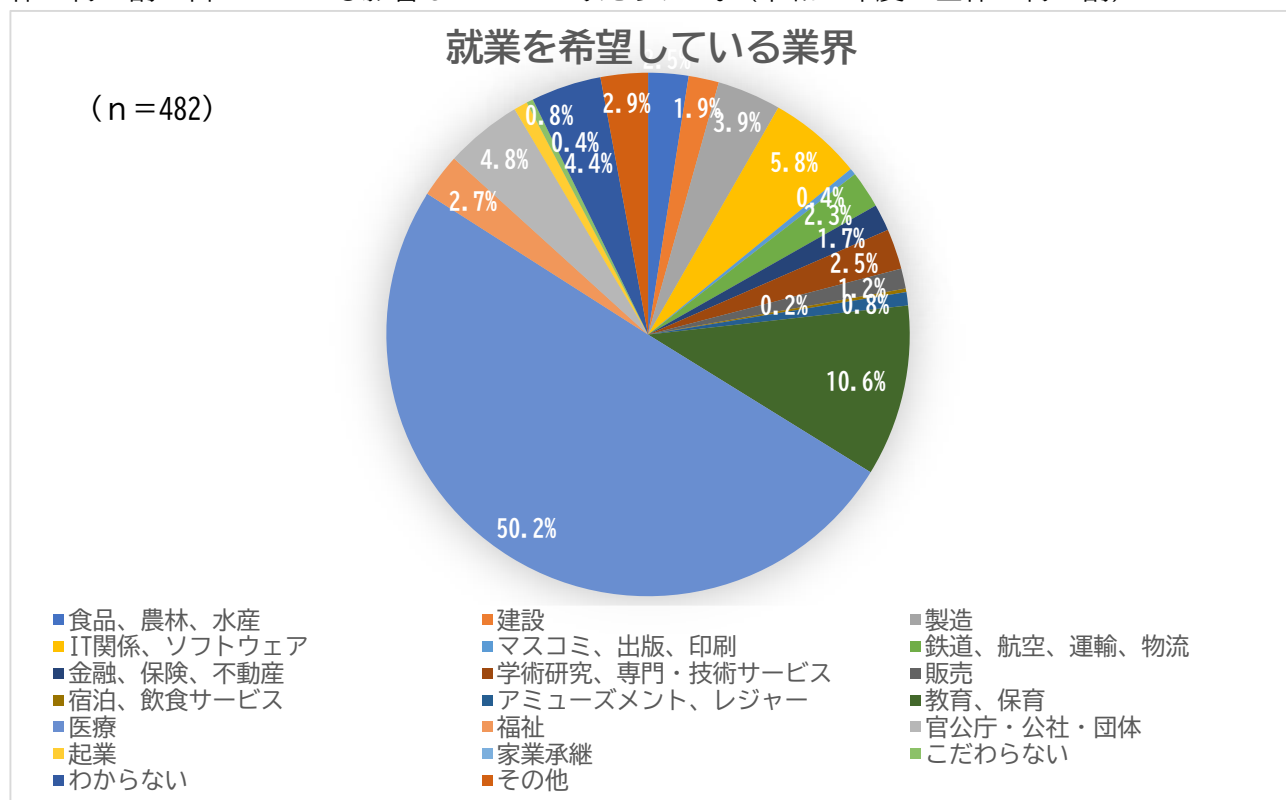


2. 将来の就業に関する希望について

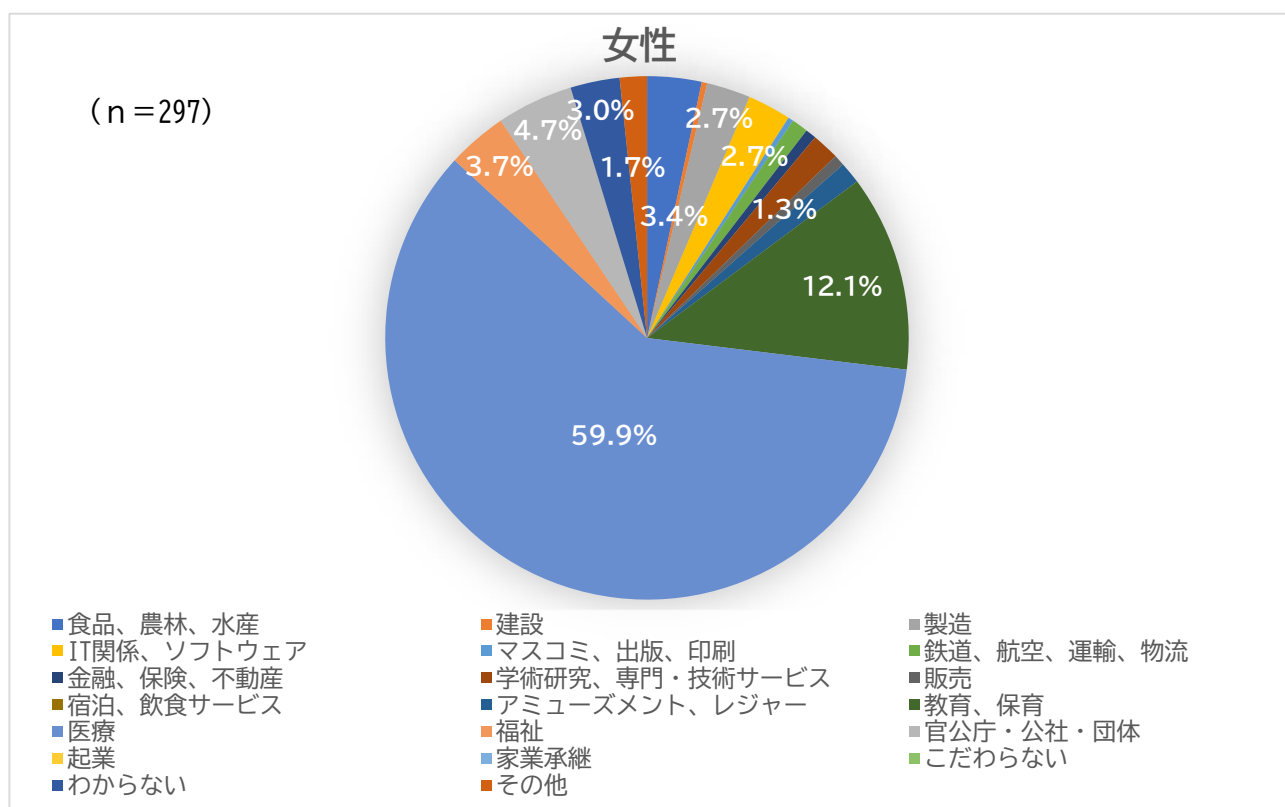
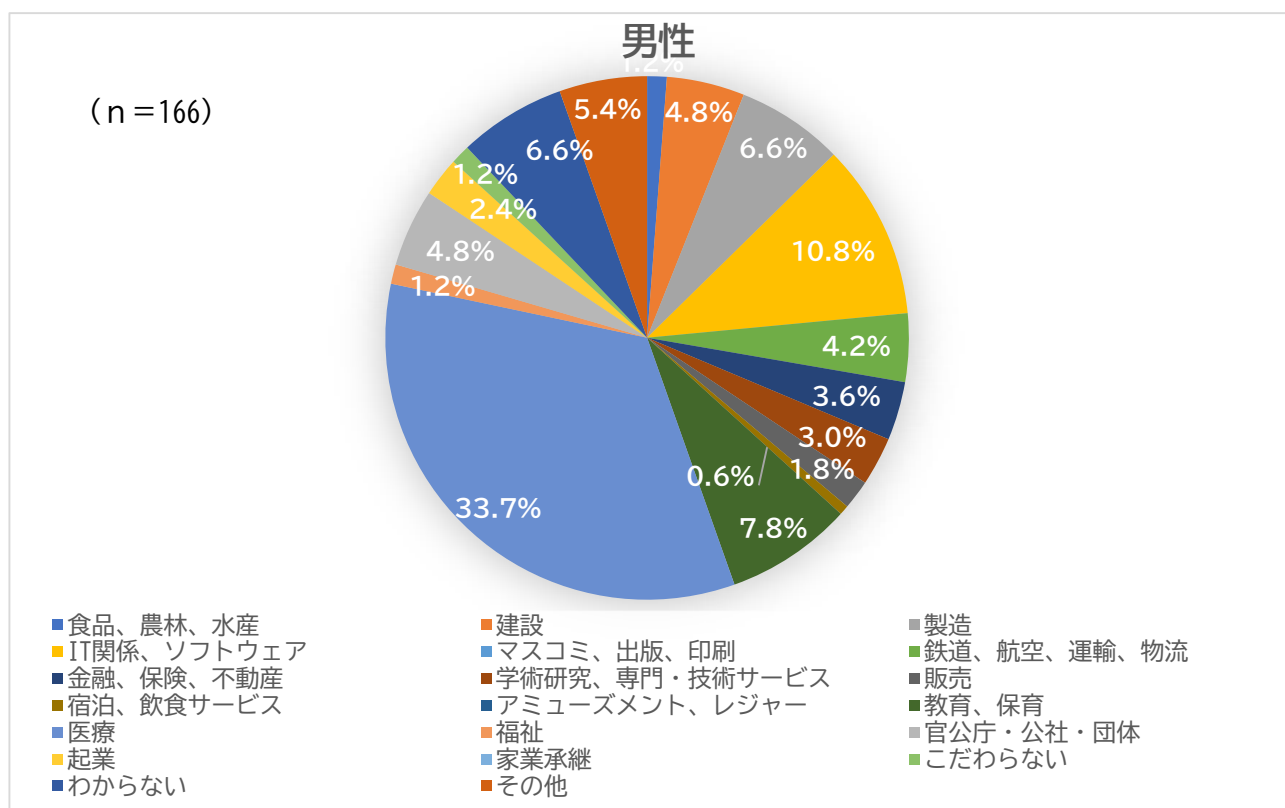
(1) 就業を希望している業界

大学生等が就業を希望している業界としては、「医療」が最も多く、50.2%になっており、「教育」が10.6%となっている。また、経年変化をみると、昨年度と比べ「医療」が大きく増え、「教育、保育」が減っていることが分かる。

なお、「医療」が大きく増えた原因として、令和7年度においては、医療系大学からの回答が全体の約3割を占めたことも影響していると考えられる。(令和6年度は全体の約1割)

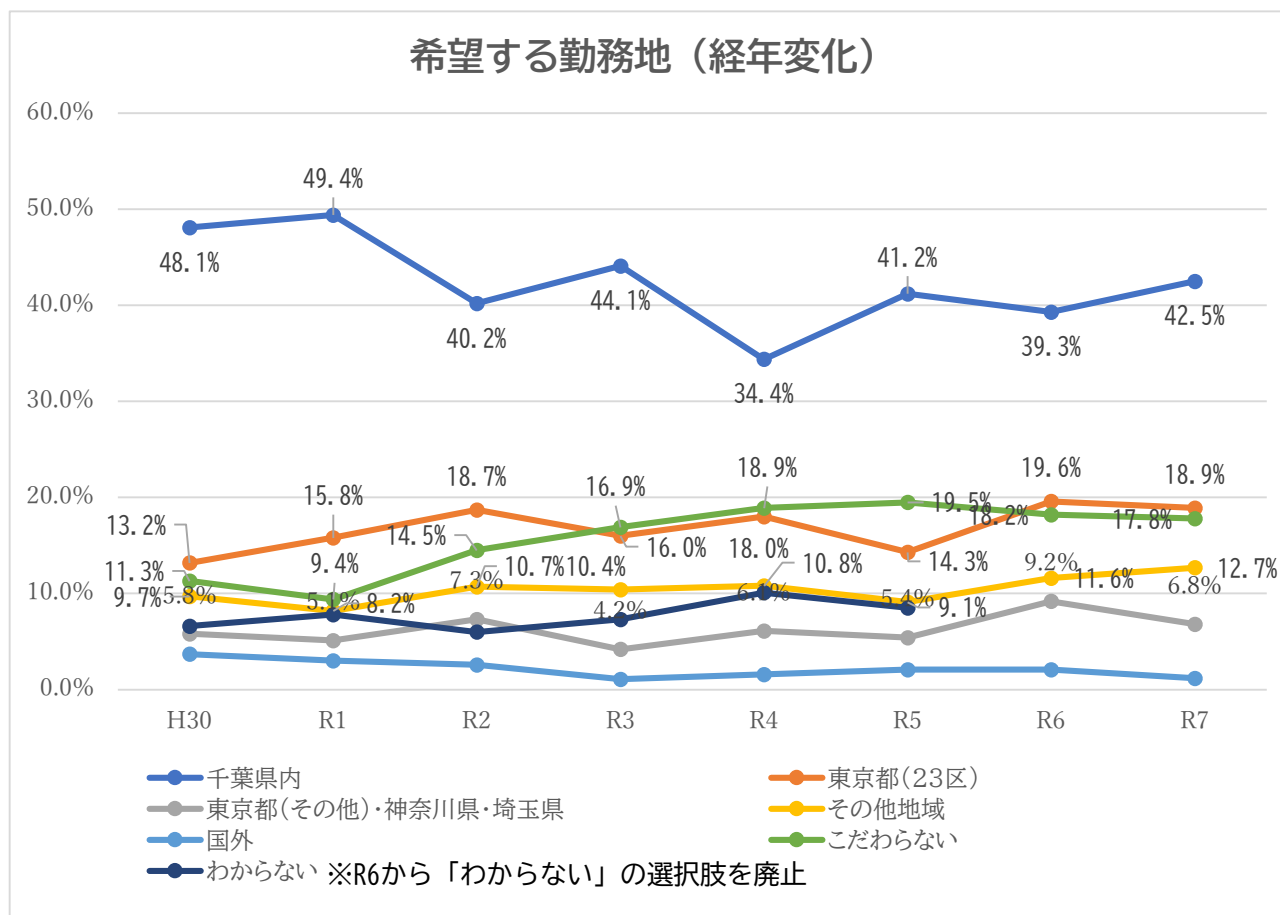
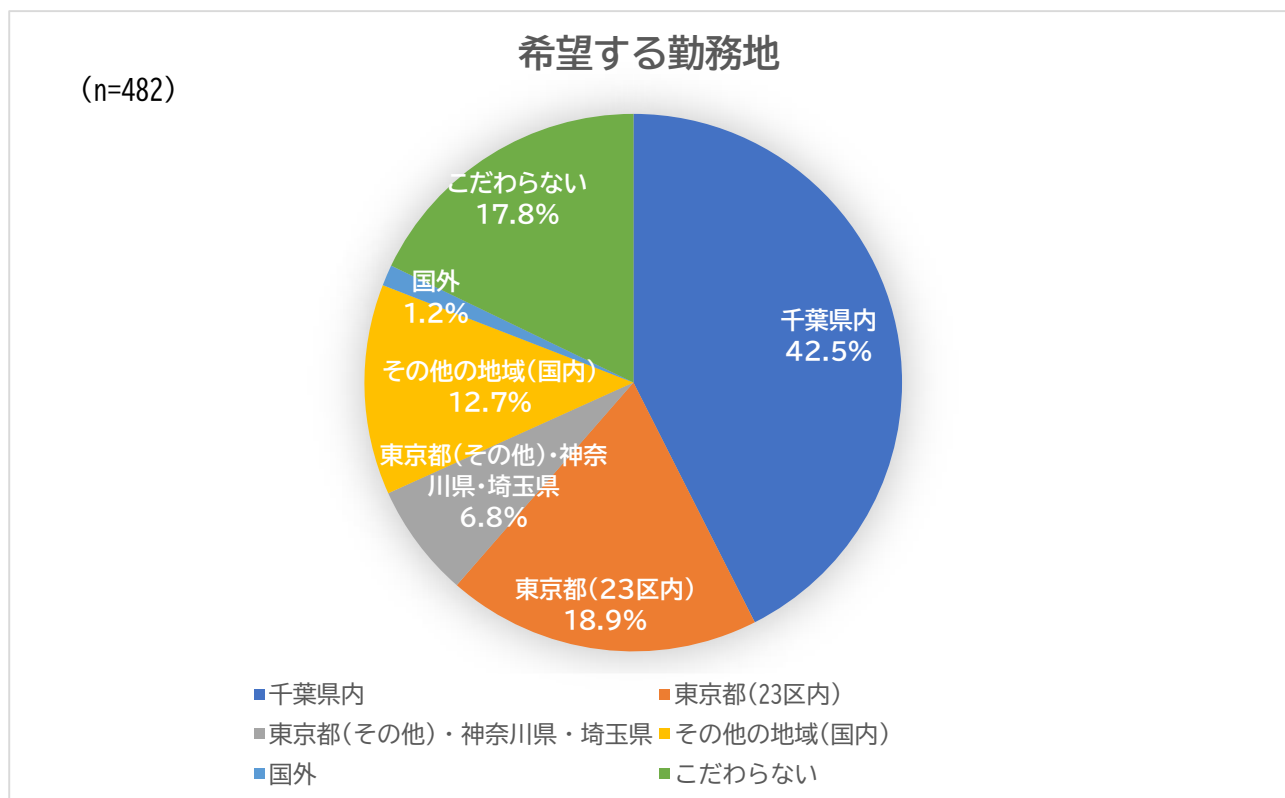


男女別で見ると、男性は「医療」が33.7%と最も大きく、次いで、「IT関係・ソフトウェア」となっている。一方、女性も「医療」が59.9%と最も大きく、次いで「教育・保育」となっている。



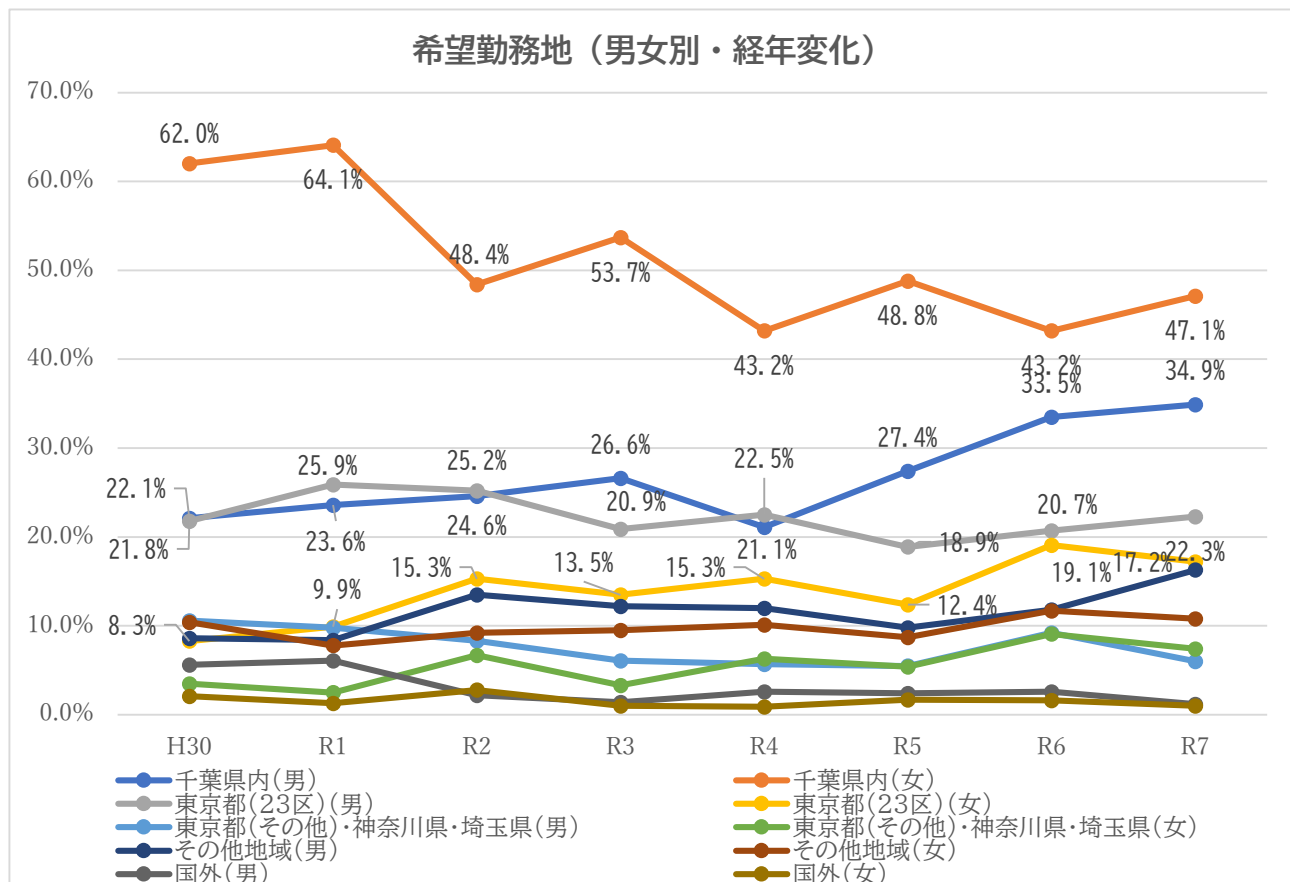
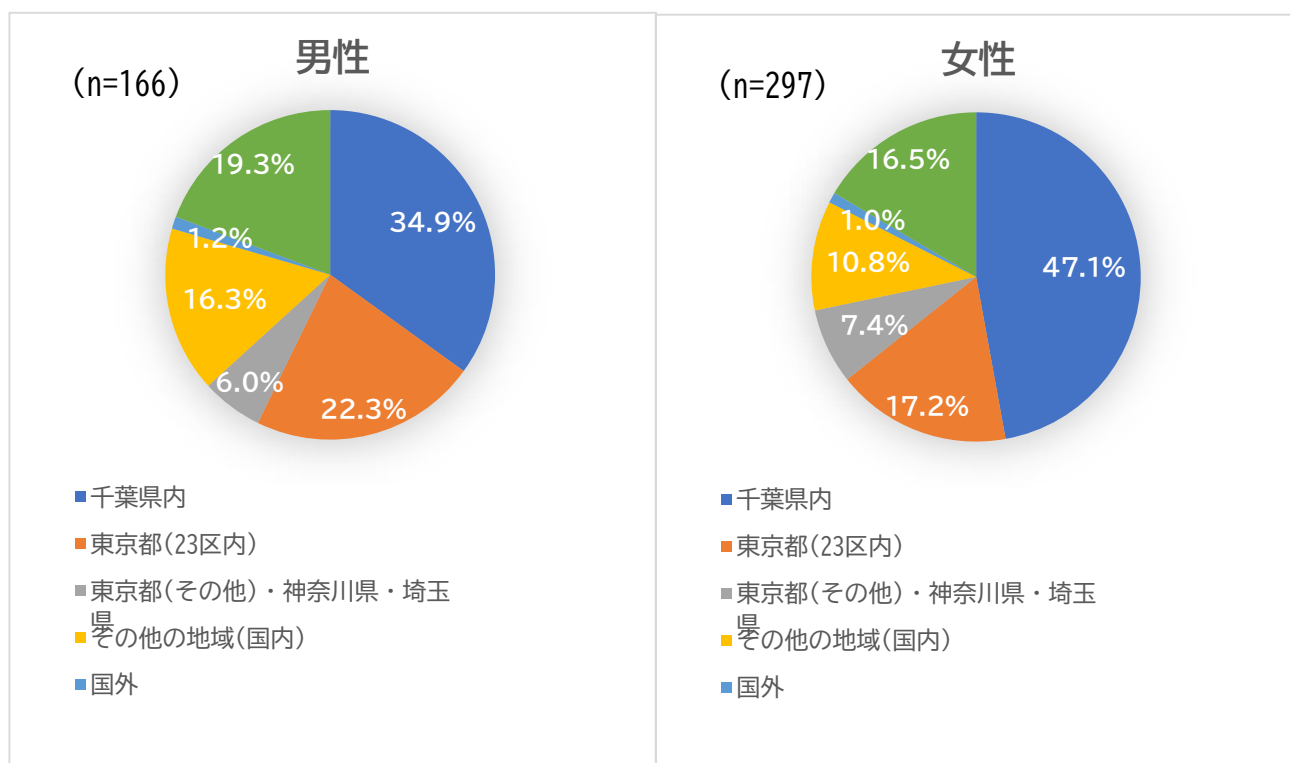
(2) 希望する勤務地

希望する勤務地としては、「千葉県内」が42.5%と最も多く、「東京都（23区内）」が2番目に多い回答となっている。

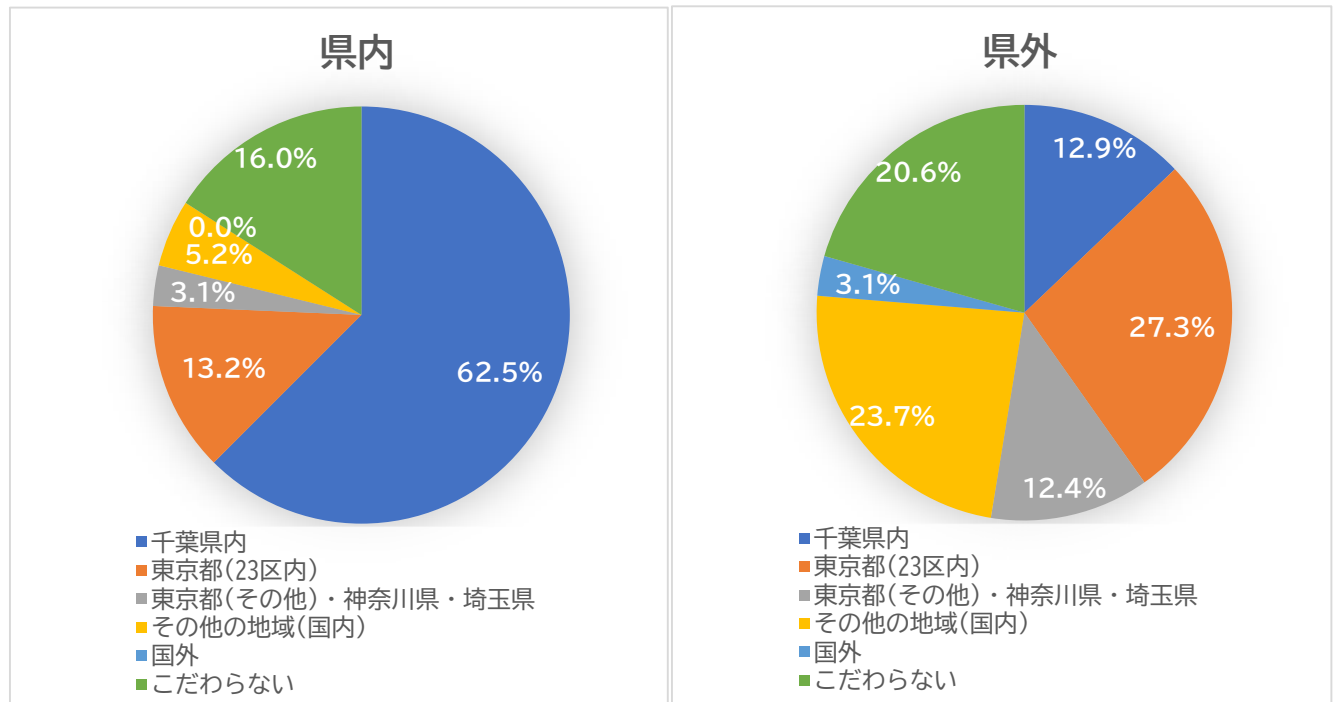


男女別にみると、女性は47.1%が「千葉県内」、17.2%が「東京都（23区内）」となる一方、男性は「千葉県内」が34.9%、「東京都（23区内）」が22.3%となっている。

経年変化を見ると、女性の「千葉県内」の割合は増減を繰り返しながらも、全体としては減少傾向にある一方、男性の「千葉県内」の割合は増加傾向にある。



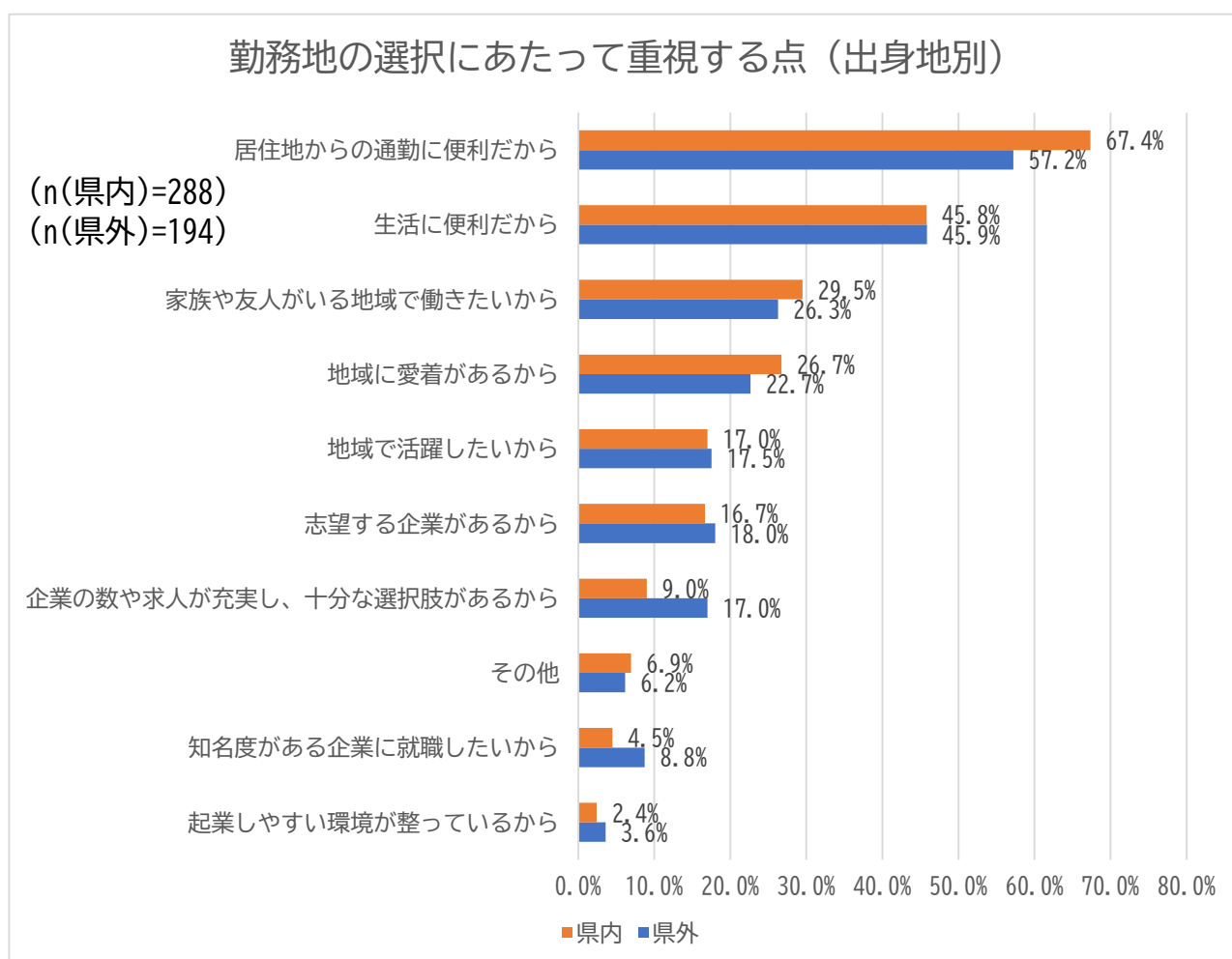
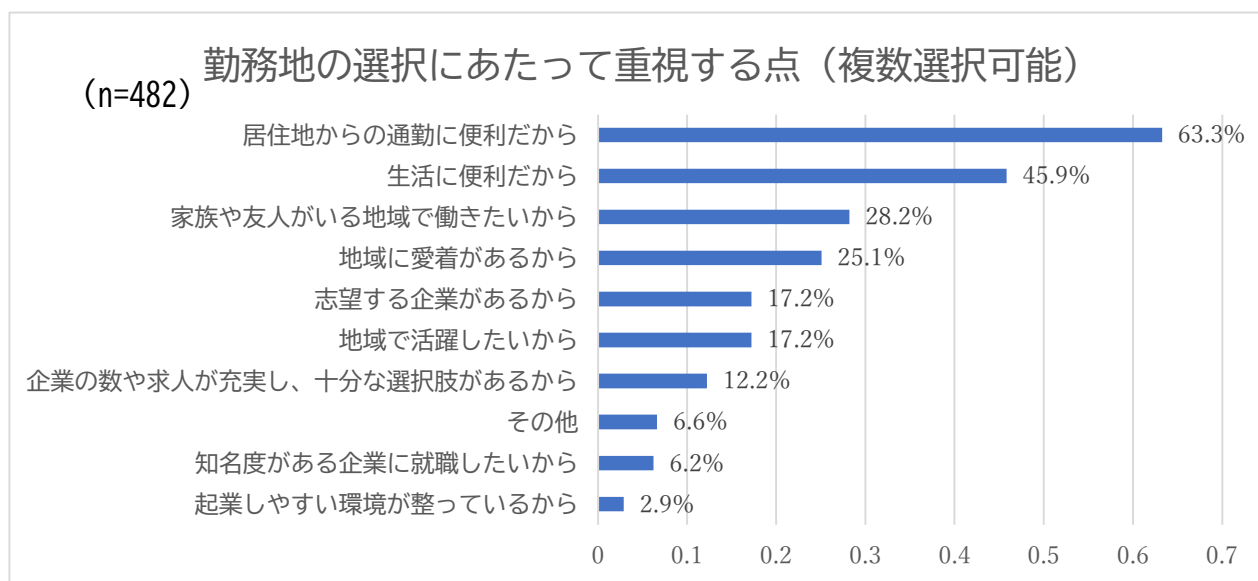
出身地別に見ると、県内出身は「千葉県内」が60%以上を占める一方で、県外出身は「東京都（23区内）」等県外の地域が多くを占めており、地方出身で地元に帰る方が一定程度いるものと考えられる。



(3) 勤務地の選択にあたって重視する点

勤務地の選択にあたって重視する点としては、「居住地からの通勤に便利だから」と「生活に便利だから」を回答しているものが、他の項目と比べて多いことが分かる。

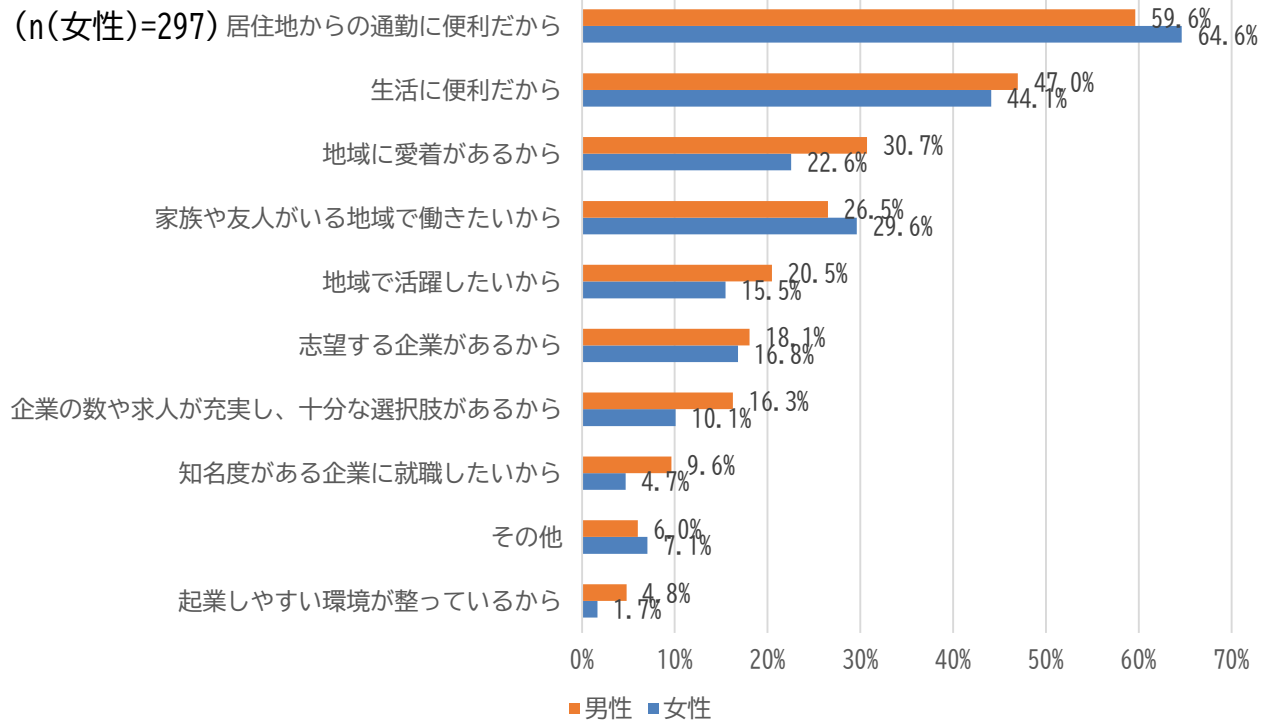
また、県内・県外の勤務地を希望する人も「居住地からの通勤に便利だから」、「生活に便利だから」を多く挙げている。男女別に見ても、この傾向は大きく変わらない。



勤務地の選択にあたって重視する点（男女別）

(n(男性)=166)

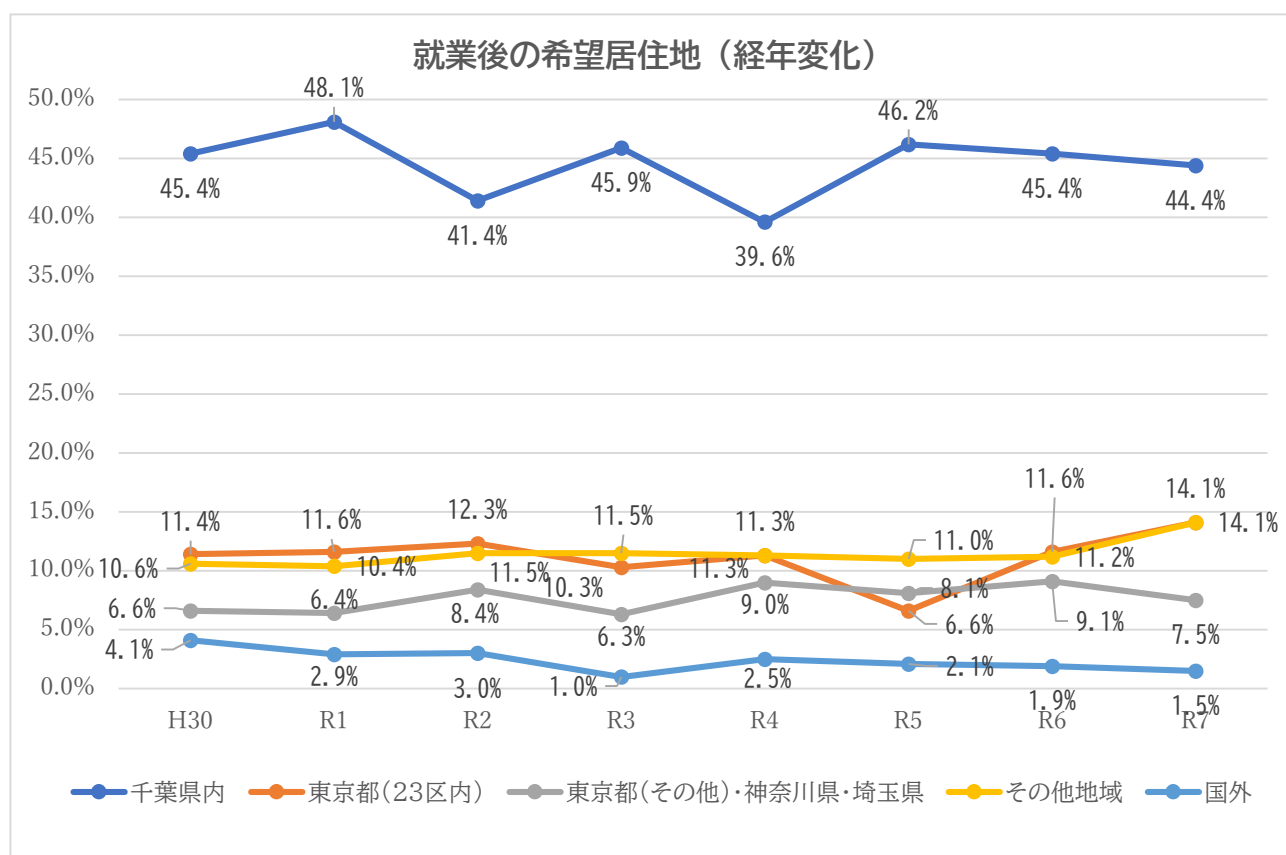
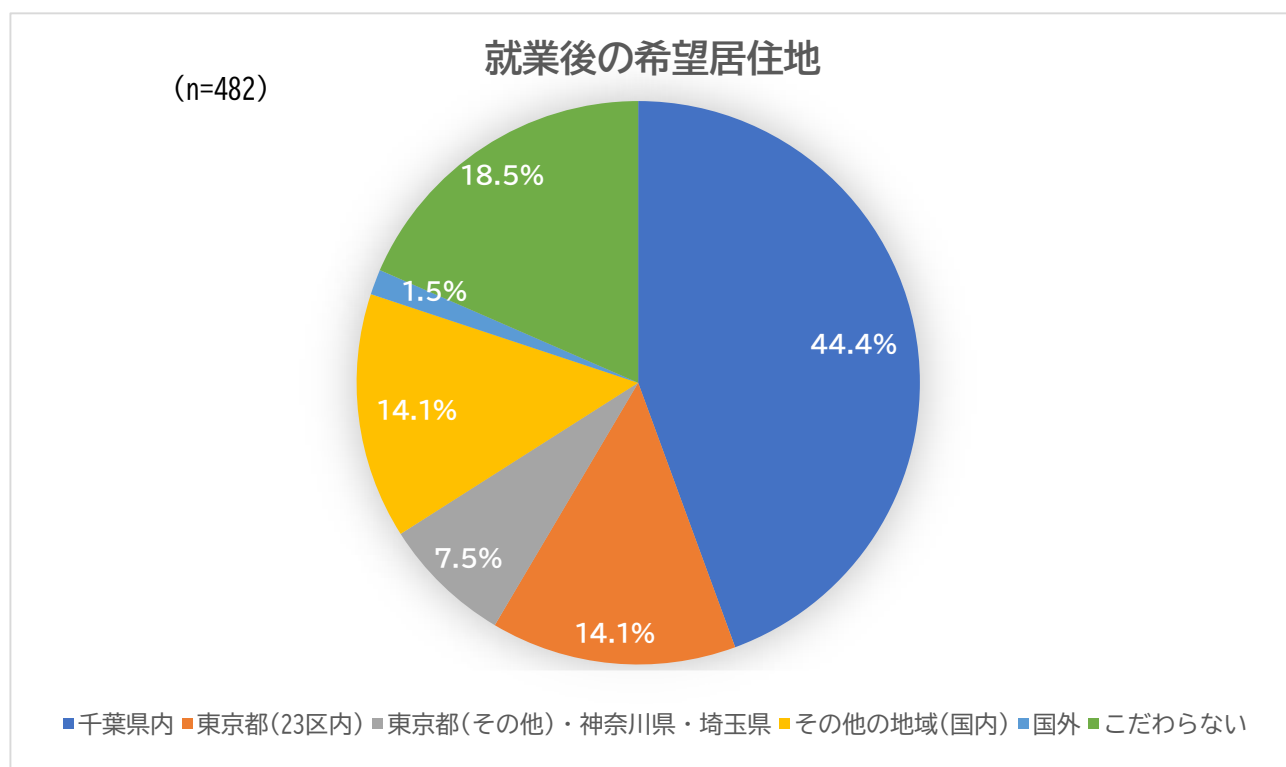
(n(女性)=297)



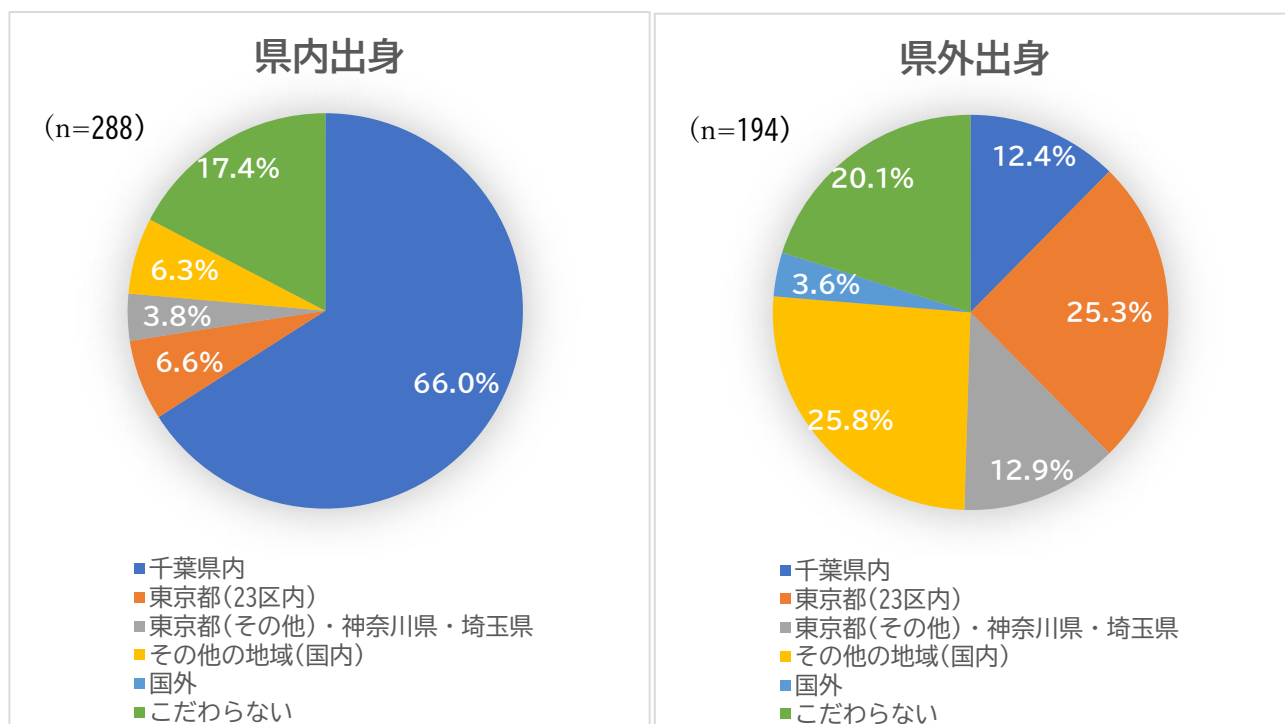
3. 将来の居住地の希望について

(1) 就業後の居住地の希望

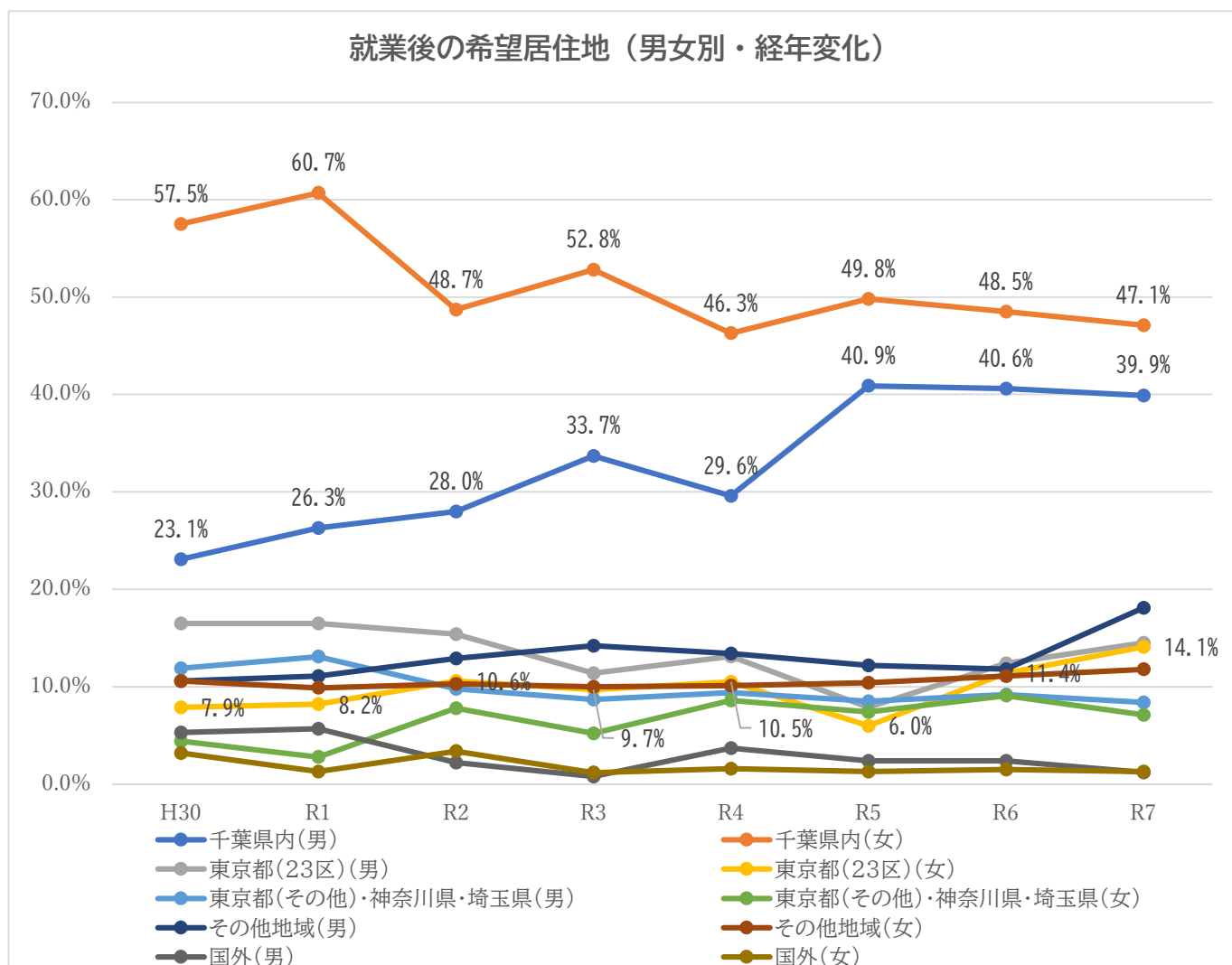
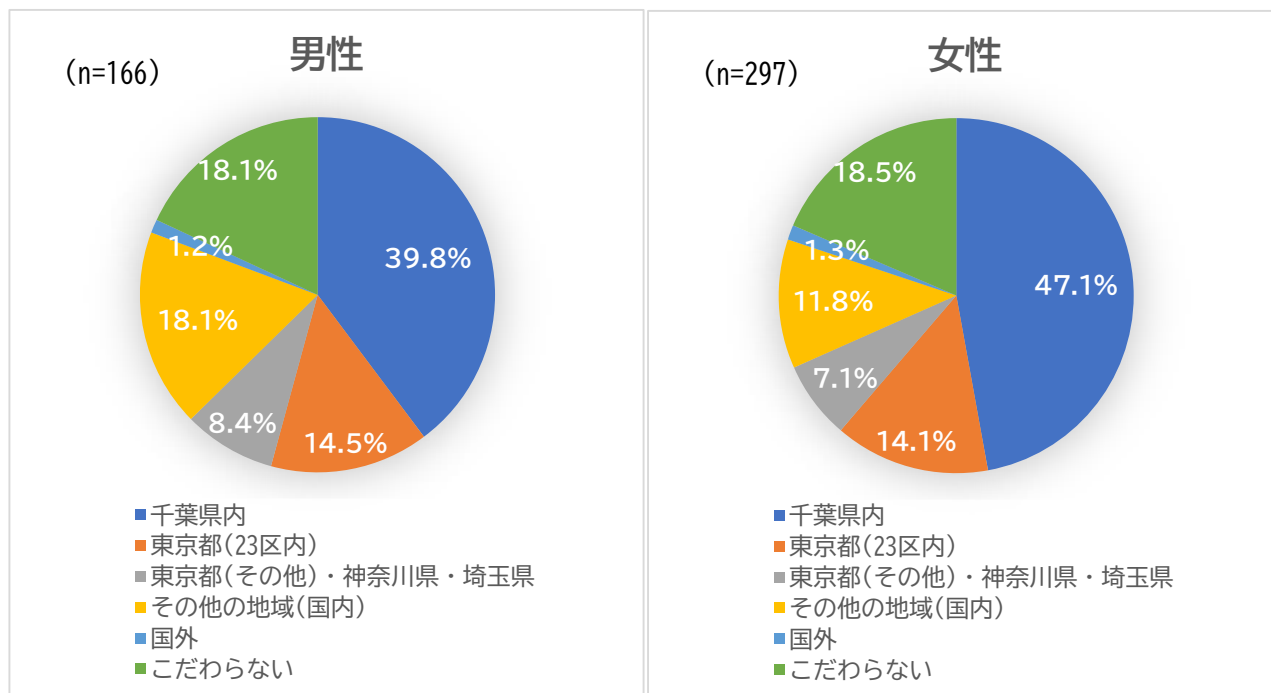
就業後の居住地の希望については、「千葉県内」が昨年度より減少し、44.4%となっている。経年変化を見ると、「千葉県内」は全体的に微減している一方、「東京都（23区内）」は微増している。



出身地別に見ると、県内出身者の「千葉県内」は66%となっている一方、県外出身者は「東京都(23区内)」「その他の地域(国内)」の割合が大きくなっている。

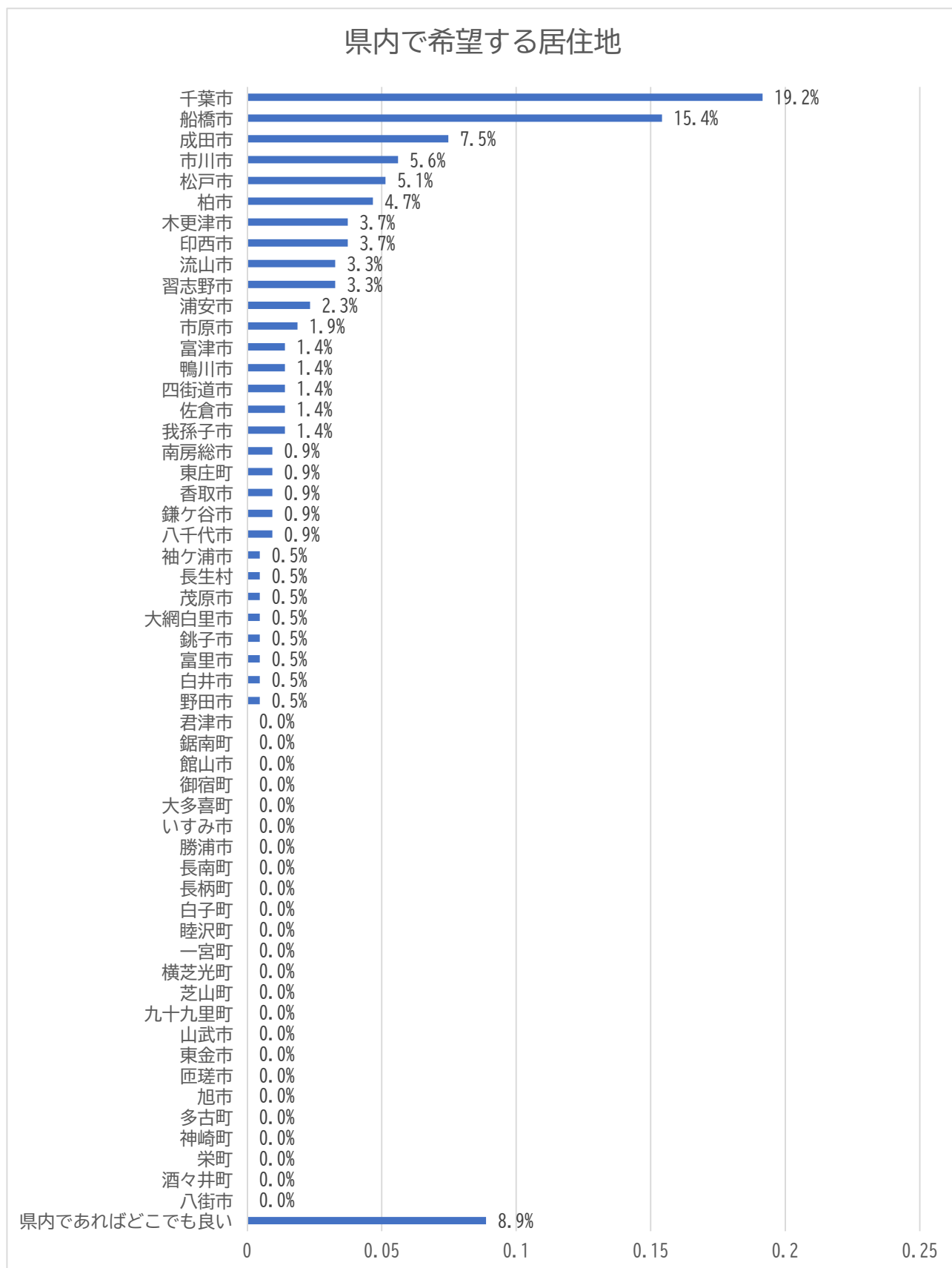


男女別で見ると、女性では「千葉県内」が50%近くを、男性では40%近くを占めている。一方、経年変化を見ると、昨年度と比べ「千葉県内」の割合が男性、女性ともに減っている。



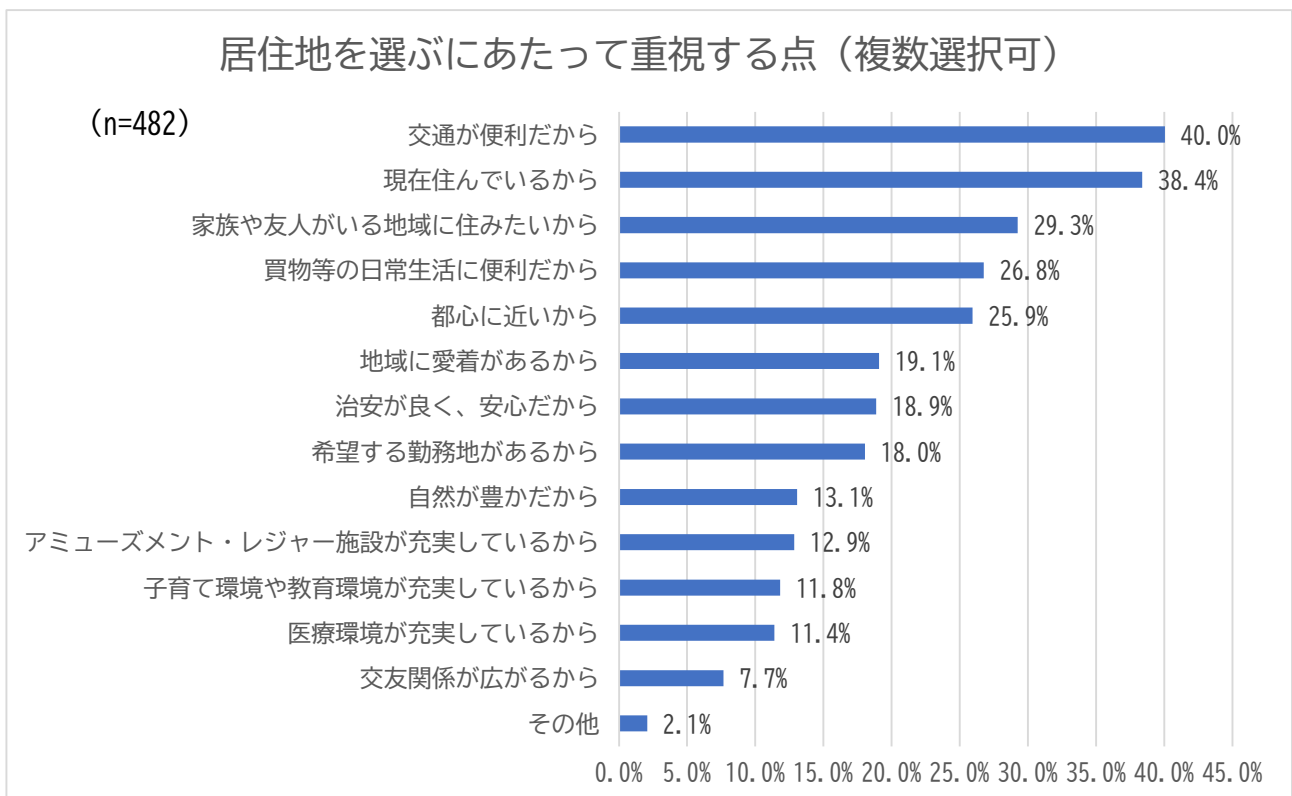
（２）県内で希望する居住地

就業後の希望居住地を「千葉県内」とした人に県内のどの地域に住みたいかを尋ねたところ、「千葉市」や「船橋市」などの東京に近い地域が多くなった。

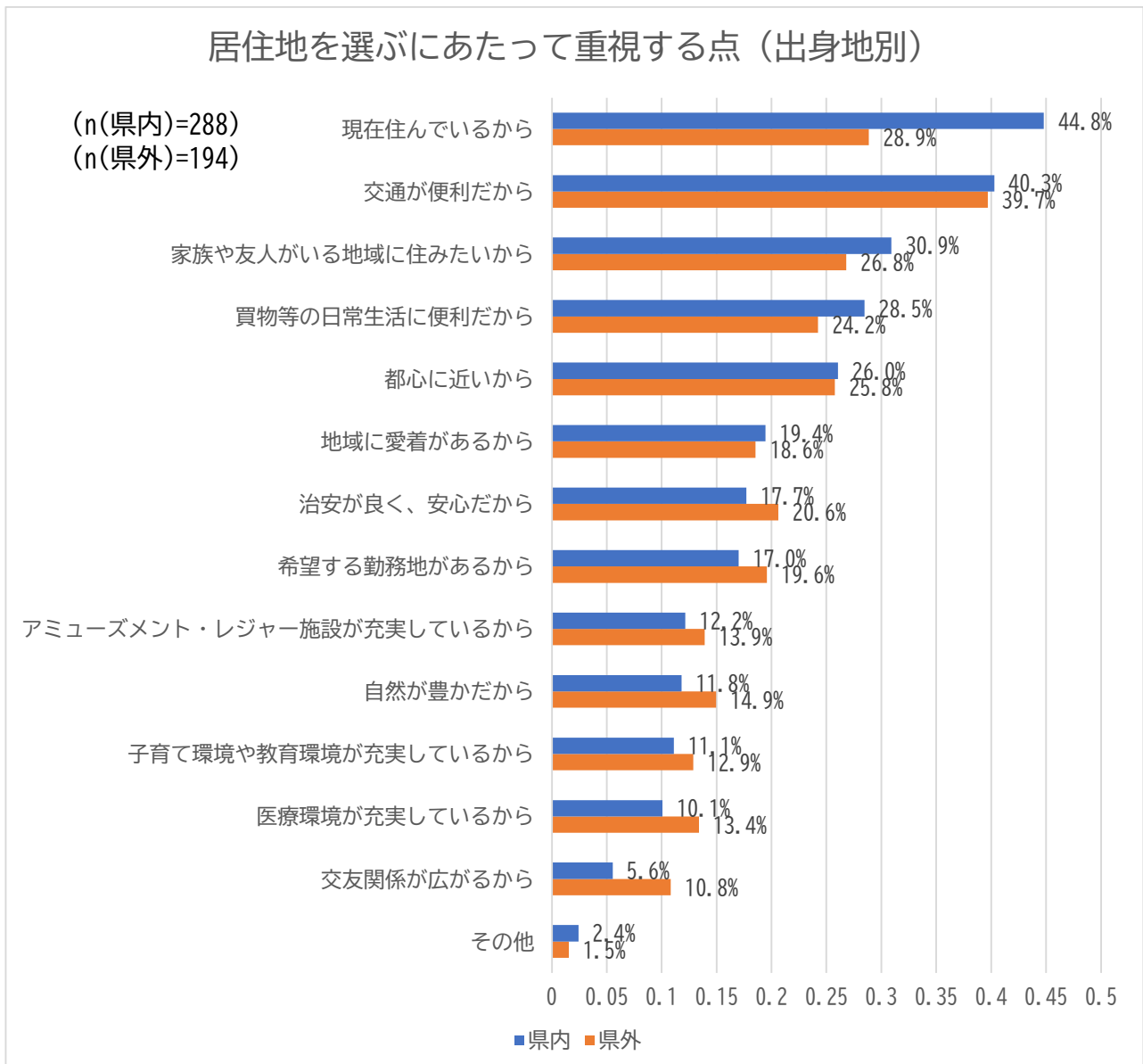


(3) 居住地を選ぶにあたって重視する点

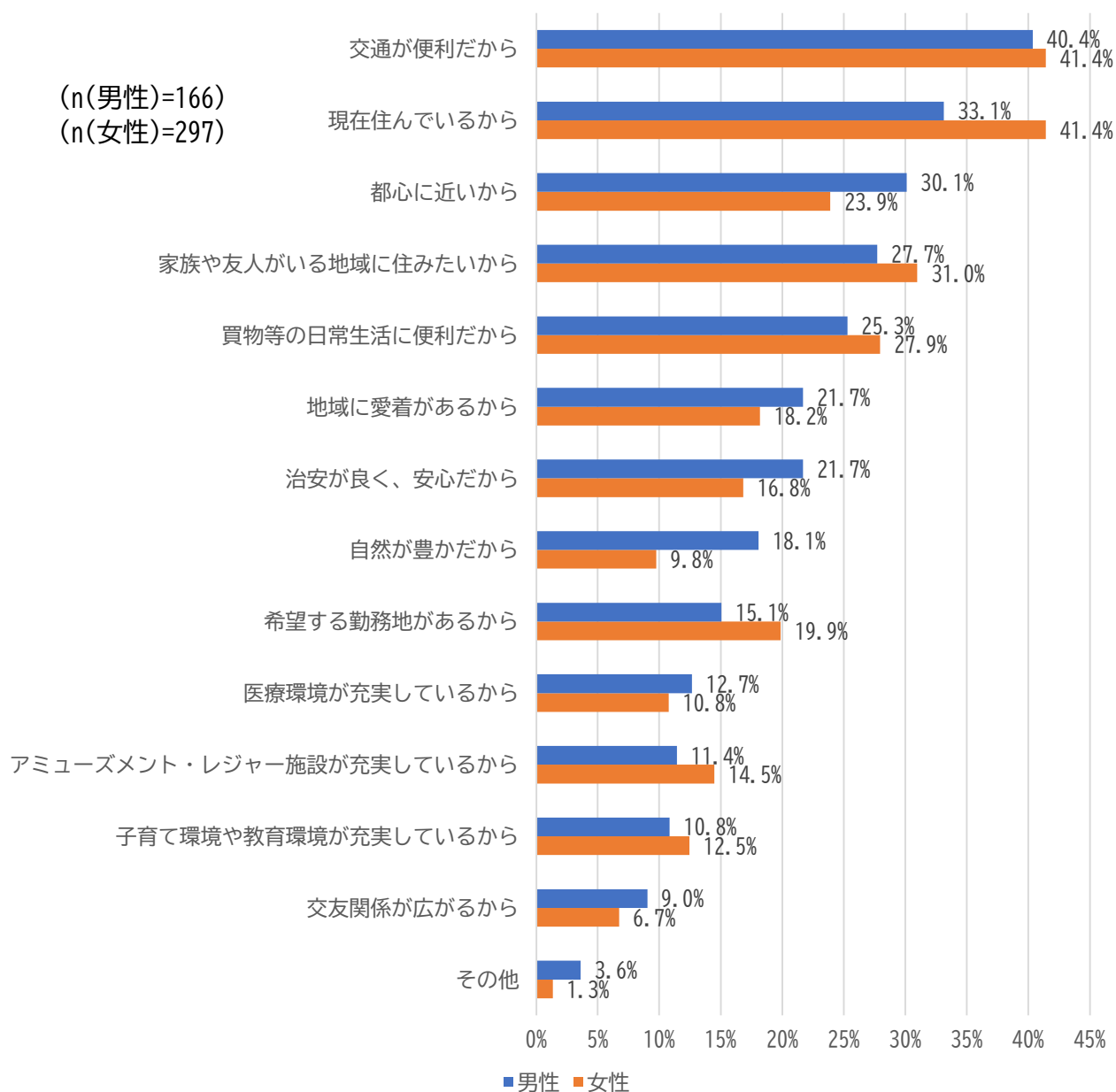
居住地を選ぶにあたって重視する点として最も多く回答があったのは「交通が便利だから」であった。次に「現在住んでいるから」、「家族や友人がいる地域に住みたいから」が続いている。



就職後の居住地として千葉県内を回答した人は「現在住んでいるから」、「交通が便利だから」、を選択していることが多い。



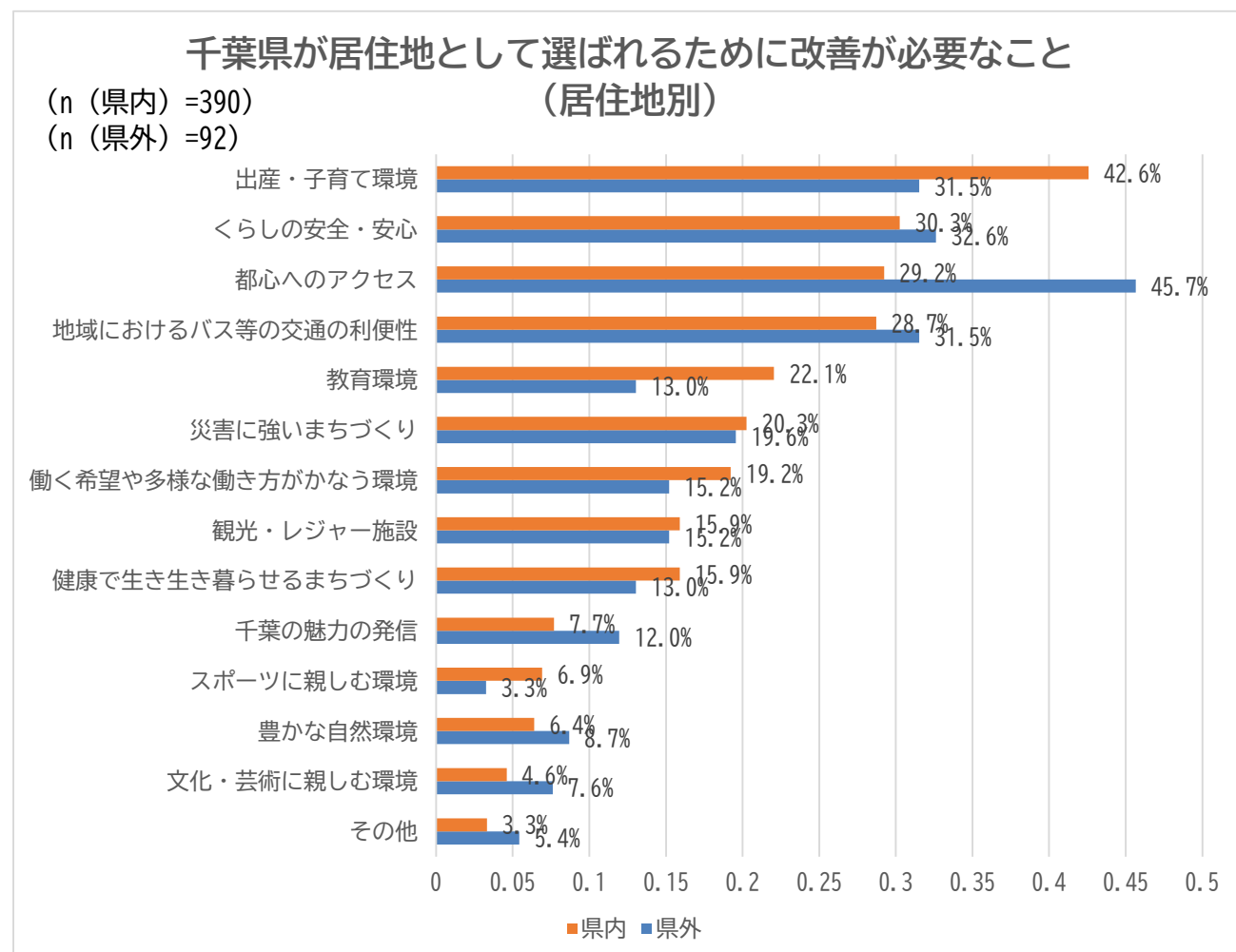
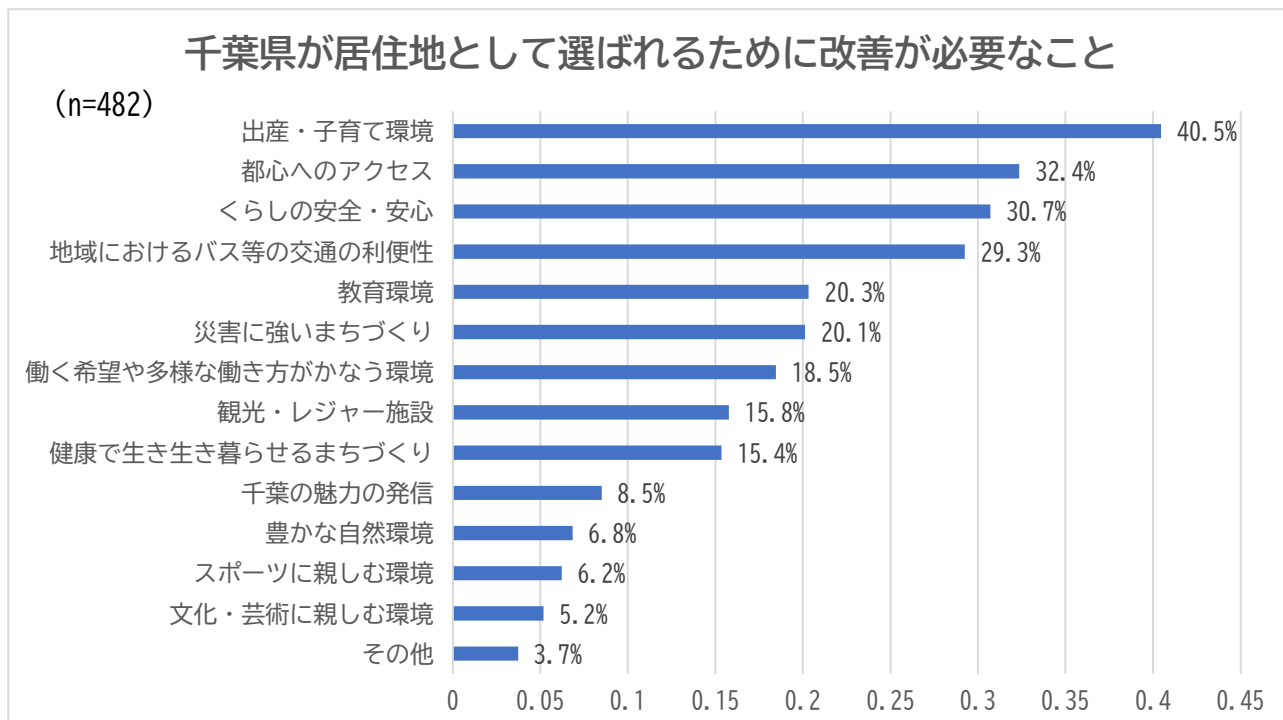
居住地を選ぶときに重視する点（男女別）



(4) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと

千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なことは、「出産・子育て環境」、「都心へのアクセス」、「くらしの安全・安心」が多く回答されている。

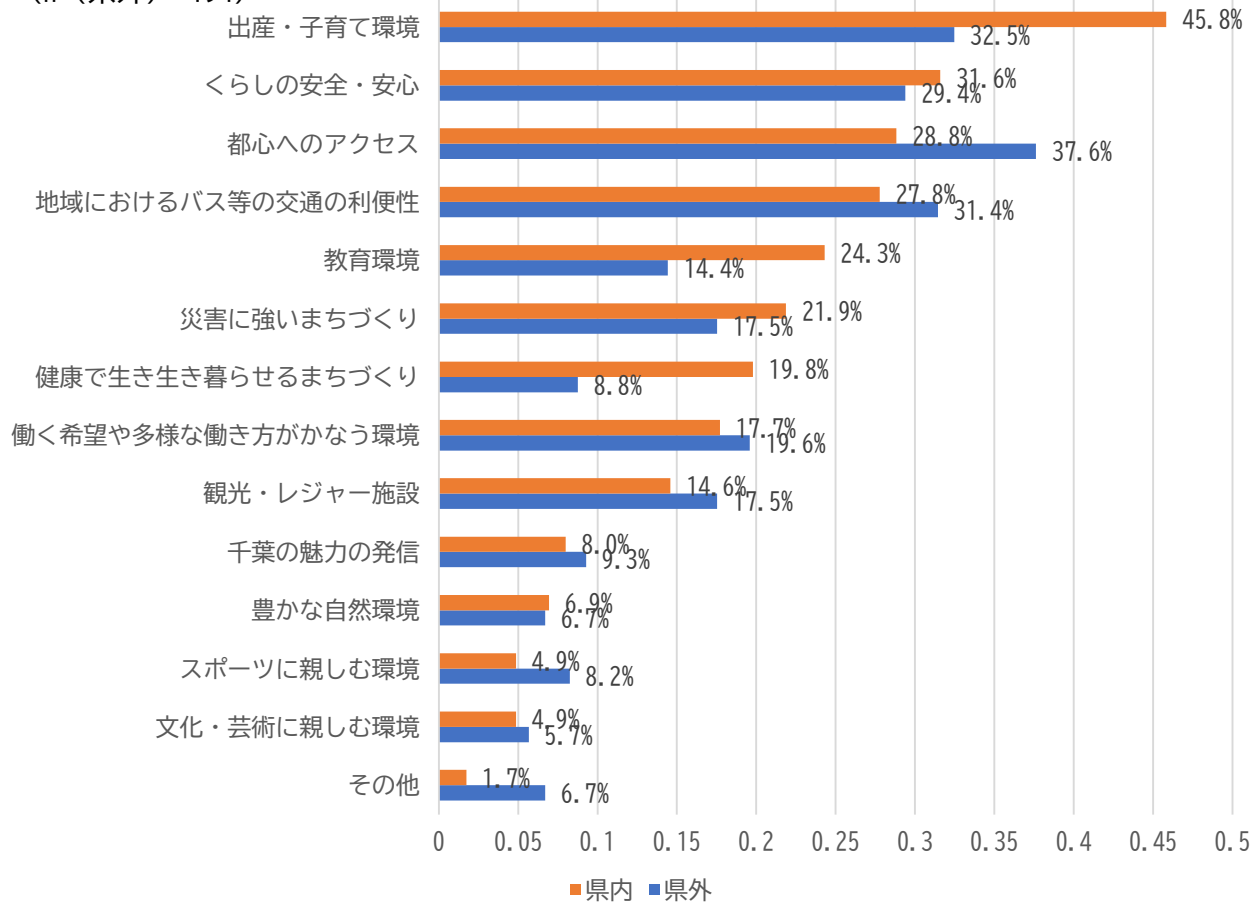
居住地別にみた場合、県内居住者の場合、「出産・子育て環境」が最も多いのに対し、県外に居住しているものでは、「都心へのアクセス」が最も多くなっている。



千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと (出身地別)

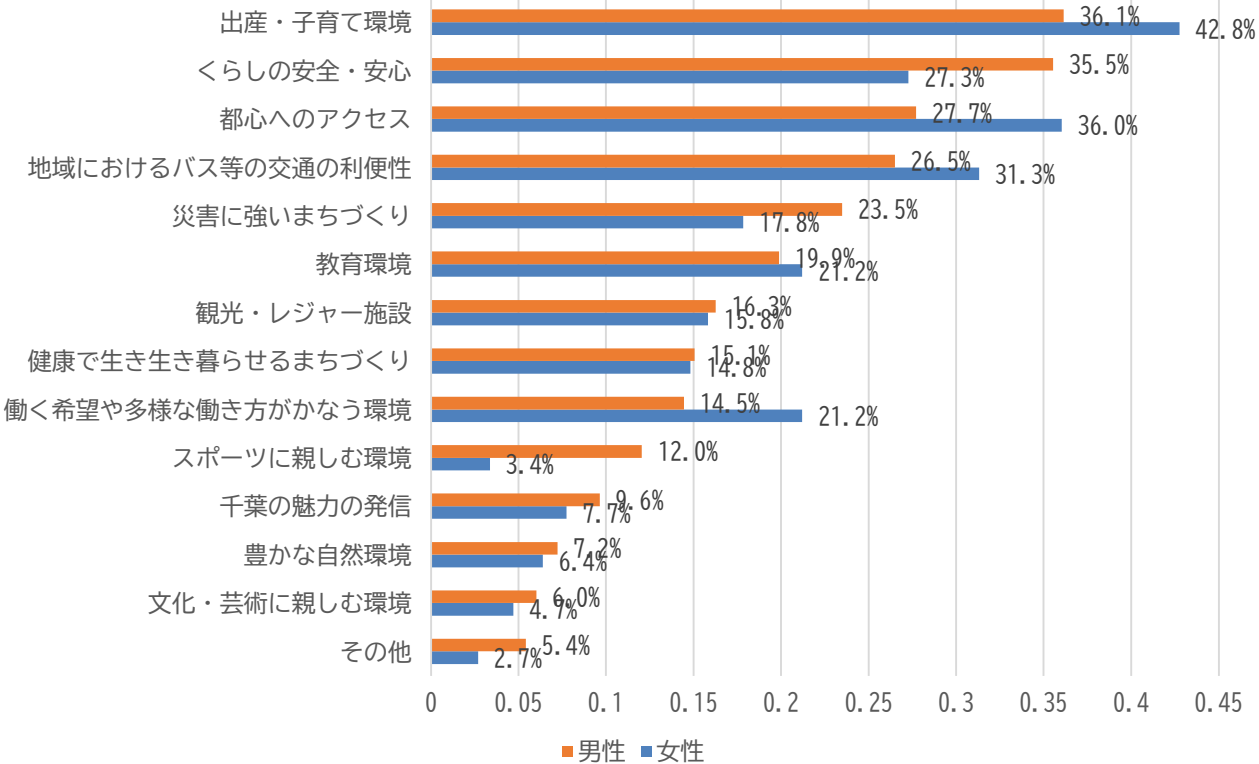
(n (県内) =288)

(n (県外) =194)

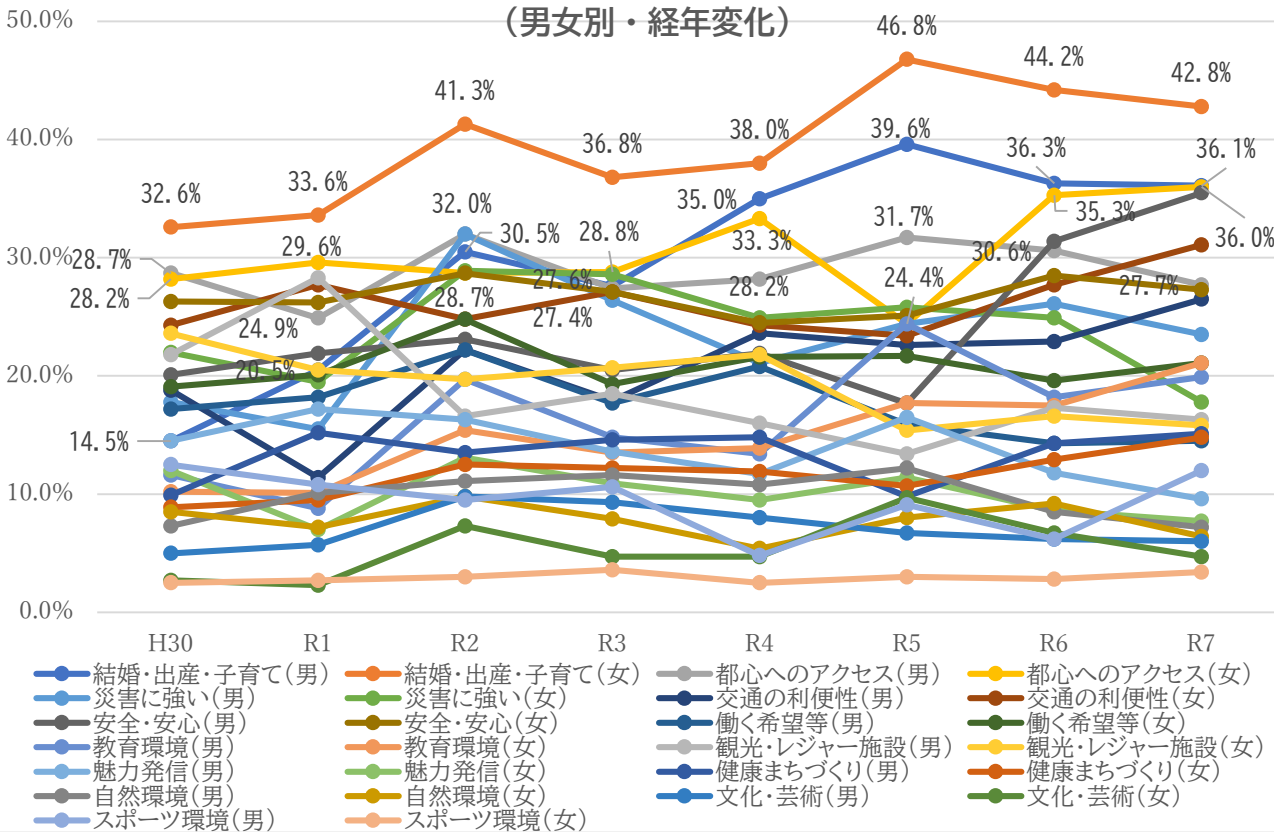


男女別で見ると、「出産・子育て環境」で男性・女性ともに多く回答されていることが分かる。

(n (男性) =166) 千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと (男女別)
(n (女性) =297)



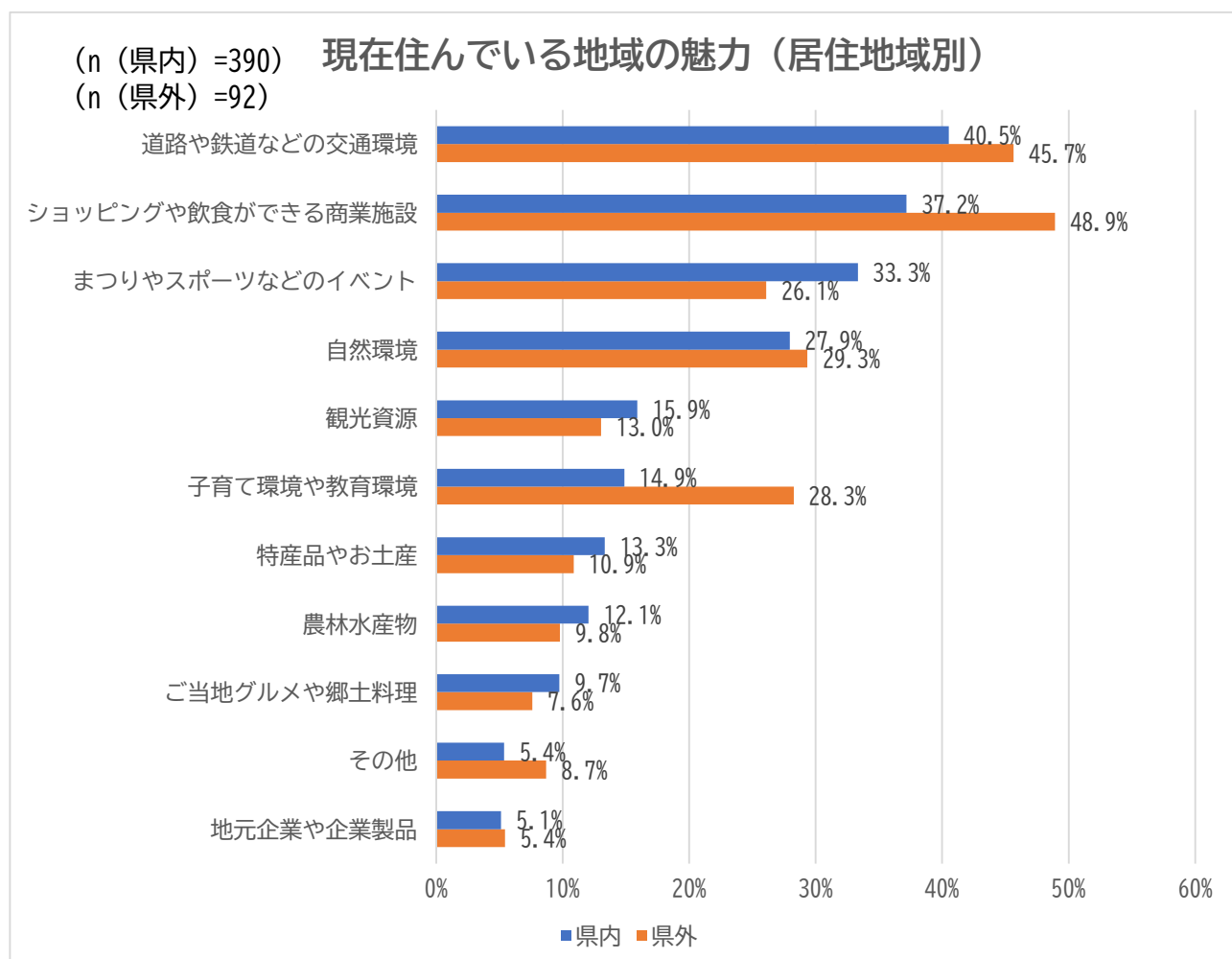
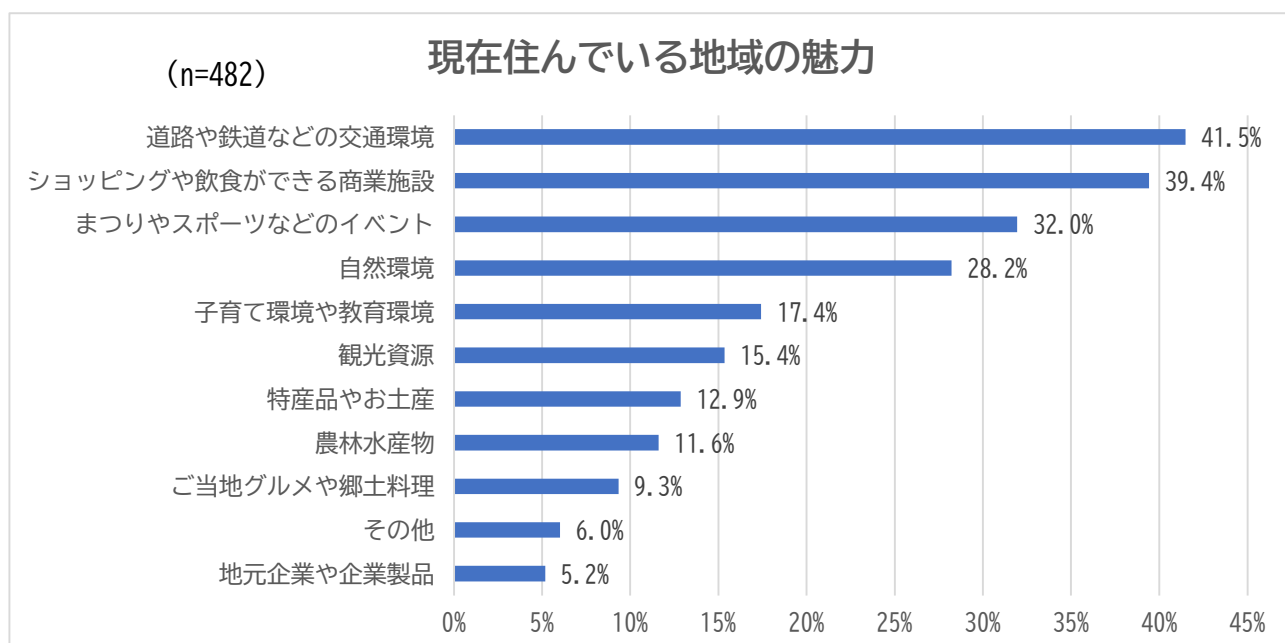
千葉県が居住地として選ばれるために改善が必要なこと
(男女別・経年変化)



4. 現在住んでいる地域の魅力について

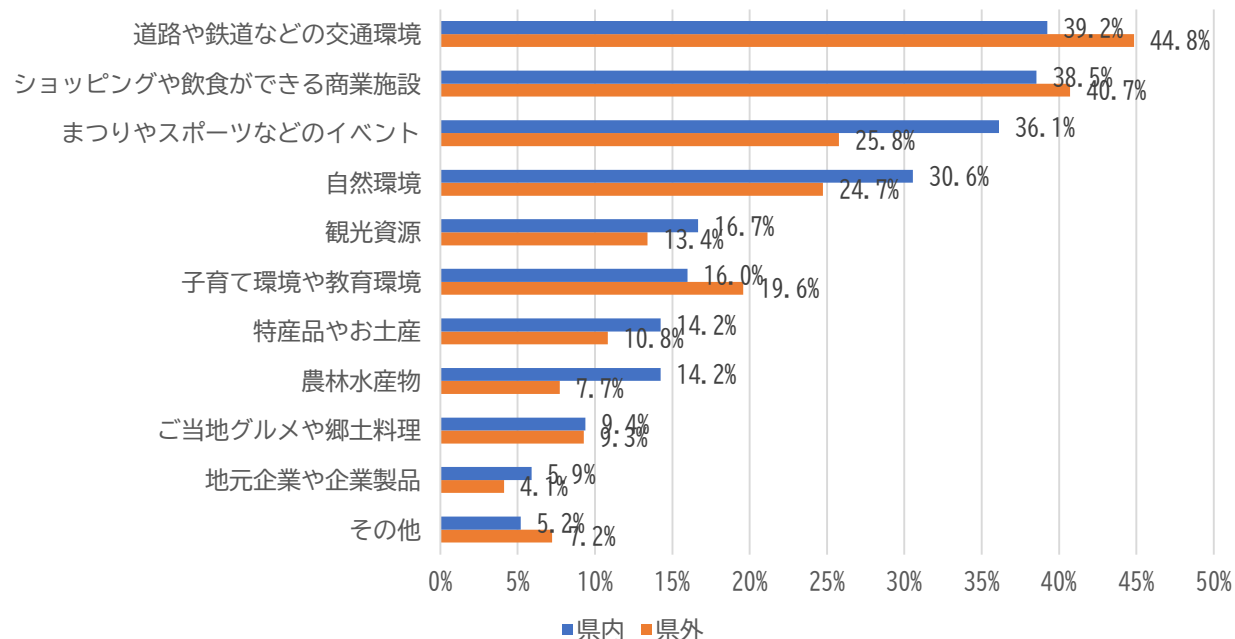
(1) 住んでいる地域の魅力

道路や鉄道などの交通環境が最も多く、次いで、ショッピングや飲食ができる商業施設が多い。



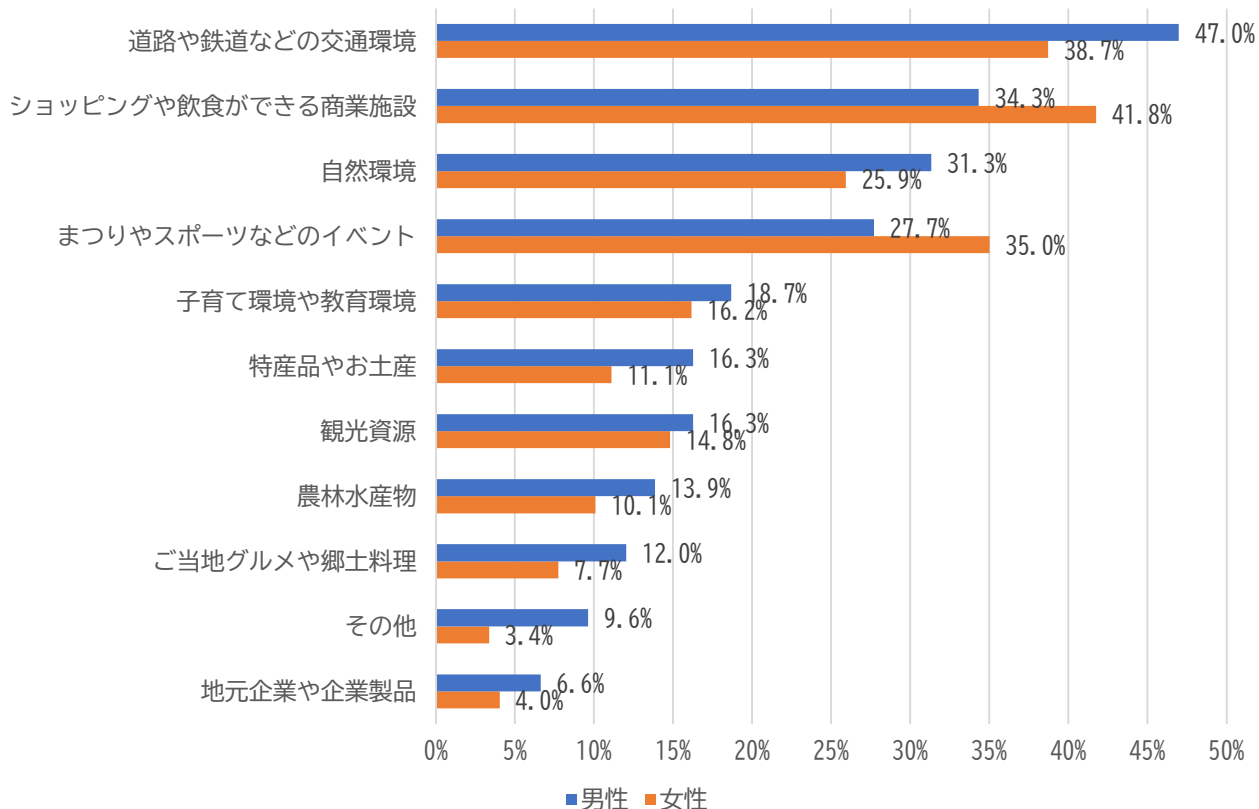
(n (県内) =288)
(n (県外) =194)

現在住んでいる地域の魅力（出身地別）



(n (男性) =166)
(n (女性) =297)

現在住んでいる地域の魅力（男女別）

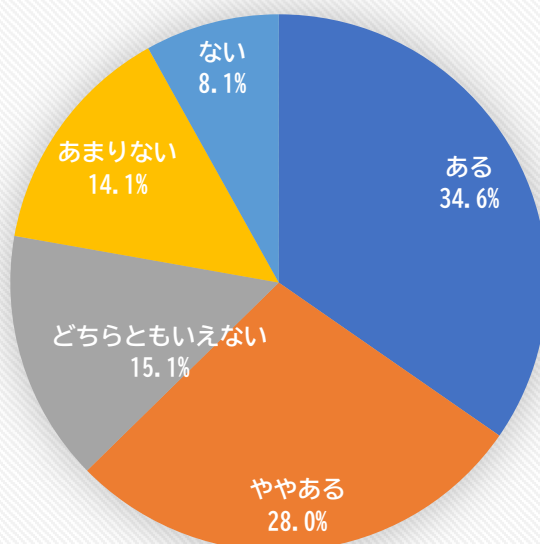


5. 人口減少時代における問題意識について

人口減少時代による影響については、「ある」と回答した者が34.6%、「ややある」と回答した者が28.0%となっており、大学生において問題意識はあるといえる。男女別にみると、男性で「ある」と回答した者の割合が女性と比べ多くなっている。

人口減少による影響について問題意識はあるか

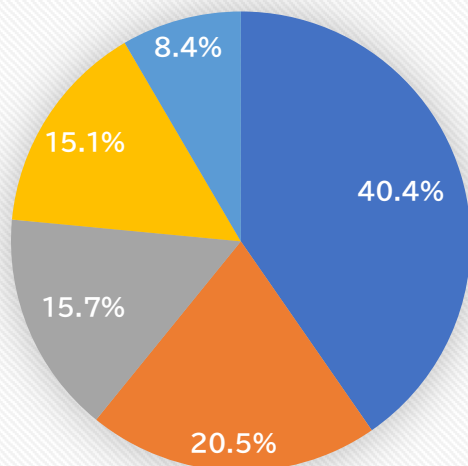
n=482



■ある ■ややある ■どちらともいえない ■あまりない ■ない

男性

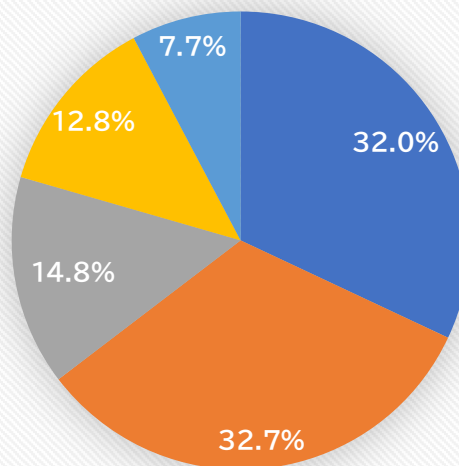
n=166



■ある ■ややある
■どちらともいえない ■あまりない
■ない

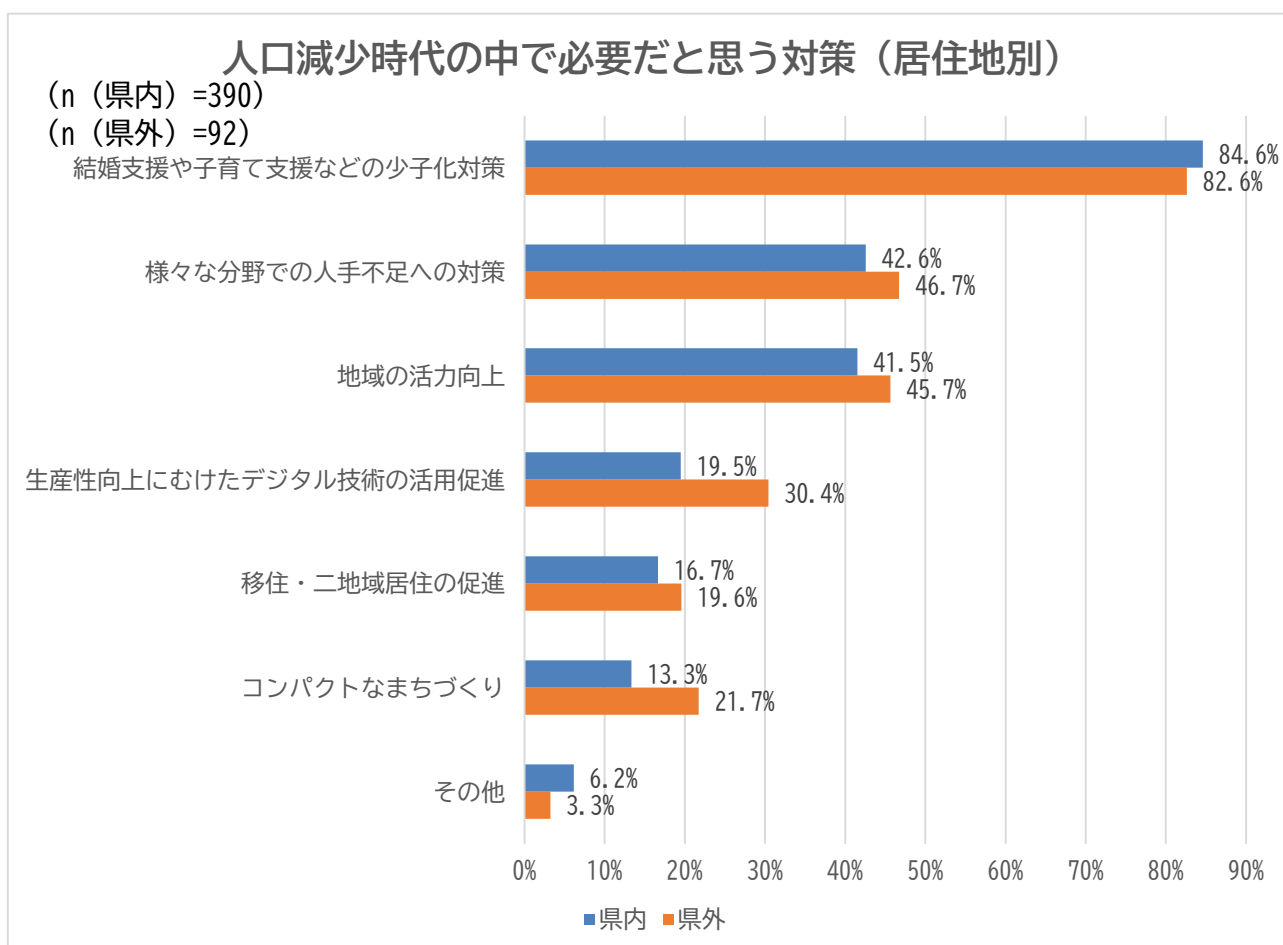
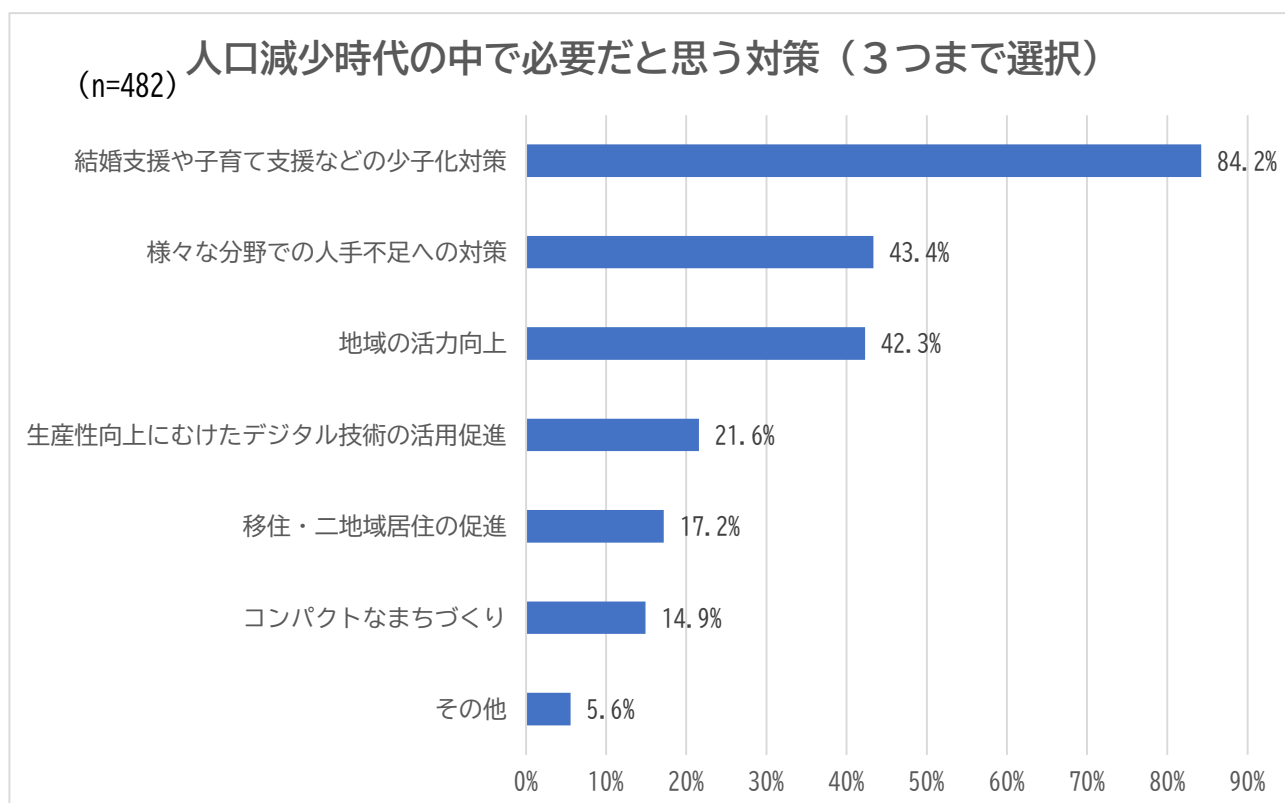
女性

n=297



■ある ■ややある
■どちらともいえない ■あまりない
■ない

人口減少時代の中で必要だと思う対策については、「結婚支援や子育て支援などの少子化対策」、「様々な分野での人手不足への対策」、「地域の活力向上」が上位3位を占めている。なお、この傾向は、居住地別、男女別で見たときも傾向は大きく変わらない。



人口減少時代の中で必要だと思う対策（男女別）

(n (県内) =166)

(n (県外) =297)

